

スポーツで、もっと、幸せな国へ。 **Jリーグ百年構想**



J.LEAGUE

J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2014 **SUMMARY REPORT**

Jリーグ スタジアム観戦者調査2014 サマリーレポート



Contents

主な調査結果

Executive Summary 02

調査の概要

Outline of Survey 03

付録

Appendix 64

● Jリーグとコミュニティ J.League and the Community

社会貢献への評価 05

● 観戦者のプロフィール Sample Profile

性別 11

年齢 14

居住地 19

自由裁量所得 21

観戦歴 22

サポーター歴 23

サッカー・フットサルの経験 24

● スタジアム観戦の動機 Fan Motivation

観戦の動機やきっかけ 27

チームアイデンティフィケーション 32

スタジアム観戦についての勧誘行動 33

スタジアム観戦についての被勧誘行動 34

ファンコミュニティ 36

● 観戦行動の特徴 Fan Behavior

観戦頻度 39

アクセス時間 47

同伴者 50

情報入手経路 59

チケット入手方法 61

シーズンチケットの購入理由 62



[調査時期] 2014年5月10日～10月19日

[調査対象] スタジアム観戦者、11歳以上の男女個人

[調査方法] スタジアム内における集合配布法を用いた質問紙調査法

[回収状況] 有効回収数:17,252票

主な調査結果 Executive Summary

■ 調査概要

調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,972名とし、17,252票(有効回収率:96.0%)の有効回答を得た。調査の時期は、2014年5月10日から10月19日であった。

■ Jリーグとコミュニティ

Jリーグと地域社会との関係については、ホームタウンにおいて重要な役割(82.1%)を果たしている、ホームタウンへ大きな貢献(79.5%)、若い人たちの生活にいい影響(76.3%)をしているという意見が支持されており、肯定的な評価が目立った。

■ 観戦者のプロフィール

観戦者の平均年齢は40.4歳で、男性の割合は61.5%であった。クラブの活動区域内に居住する割合は86.3%、自由に使える小遣いの平均は、一ヶ月あたり33,600円であった。

■ 観戦の特徴

年間の観戦頻度の平均は、J1来場者は12.2回、J2は12.4回であった。スタジアムまでの平均所要時間は51分であり、二人で来場する人が43.2%、家族と来場する人が52.9%であった。また、10年以上、特定のクラブのサポーターである層は47.9%であった。

■ チケット

シーズンチケット購入している割合は46.8%であり、シーズンチケット購入理由としては、クラブに愛着があるから(73.1%)が主なものであった。

■ 観戦動機と勧誘行動

サッカー観戦が好きだから、および好きなクラブの応援のために、などが主な観戦の動機となっていた。周囲を観戦に誘うとした割合は58.4%、周囲から観戦を誘われるとした割合は37.4%であった。

Jリーグと地域社会	
Jクラブは地域で重要な役割	82.1%
Jクラブは地域に大きく貢献	79.5%
サッカーは若い人たちにいい影響	76.3%
Jリーガーは社会の模範	65.7%

観戦者のプロフィール		
年齢	平均年齢	40.4歳(34.1歳 ※同伴来場の子どもを含めた場合)
	年齢層	40代(28.4%)、30代(22.0%)、50代以上(25.5%)を中心
性別	男性構成比	61.5%
居住地	活動区域内居住率	86.3%
自由裁量所得	月額平均	33,600円

観戦の特徴		
観戦頻度	J1平均	12.2回/シーズン
	J2平均	12.4回/シーズン
アクセス	平均所要時間	51.3分
同伴者	同伴者数(平均)	(回答者含み)2.8名
	二人で来場する割合	43.2%
	家族と来場する割合	52.9%
サポーター歴	10年以上	47.9%

チケット	
シーズンチケット購入率	46.8%
シーズンチケット購入理由	クラブに愛着(73.1%)

観戦動機とファンコミュニティ		
観戦動機	サッカー観戦が好き	平均得点4.54(5点満点)
	好きなクラブの応援	平均得点4.53(5点満点)
勧誘行動	周囲を観戦に誘う	58.4%
被勧誘行動	周囲から観戦を誘われる	37.4%
リアルコミュニティ	スタジアムでの仲間がいる	54.5%
ヴァーチャルコミュニティ	ネット上での仲間がいる	21.2%

協力 筑波大学体育系准教授
早稲田大学スポーツ科学学術院教授
大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科教授
筑波大学体育系准教授

仲澤 眞
原田 宗彦
藤本 淳也
高橋 義雄

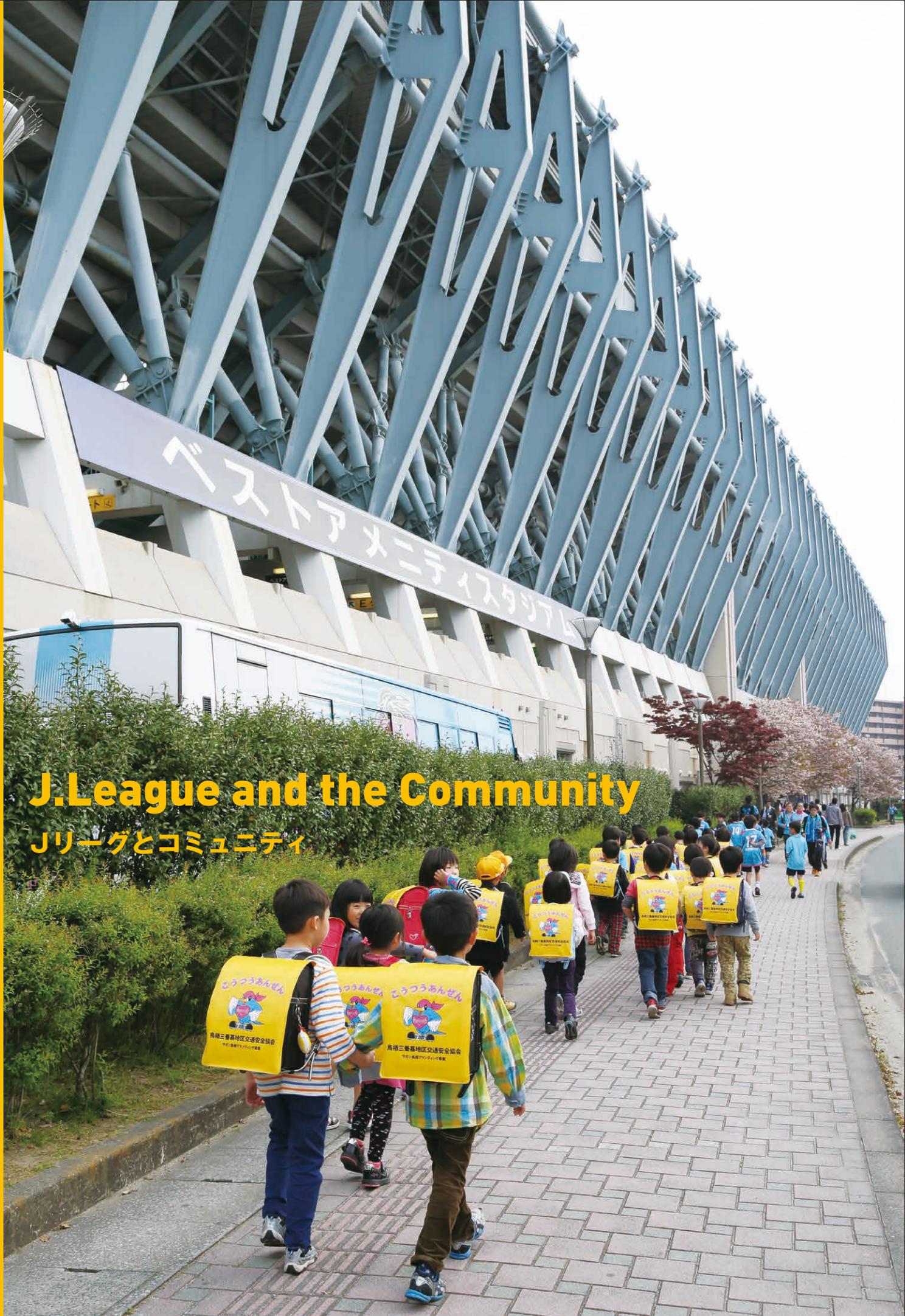
実査協力 東日本国際大学特任講師
仙台大学スポーツ科学研究科准教授
新潟経営大学経営情報学部スポーツマネジメント学科准教授
法政大学スポーツ健康学部助教
山梨学院大学経営情報学部経営情報学科准教授
日本福祉大学社会福祉学部客員准教授
岐阜経済大学経営学部准教授
びわこ成蹊スポーツ大学准教授
岡山大学スポーツ教育センター助教
徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授
北九州市立大学都市政策研究所准教授
佐賀大学文化教育学部教授
鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系講師
日本文理大学経営経済学部スポーツビジネスコース准教授

岩村 聡
永田 秀隆
福田 拓哉
井上 尊寛
長倉 富貴
荒深 裕規
大野 貴司
吉田 政幸
高岡 敦史
行實 鉄平
南 博
坂元 康成
隅野 美砂輝
竹田 隆行

調査の概要 Outline of Survey

2014シーズンの来場者を対象に質問紙調査を行い、本報告書を作成した。調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,972名とし、17,252票(有効回収率:96.0%)の有効回答を得た。調査の時期は、2014年5月10日から10月19日であった。調査の対象となったゲームおよび会場等については、下記に示す通りである。

	対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
										有効回収数	ホームクラブ	
J1	仙台	22	8月30日	横浜FM	ユアスタ	19:04	曇	17,468	410	391	344	95.4
	鹿島	24	9月20日	横浜FM	カシマ	19:04	雨のち曇	17,834	413	408	380	98.8
	浦和	27	10月5日	徳島	埼玉	14:04	雨	23,294	411	406	396	98.8
	大宮	28	10月18日	F東京	NACK	17:04	晴	11,901	500	460	440	92.0
	柏	25	9月23日	鳥栖	柏	19:04	晴	9,022	411	407	370	99.0
	F東京	18	8月2日	清水	味スタ	18:34	晴	24,119	459	456	401	99.3
	川崎F	17	7月27日	新潟	等々力	19:03	曇のち晴	19,254	414	410	385	99.0
	横浜FM	13	5月10日	鳥栖	日産ス	14:04	晴	19,606	416	415	353	99.8
	甲府	21	8月23日	G大阪	中銀スタ	18:34	曇	12,191	414	410	369	99.0
	新潟	14	5月17日	名古屋	デンカS	15:03	曇	24,176	500	459	425	91.8
	清水	15	7月19日	川崎F	アイスタ	18:04	曇のち雨	15,305	411	399	357	97.1
	名古屋	19	8月9日	鹿島	豊田ス	19:04	曇時々雨	16,369	443	387	288	87.4
	G大阪	24	9月20日	C大阪	万博	16:04	曇	19,569	495	478	420	96.6
	C大阪	15	7月19日	横浜FM	ヤンマー	19:04	晴	30,188	498	468	399	94.0
	神戸	19	8月9日	新潟	ノエスタ	19:04	雨のち曇	11,303	475	449	383	94.5
	広島	23	9月13日	G大阪	Eスタ	19:04	晴	17,490	500	478	441	95.6
	徳島	20	8月16日	横浜FM	鳴門大塚	19:04	雨のち曇	12,034	521	471	393	90.4
	鳥栖	24	9月20日	仙台	ベアスタ	19:04	曇	10,231	432	427	382	98.8
J1計									8,123	7,779	6,926	95.8
J2	札幌	24	7月30日	横浜FC	札幌ド	19:03	屋内	13,719	412	403	359	97.8
	山形	20	6月28日	磐田	NDスタ	18:04	曇	12,030	411	408	373	99.3
	水戸	22	7月20日	群馬	Ksスタ	18:03	晴	5,776	415	412	344	99.3
	栃木	21	7月5日	富山	栃木グ	18:03	曇	4,227	486	455	408	93.6
	群馬	18	6月14日	熊本	正田スタ	15:04	晴	2,461	422	383	318	90.8
	千葉	23	7月26日	長崎	フクアリ	19:03	晴	11,458	413	413	368	100.0
	東京V	19	6月21日	栃木	味スタ	18:03	曇	3,629	500	442	352	88.4
	横浜FC	23	7月26日	磐田	ニッパ球	18:03	晴	6,420	464	459	314	98.9
	湘南	14	5月18日	福岡	BMWス	16:04	晴	8,069	500	458	417	91.6
	松本	28	8月24日	山形	松本	18:03	曇時々雨	12,042	419	415	387	99.0
	富山	28	8月24日	熊本	富山	18:04	雨	3,371	494	488	425	98.8
	磐田	19	6月21日	湘南	ヤマハ	19:04	曇	12,994	412	411	379	99.8
	岐阜	29	8月31日	東京V	長良川	18:04	晴	7,178	495	478	388	96.6
	京都	21	7月5日	磐田	西京極	19:04	曇	10,573	499	499	382	100.0
	岡山	19	6月21日	横浜FC	カンスタ	19:04	雨	8,287	500	495	450	99.0
	讃岐	29	8月31日	岡山	丸亀	18:03	晴	7,722	387	362	291	93.5
	愛媛	25	8月3日	福岡	ニンスタ	18:04	曇	2,819	393	388	332	98.7
	福岡	26	8月10日	磐田	レベスタ	18:05	雨のち曇	6,210	405	391	339	96.5
	北九州	37	10月19日	東京V	本城	16:05	晴	4,080	443	436	345	98.4
	長崎	31	9月14日	磐田	長崎県立	18:06	曇	12,638	429	429	388	100.0
熊本	21	7月5日	岐阜	うまスタ	19:03	曇	5,550	450	419	398	93.1	
大分	34	9月28日	長崎	大銀ド	13:03	晴	8,212	500	429	406	85.8	
J2計									9,849	9,473	8,163	96.2
合計									17,972	17,252	15,089	96.0



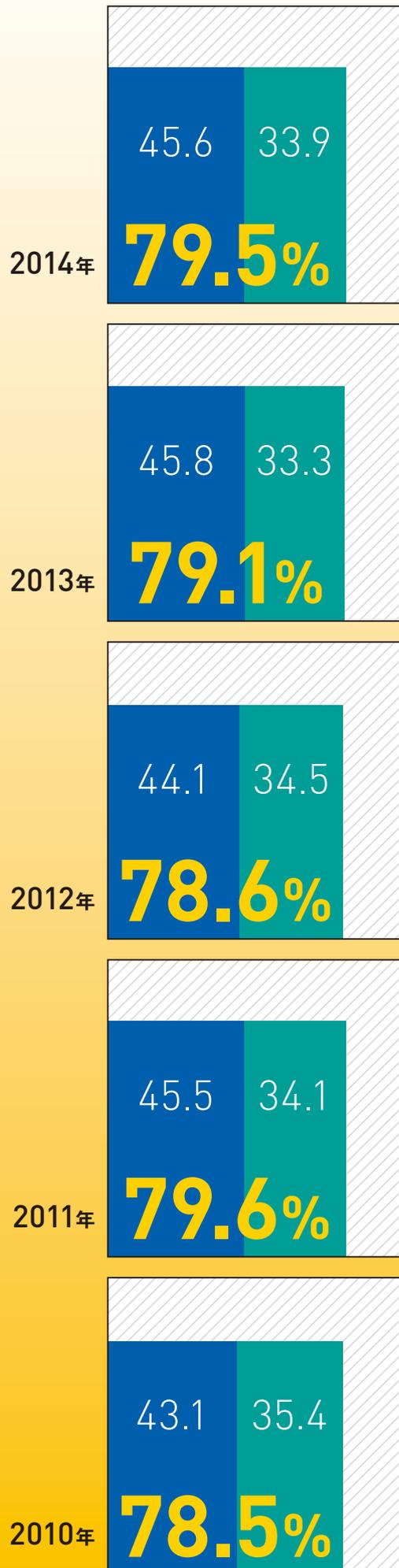
J.League and the Community

Jリーグとコミュニティ

Jクラブは、 ホームタウンで 大きな貢献を している

「大いにあてはまる」と
「あてはまる」を
加えたデータ

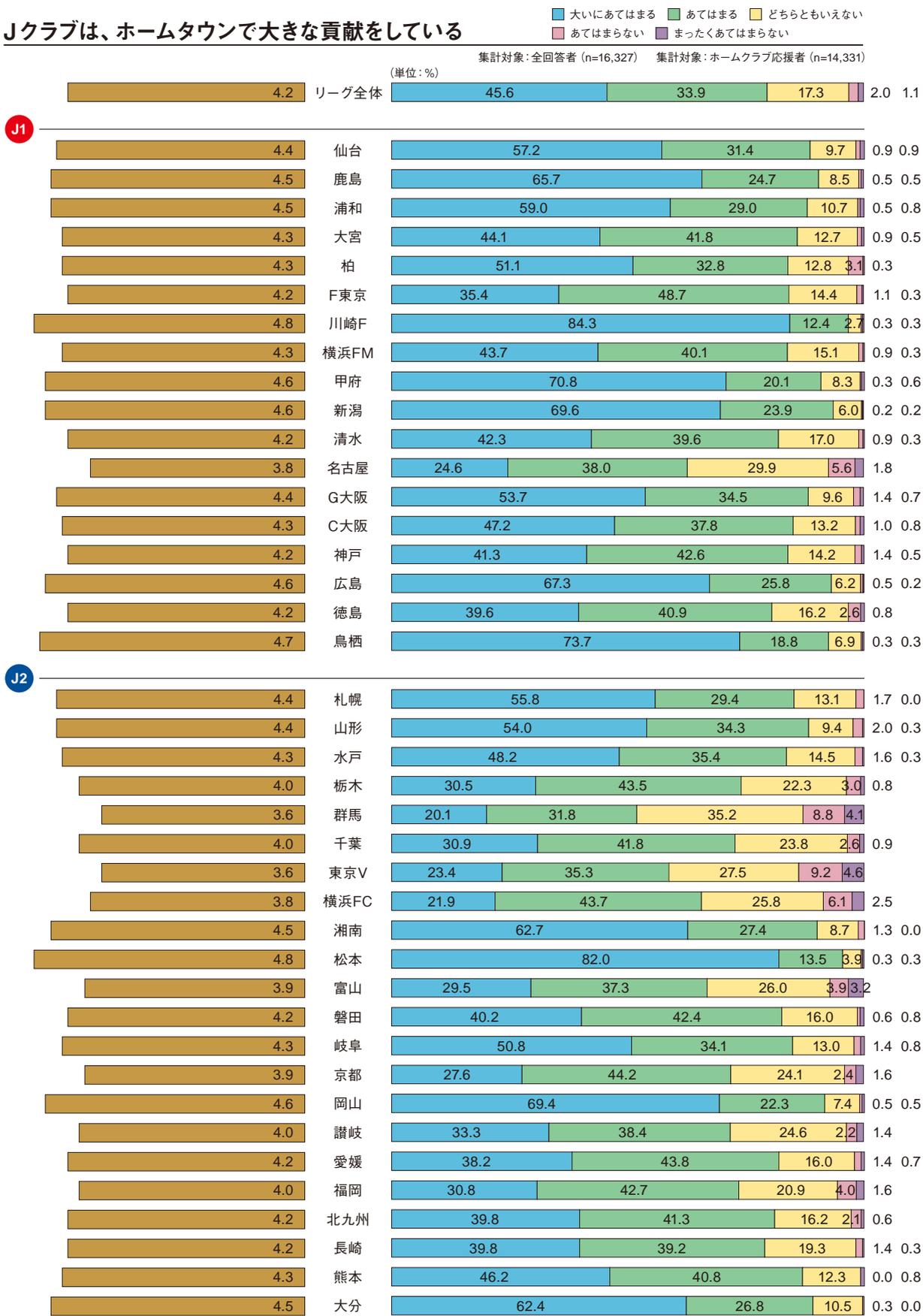
- 大いにあてはまる
- あてはまる



ホームタウンへの貢献を認める割合が3年連続アップしており、2013シーズンから0.4%アップ。

「Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている」という見解に対して、観戦者全体の79.5% (45.6% + 33.9%) が肯定的であった。クラブ別にみると、川崎Fと松本が4.8ポイントと最も高く、次いでJ1では鳥栖(4.7)、甲府・新潟・広島(4.6)、J2では岡山(4.6)のポイントが高くなっている。

Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

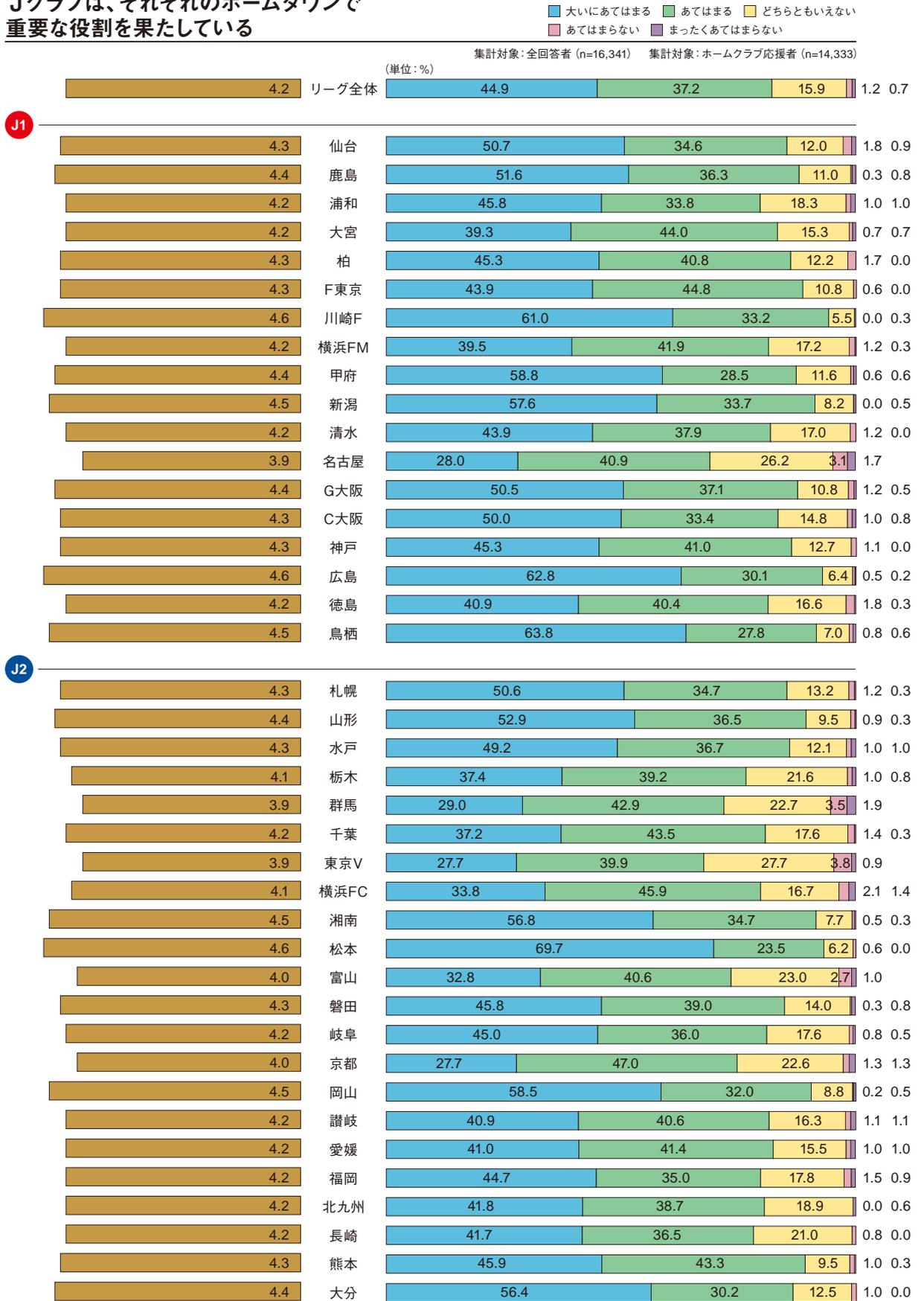


*平均値は、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めたスコアである

82.1% (大いにはまる+あてはまる)が、 Jクラブが地域で重要な役割を果たしていると感じている。

「Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の82.1% (44.9% + 37.2%)が肯定的であった。クラブ別にみると、川崎F、広島と松本が4.6ポイントと最も高く、ついでJ1では新潟・鳥栖(4.5)、J2では湘南・岡山(4.5)のポイントが高くなっている。

Jクラブは、それぞれのホームタウンで 重要な役割を果たしている

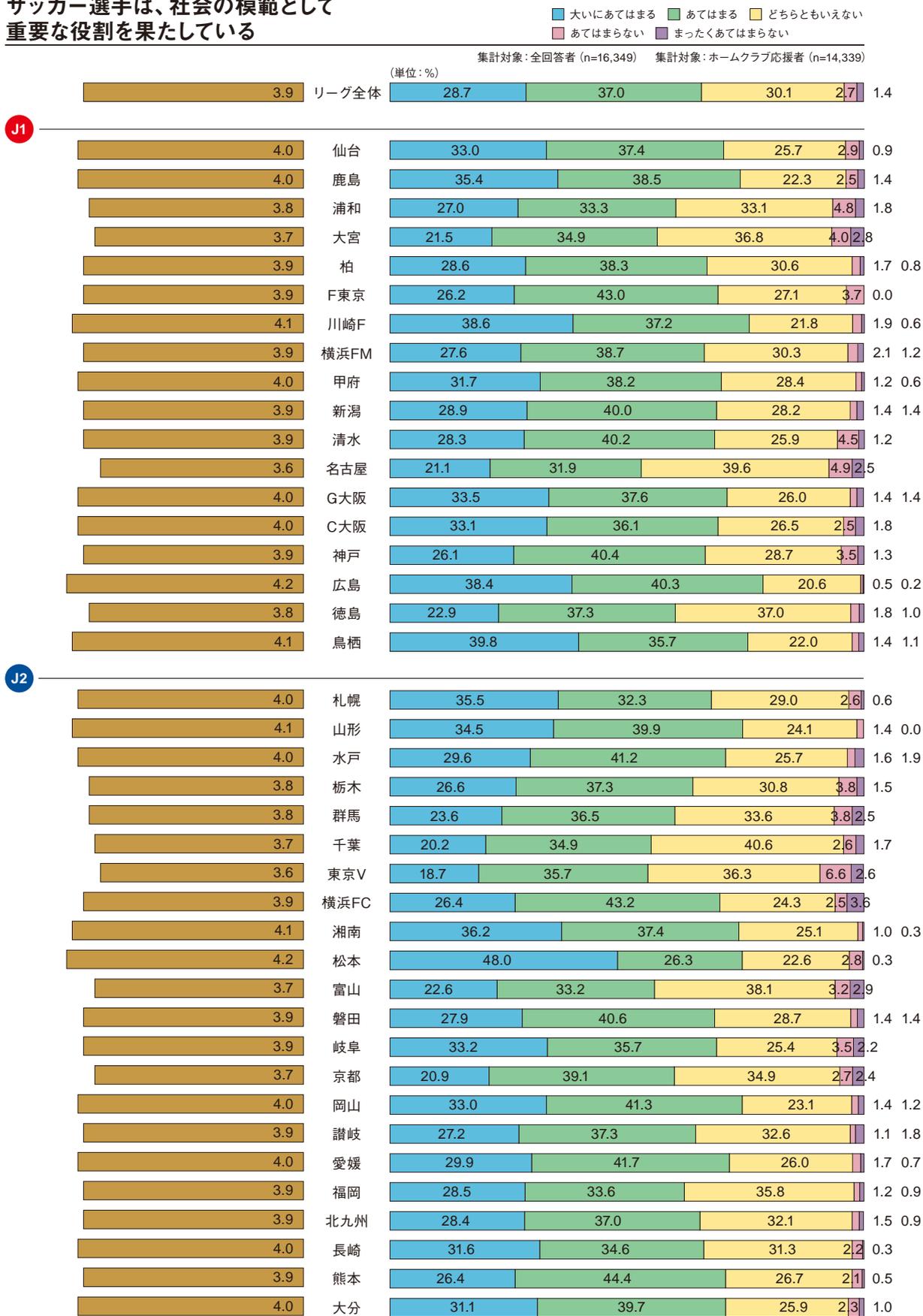


*平均値は、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めたスコアである

65.7% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカー選手を社会の模範として重要だと感じている。

「サッカー選手は、社会の模範として重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の65.7% (28.7%+37.0%) が肯定的であった。クラブ別にみると、広島と松本が4.2ポイントと最も高く、ついでJ1では川崎F・鳥栖(4.1)、J2では山形・湘南(4.1)のポイントが高くなっている。

サッカー選手は、社会の模範として重要な役割を果たしている



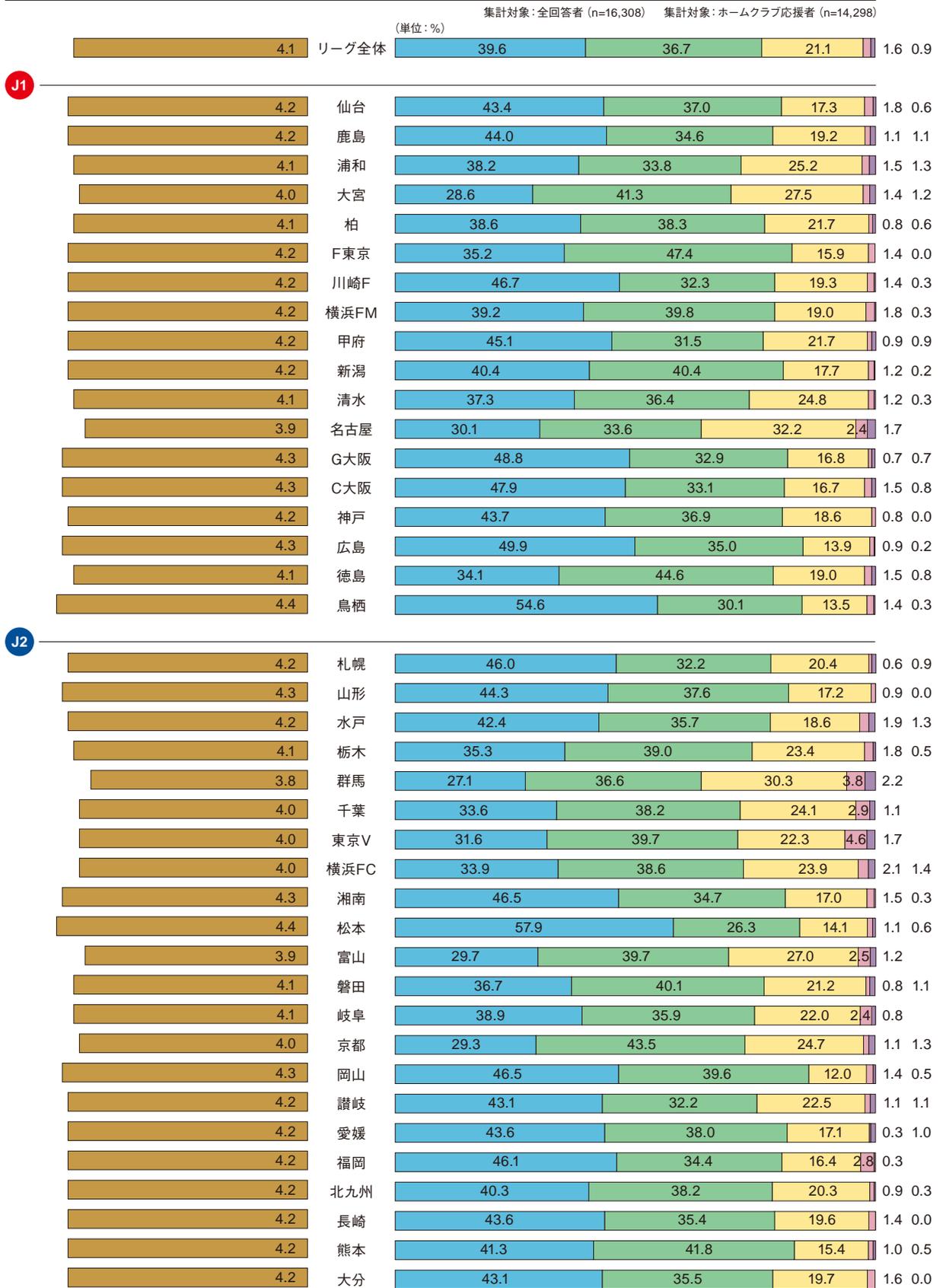
*平均値は、五段階評定尺度 (とてもあてはまる: 5~まったくあてはまらない: 1) で求めたスコアである

76.3%(大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカーは若者にいい影響を与えていると考えている。

「サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる」という見解に対して、観戦者全体の76.3%(39.6%+36.7%)が肯定的であった。クラブ別にみると、鳥栖と松本が4.4ポイントと最も高く、ついでJ1ではG大阪・C大阪・広島(4.3)、J2では山形・湘南・岡山(4.3)のポイントが高くなっている。

サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる

■ 大いにあてはまる ■ あてはまる ■ どちらともいえない
■ あてはまらない ■ まったくあてはまらない



*平均値は、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めたスコアである

Sample Profile

観戦者のプロフィール



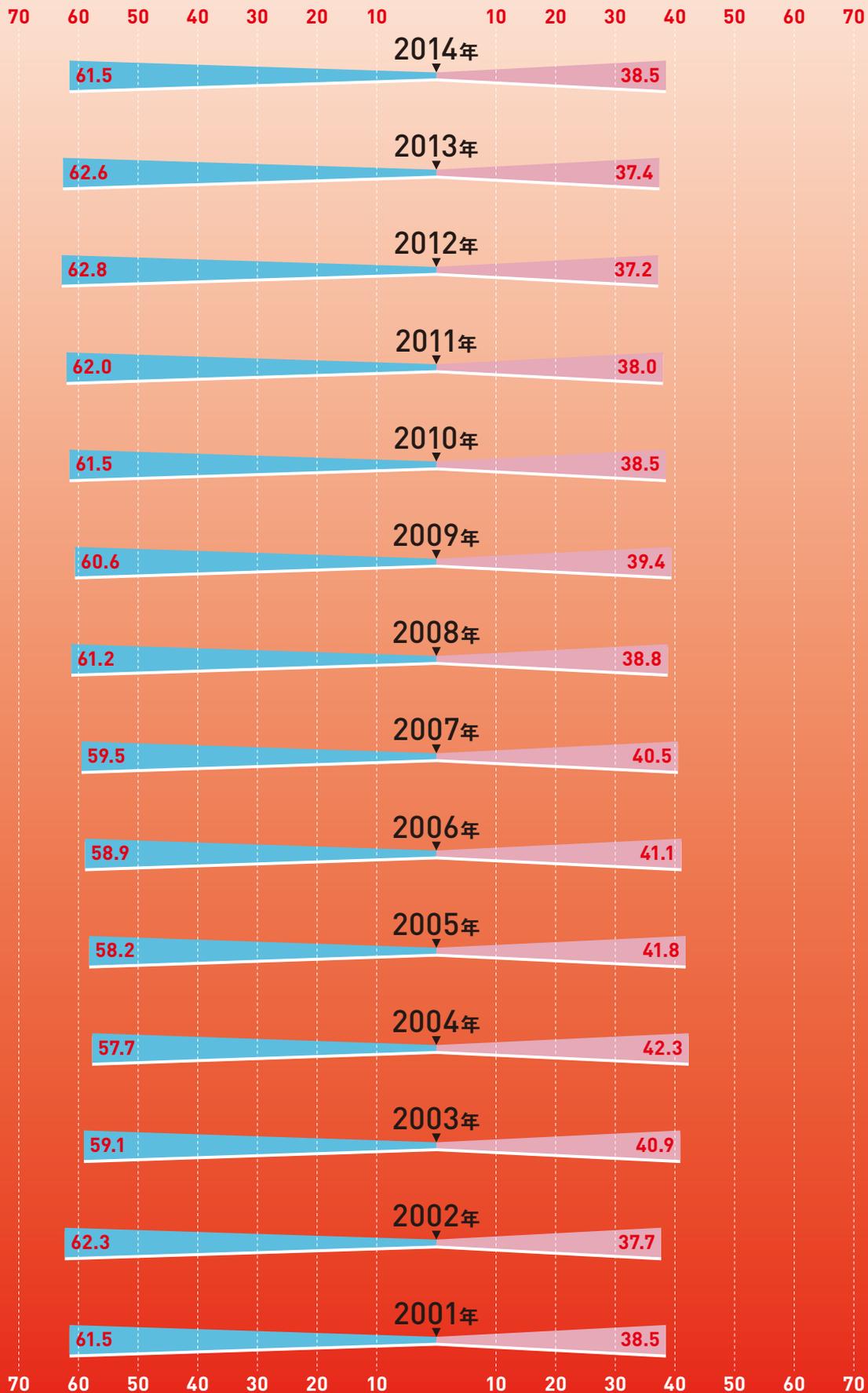
観戦者のプロフィールとして記載された内容は、(調査対象年齢を満11歳以上としていることなど)調査方法による一定の制限を受けたものであり、「調査対象のプロフィール(Sample Profile)」として理解される必要がある。

性別 (Jリーグ平均)

■ 男性 ■ 女性

集計対象 [リーグ平均] : 全回答者

2014 n=17,234 / 2013 n=17,253 / 2012 n=16,711 / 2011 n=16,457 / 2010 n=16,359 / 2009 n=16,033 / 2008 n=14,452
2007 n=12,973 / 2006 n=12,937 / 2005 n=13,003 / 2004 n=12,131 / 2003 n=11,633 / 2002 n=19,270 / 2001 n=7,390



男女比6:4 女性微増も大きな変化なし。

観戦者の性別をリーグ全体で見ると、男性61.2%、女性38.8%で、例年とほぼ同様の結果であった(P11参照)。J1とJ2で性別構成に大きな違いはみられないものの、J1では大宮(70.9%)・名古屋(74.0%)、J2では横浜FC(74.2%)・湘南(70.7%)の男性率が高くなっている。反対に、J1では鹿島(46.1%)、J2では長崎(50.3%)・札幌(46.8%)の女性率が高くなっており、長崎は女性率が男性率を超える結果となった。2013シーズンとの比較では、川崎F(男性比が12.6%増加)、大分(同8.1%)、名古屋(同6.4%)などで男性比が高くなり、岐阜(女性比が7.4%増加)などで女性比が高くなった。

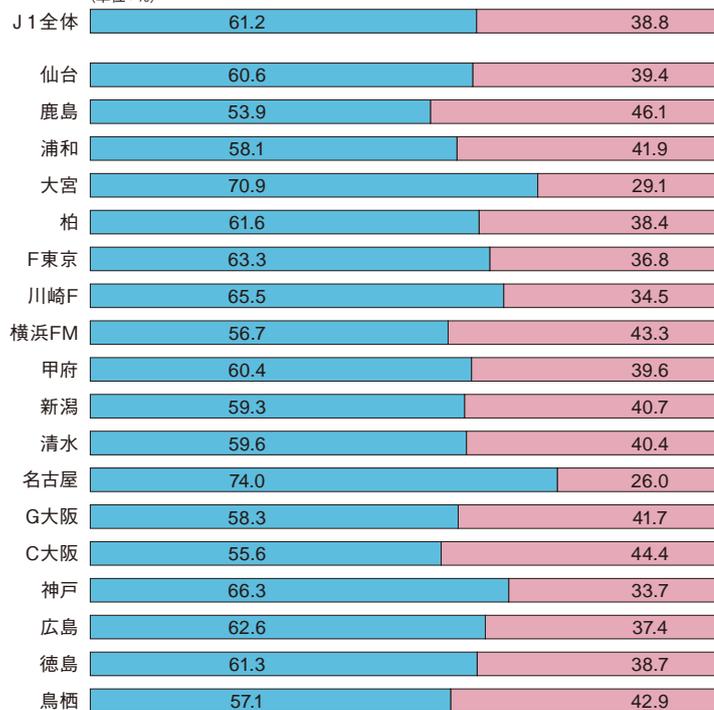
2014性別(クラブ別)

■ 男性 ■ 女性

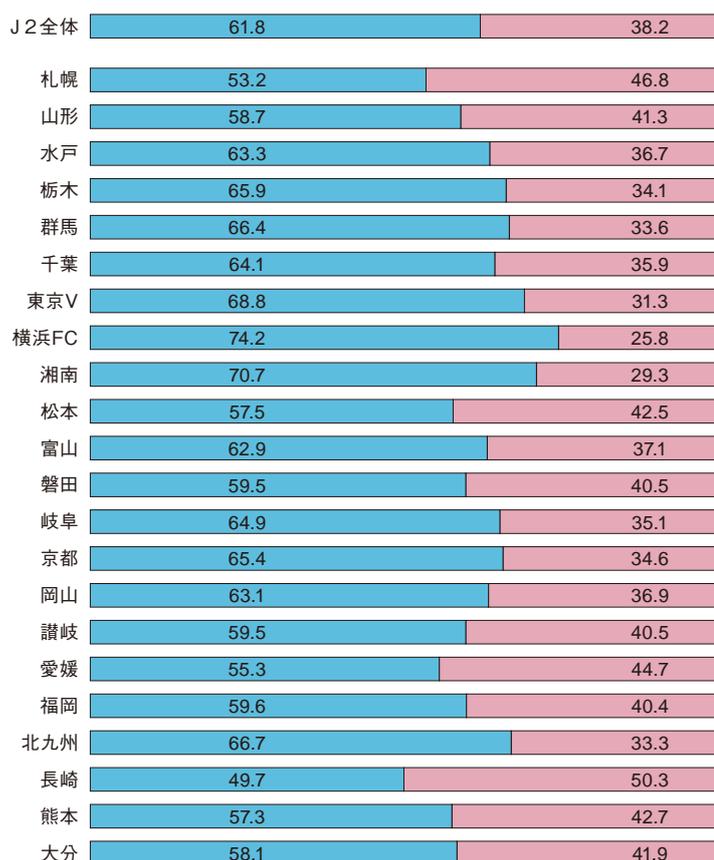
集計対象：ホームクラブ応援者(n=15,079)

J1

(単位：%)



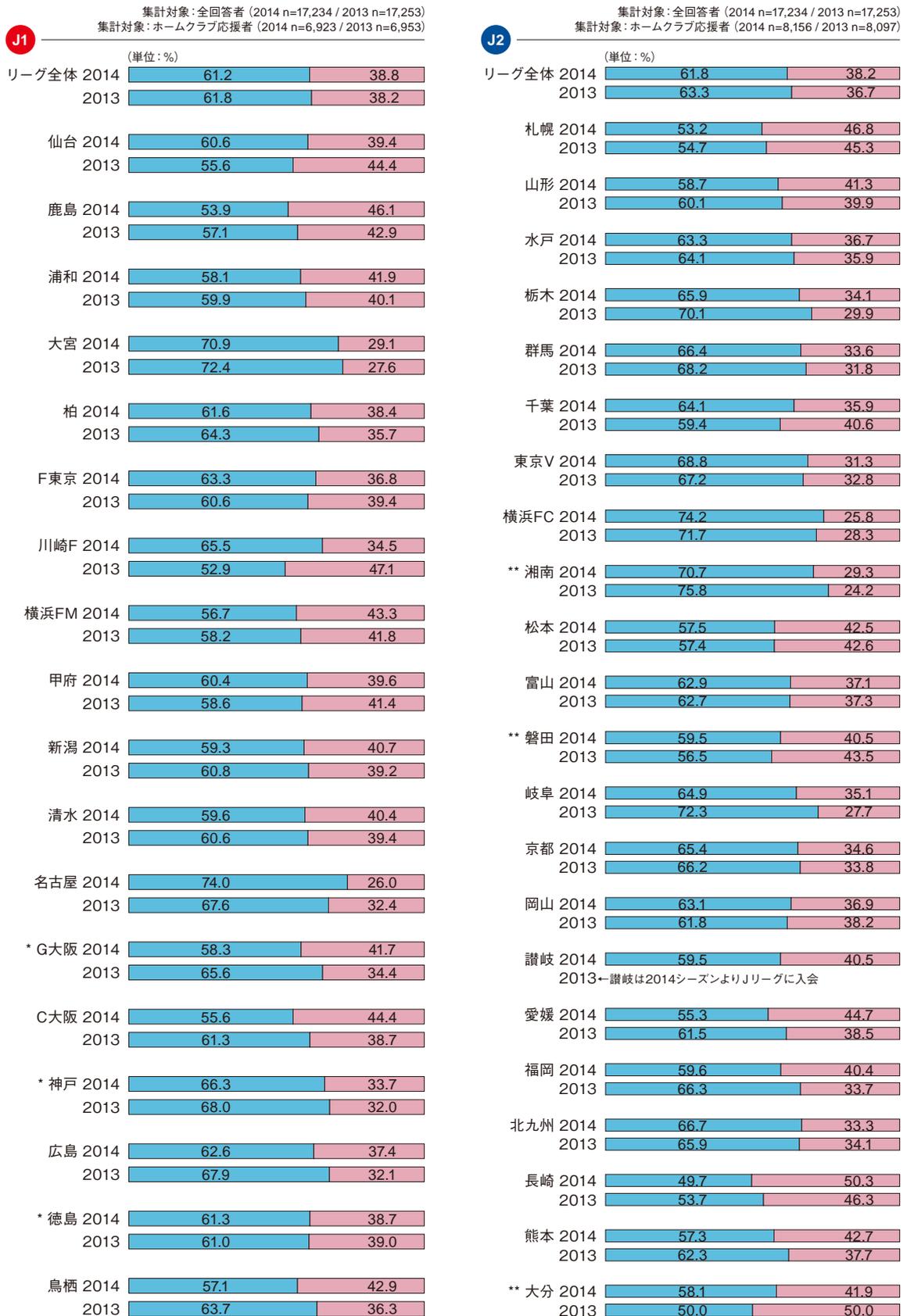
J2





性別 (2013/2014比較)

■ 男性 ■ 女性



*G大阪、神戸、徳島は2013シーズンJ2に所属 **湘南、磐田、大分は2013シーズンJ1に所属

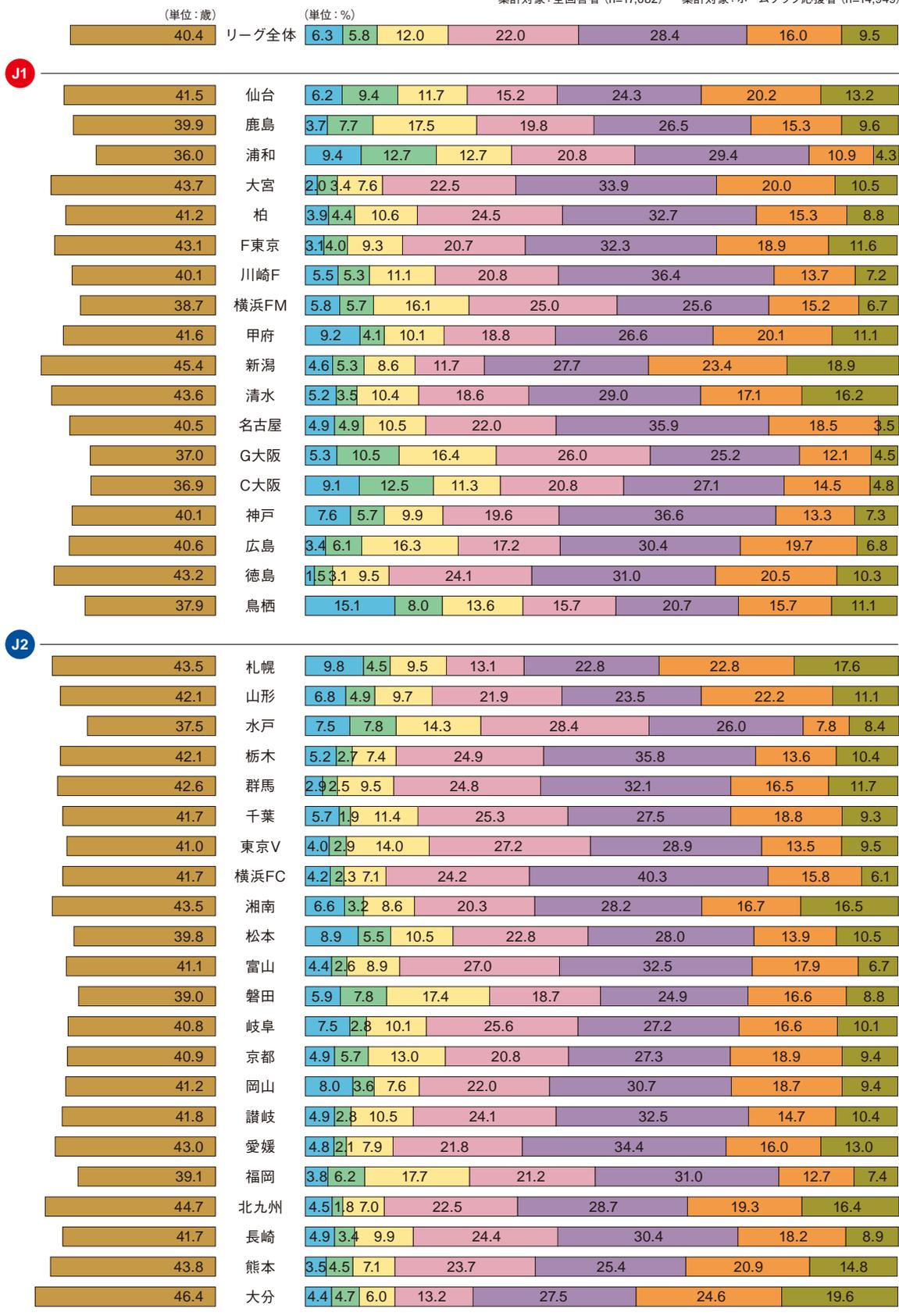
平均年齢は40.4歳。

観戦者の平均年齢は、全体で40.4歳となり、2013シーズンより0.9歳上がっている。年齢層では、40代(28.4%)、50代以上(25.5%)、30代(22.0%)が中心となっていた。性別による年齢構成比に大きな違いはなかった。平均年齢が高いクラブは大分(46.4歳)、新潟(45.4歳)などであった。一方、平均年齢が低いクラブは、浦和(36.0歳)、C大阪(36.9歳)、G大阪(37.0歳)などであった。2013シーズンとの比較では、大分(+4.9歳)、熊本(+4.1歳)が平均年齢を上げ、浦和(-4.5歳)、水戸(-3.0歳)が平均年齢を下げていた。

平均年齢・年齢分布 (クラブ別)

11-18歳 19-22歳 23-29歳 30-39歳
40-49歳 50-59歳 60歳以上

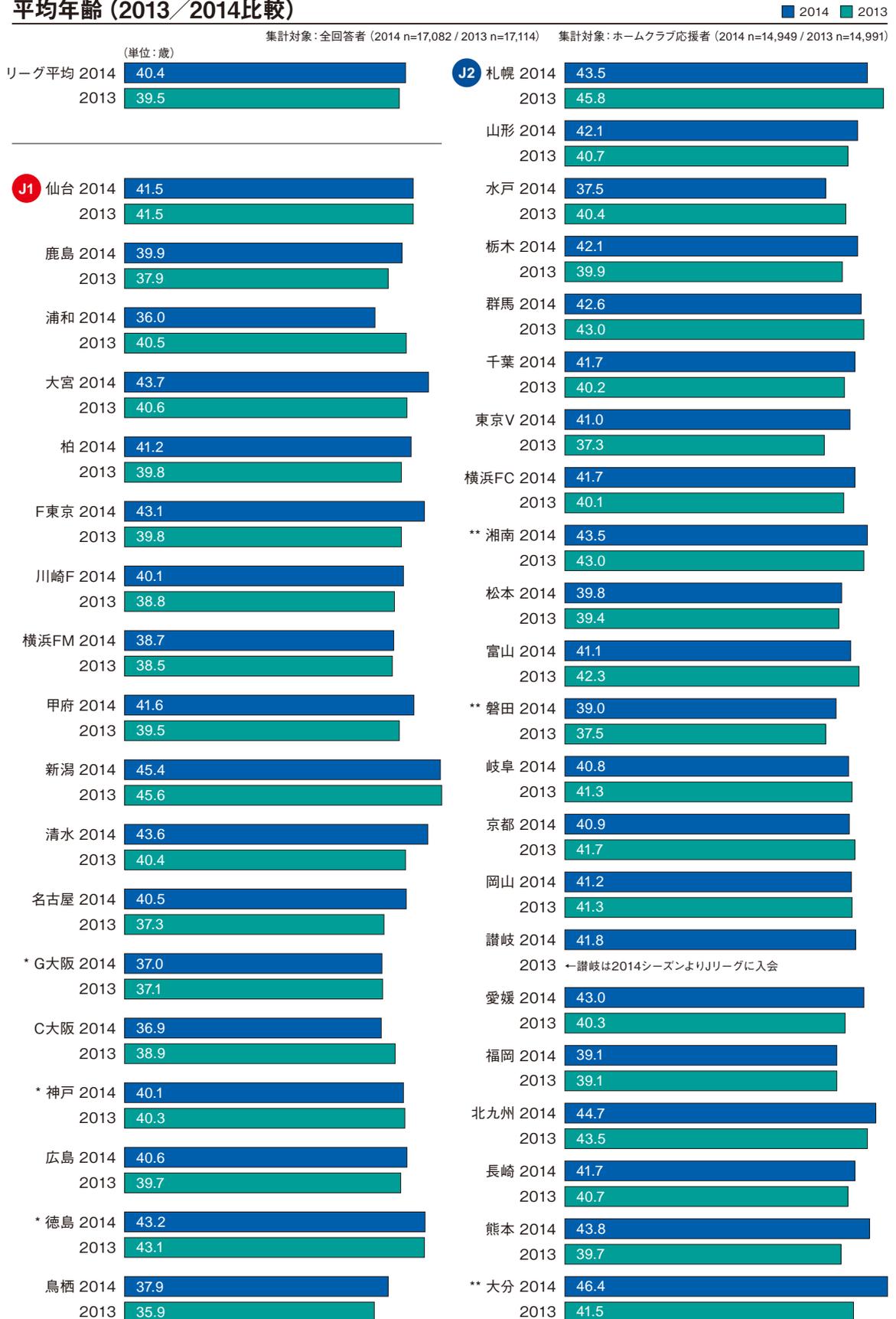
集計対象：全回答者 (n=17,082) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,949)



平均年齢が最も低いクラブは、 J1では浦和(36.0歳)、J2では水戸(37.5歳)。

J1では平均年齢が2013シーズンより下がったクラブが5、上がったクラブが12、変わらなかったクラブが1。J2では下がったクラブが5、上がったクラブが15、変わらなかったクラブが1であった(2014シーズン入会の讃岐を除く)。2013シーズンと比べると、浦和(-4.5歳)の下がり幅が大きく、熊本(+4.1歳)・大分(+4.9歳)の上がり幅が大きく顕著であった。

平均年齢 (2013/2014比較)



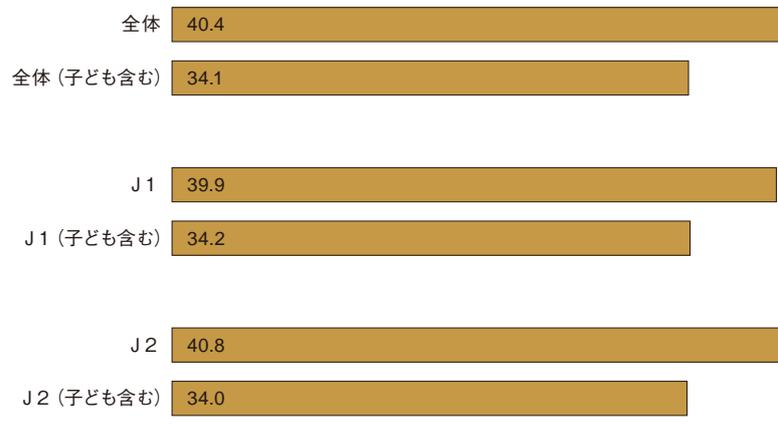
*G大阪、神戸、徳島は2013シーズンJ2に所属 **湘南、磐田、大分は2013シーズンJ1に所属

一緒に来場した子どもを含めた観戦者の平均年齢は34.1歳。

2013シーズンから試行的に、調査対象に同伴した子どもがいる場合には、その年齢についての回答を求める調査項目を設定した。これは、サマリーレポートの調査は、その対象を11歳以上としているため、来場者全体の年齢構成を反映していない点を補完する目的で設定された項目である。それによれば、全体では従来の算出方式では、40.4歳（J1:39.9歳、J2:40.8歳）であった平均年齢が、34.1歳（J1:34.2歳、J2:34.0歳）になり、6.3歳（J1:5.7歳、J2:6.8歳）平均年齢が低下するという結果が得られた。スタジアムの実態により近い結果と思われる。

平均年齢

n=17,082 n=22,266 (同伴来場した子ども含む)

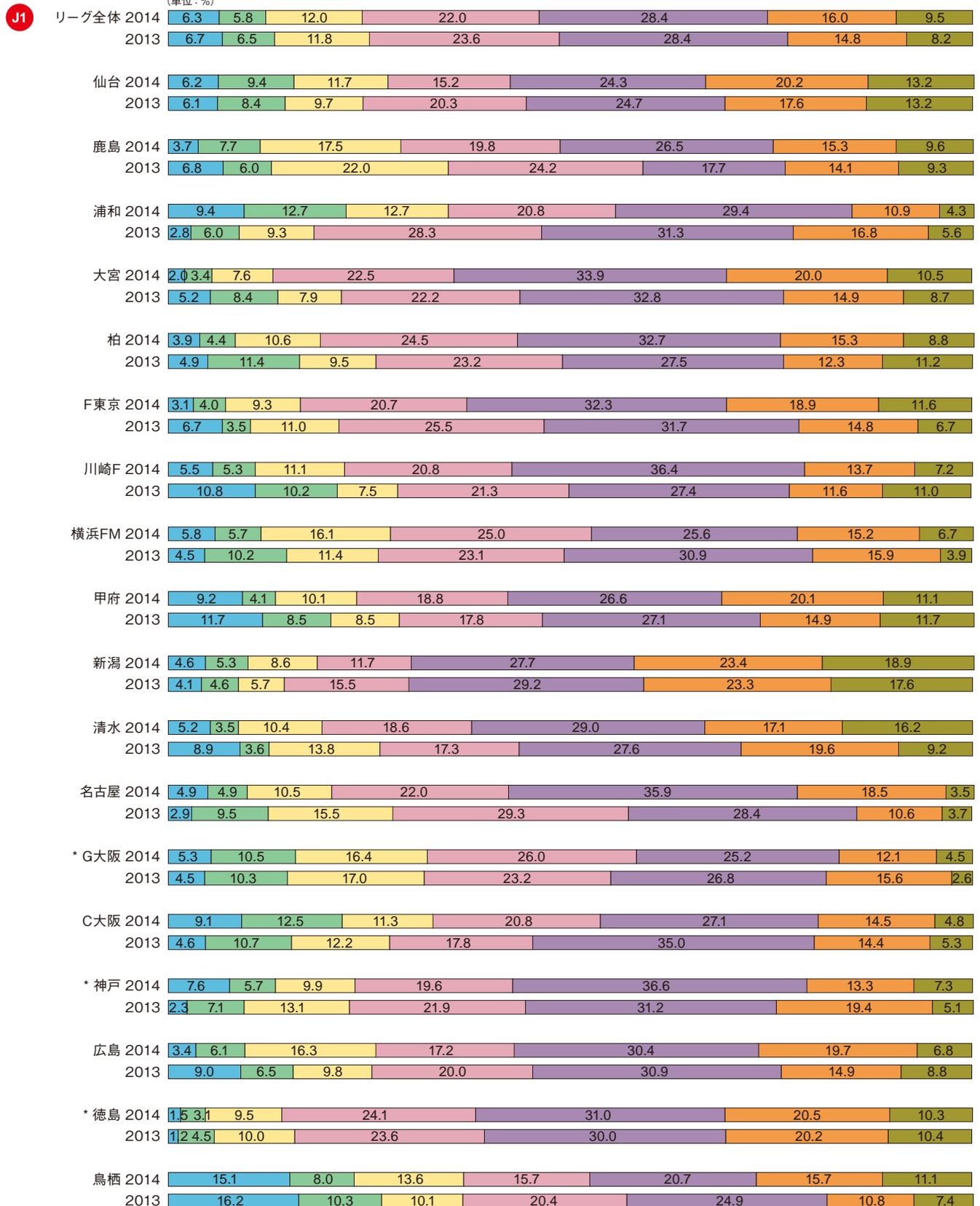




J1年齢分布 (2013/2014比較)

11-18歳 19-22歳 23-29歳 30-39歳
40-49歳 50-59歳 60歳以上

集計対象: 全回答者 (2014 n=17,082 / 2013 n=17,114)



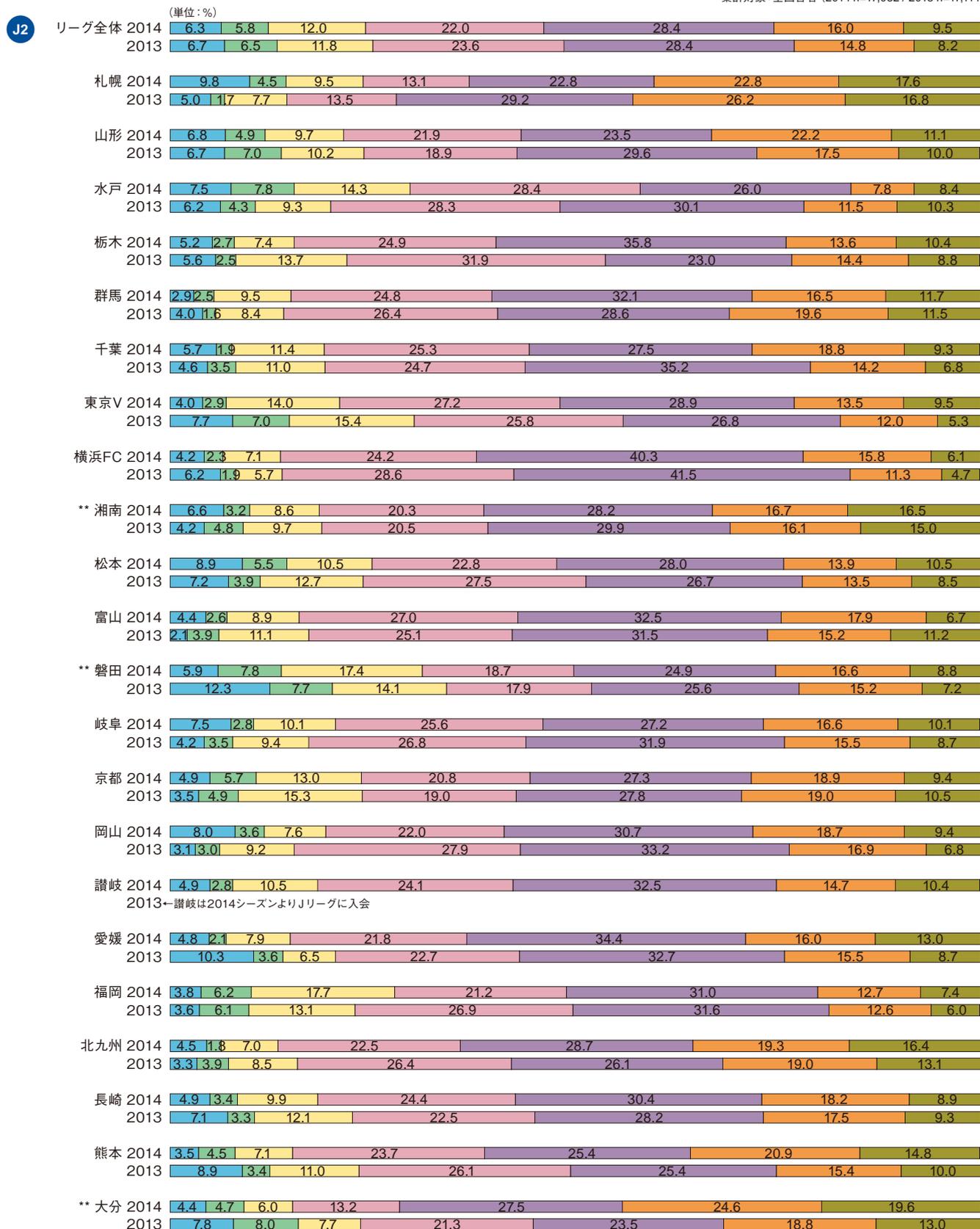
*G大阪、神戸、徳島は2013シーズンJ2に所属



J2年齢分布 (2013/2014比較)

11-18歳 19-22歳 23-29歳 30-39歳
40-49歳 50-59歳 60歳以上

集計対象：全回答者 (2014 n=17,082 / 2013 n=17,114)



** 湘南、磐田、大分は2013シーズンJ1に所属

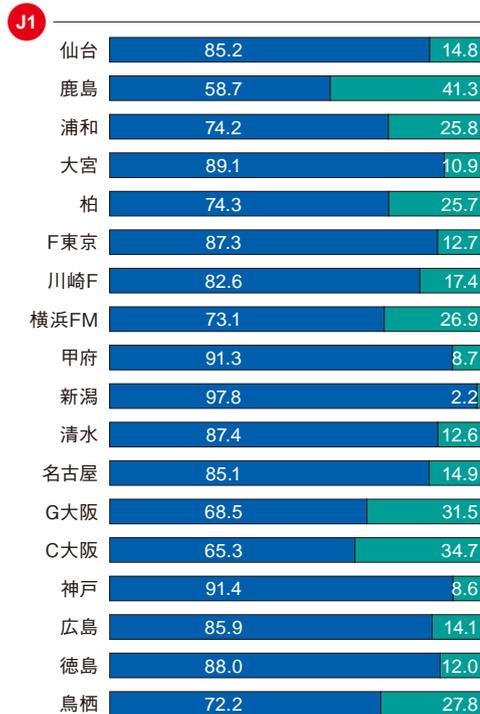
全体の86.3%がホームタウンのある都道府県に居住。

鹿島(58.7%)、C大阪(65.3%)、G大阪(68.5%)、東京V(68.3%)などに、活動区域に居住する割合が低くなる傾向が、札幌(98.9%)、愛媛(98.8%)、長崎(98.7%)、大分(98.0%)などに、活動区域に居住する割合が高くなる傾向がみられた。

居住地(活動区域・市区郡内訳)

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

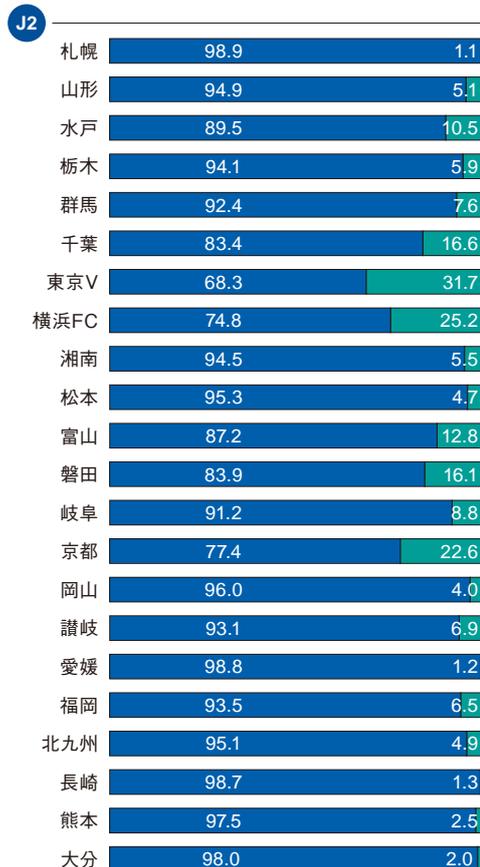
集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,048)



居住地(都道府県下詳細) 上位3市区郡町村

(単位：%)

仙台市	64.2	黒川郡	4.7	多賀城市	2.4
水戸市	8.4	神栖市	6.1	鹿島市	4.5
さいたま市	23.7	川口市	8.6	越谷市	5.6
さいたま市	55.4	上尾市	3.4	久喜市	3.0
柏市	37.8	流山市	10.0	木更津市	8.6
世田谷区	9.0	調布市	9.0	府中市	7.0
川崎市	68.3	横浜市	10.1	茅ヶ崎市	0.8
横浜市	47.3	相模原市	5.1	藤沢市・大和市	3.9
甲府市	26.3	南アルプス市	10.3	中央市	9.2
新潟市	60.7	長岡市	7.9	三条市	4.1
静岡市	47.3	富士市	7.8	藤枝市	5.3
豊田市	20.1	名古屋市	18.8	一宮市	3.5
大阪市	12.6	吹田市	12.6	茨木市	10.5
大阪市	33.4	堺市	9.9	和泉市	2.3
神戸市	54.7	明石市	14.1	西宮市	4.2
広島市	54.7	呉市	6.2	福山市	5.5
徳島市	32.1	板野郡	18.6	鳴門市	14.3
佐賀市	25.7	鳥栖市	15.0	小城市	8.1



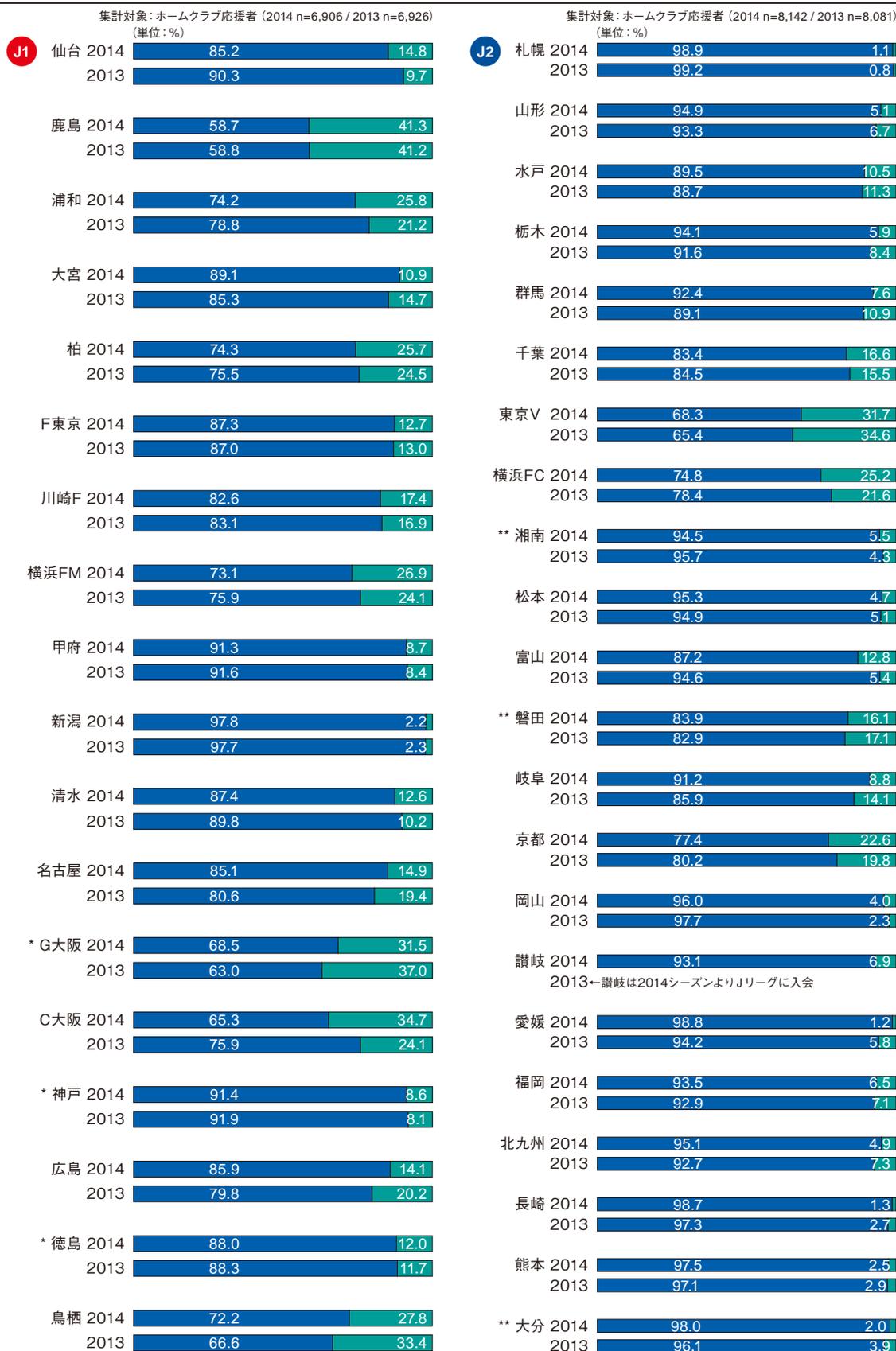
札幌市	75.4	江別市	3.1	旭川市	2.8
山形市	32.7	天童市	14.7	寒河江市	5.9
水戸市	35.2	日上市	8.4	笠間市	7.0
宇都宮市	43.8	栃木市	6.2	小山市	5.0
前橋市	31.8	高崎市	15.0	伊勢崎市	10.2
千葉市	34.2	市原市	15.8	船橋市	6.5
稲城市	10.6	八王子市	6.3	世田谷区	4.0
横浜市	60.1	川崎市	4.5	大和市	2.2
平塚市	49.3	藤沢市	7.8	茅ヶ崎市	7.6
松本市	47.4	安曇野市	12.7	塩尻市	10.4
富山市	50.4	高岡市	9.2	射水市	8.5
浜松市	36.1	磐田市	21.9	袋井市	5.3
岐阜市	42.3	大垣市	5.7	各務原市	5.7
京都市	56.3	宇治市	6.3	城陽市	3.9
岡山市	62.3	倉敷市	15.1	瀬戸内市	2.4
高松市	37.2	丸亀市	15.2	三豊市	9.7
松山市	54.2	伊予郡	12.7	伊予市	6.3
福岡市	49.3	糟屋郡	10.6	北九州市	4.1
北九州市	78.0	遠賀郡	5.5	中間市	3.2
長崎市	39.2	諫早市	22.4	大村市	9.0
熊本市	59.8	八代市	6.0	合志市	4.8
大分市	65.8	別府市	5.9	臼杵市	5.4

C大阪の活動区域外からの観戦者が10.6%増加。

C大阪は、活動区域外からの観戦者が増える結果となった。その他の多くのクラブでは、2013シーズンと2014シーズンにおける大きな違いはみられない。

居住地 (活動区域2013/2014比較)

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

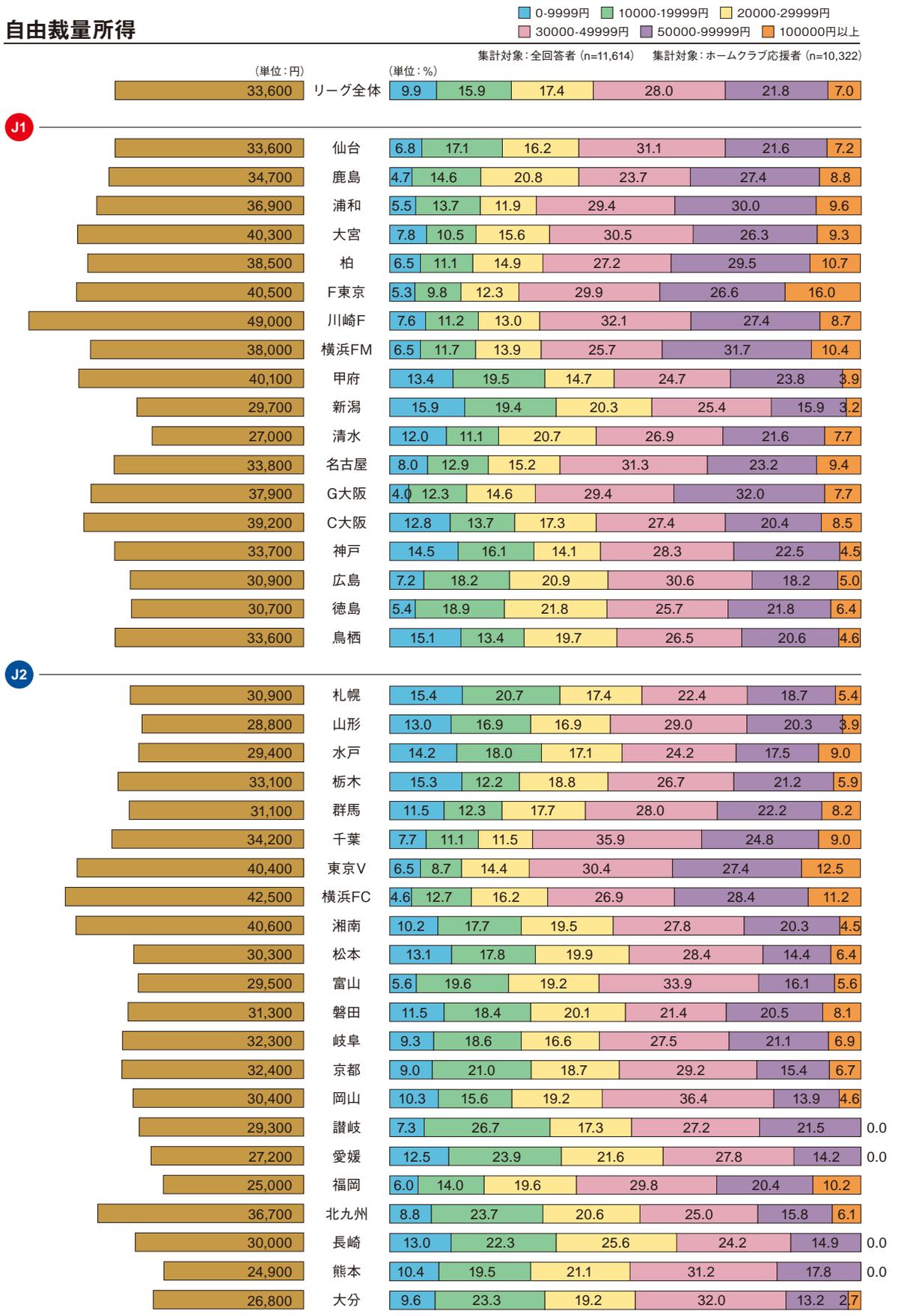


*G大阪、神戸、徳島は2013シーズンJ2に所属 **湘南、磐田、大分は2013シーズンJ1に所属

おこづかいは、ほぼ横ばいの33,600円。

観戦者の自由裁量所得（レジャーや趣味等、自由に使える1ヶ月のおこづかい）のリーグ平均は33,600円/月となった。2013シーズンは33,300円、2012シーズンは33,200円、2011シーズンは33,700円とほぼ横ばいであった。

自由裁量所得



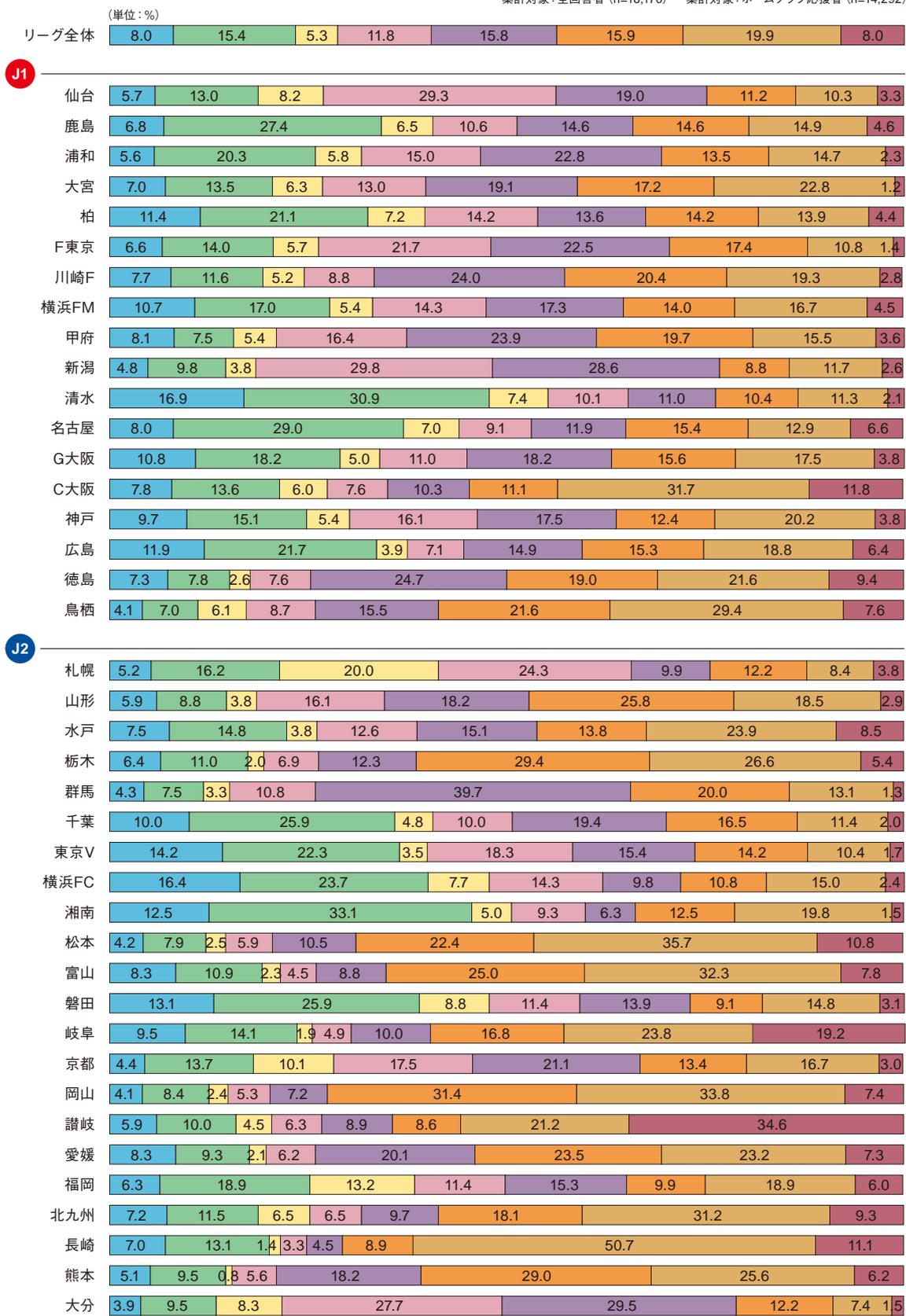
2014シーズンの新規参入層は8.0%。

2014シーズンからJリーグ観戦を始めた新規参入層は8.0%で、2013シーズン(8.5%)とほぼ同様の割合であった。クラブ別にみると、J1ではC大阪(11.8%)の割合が高く、J2ではラモス監督や元日本代表選手が加入した岐阜(19.2%)、2014シーズンよりJリーグに入会した讃岐(34.6%)の新規参入層の比率が高い結果となった。Jリーグ開幕以前より観戦をしていた観戦者は、全体の8.0%であり、清水(16.9%)、横浜FC(16.4%)などは、その層が多くなっていた。また、Jリーグ開幕直後(1993～1995シーズン)に観戦を開始した観戦者は全体の15.4%であった。湘南(33.1%)、清水(30.9%)などの観戦者に、その時期に観戦を始めた人が多いことがわかった。

観戦歴

1992年以前 1993～1995年頃 1996～1998年頃 1999～2002年頃
2003～2006年頃 2007～2010年頃 2011～2013年頃 今シーズンから(2014)

集計対象：全回答者(n=16,170) 集計対象：ホームクラブ応援者(n=14,292)



2014シーズンから新たにサポーターになった人は6.7%。

観戦者に、どのくらいの期間、特定のクラブを応援しているかについて尋ねたところ、10年以上とする割合が最も高く47.9%となっていた。10年以上の長いサポーター歴をもつ観戦者の割合が高いクラブには、札幌(73.0%)、清水(71.4%)、新潟(71.3%)などがあげられた。今シーズンからサポートクラブを持つようになったとする観戦者は、全体の6.7%であった。そのような観戦者の割合が高いクラブは、讃岐(29.6%)、岐阜(26.5%)などであった。

サポーター歴

■ 10年目以上 ■ 5-9年目 ■ 2-4年目 ■ 1年目

集計対象：J1ホームクラブ応援者 (n=16,966) 集計対象：J2ホームクラブ応援者 (n=15,085)
(単位：%)

リーグ全体 47.9 22.6 22.8 6.7

J1

仙台	64.5	16.9	14.8	3.8
鹿島	66.3	13.2	15.8	4.7
浦和	64.6	18.9	13.9	2.5
大宮	37.6	30.3	29.2	3.0
柏	54.6	18.1	19.5	7.8
F東京	54.4	23.7	17.7	4.2
川崎F	34.1	34.9	26.6	4.4
横浜FM	58.4	16.7	18.7	6.2
甲府	43.6	31.7	21.1	3.5
新潟	71.3	15.8	10.4	2.6
清水	71.4	15.4	10.6	2.5
名古屋	63.2	17.7	12.2	6.9
G大阪	49.8	26.0	19.0	5.2
C大阪	35.1	15.3	34.1	15.5
神戸	42.3	27.4	23.2	7.0
広島	54.9	21.1	18.8	5.2
徳島	37.5	24.7	24.7	13.0
鳥栖	27.7	27.5	34.0	10.7

J2

札幌	73.0	10.9	10.6	5.6
山形	36.7	35.4	25.5	2.4
水戸	27.3	20.3	41.0	11.3
栃木	13.0	43.6	36.5	6.9
群馬	44.2	37.2	13.2	5.4
千葉	56.5	27.4	12.8	3.3
東京V	66.8	17.9	12.2	3.1
横浜FC	46.2	24.5	23.6	5.7
湘南	56.6	17.7	21.3	4.3
松本	5.7	29.2	54.0	11.1
富山	6.6	40.0	42.4	11.1
磐田	68.3	14.2	14.5	2.9
岐阜	8.5	34.5	30.4	26.5
京都	56.8	19.4	17.5	6.3
岡山	4.2	48.9	39.1	7.8
讃岐	2.4	15.1	52.9	29.6
愛媛	21.1	34.6	34.0	10.2
福岡	50.1	20.1	21.2	8.6
北九州	7.2	31.3	46.7	14.8
長崎	8.0	13.7	66.2	12.1
熊本	18.6	44.0	31.2	6.3
大分	58.9	27.8	10.8	2.5



サッカー未経験者は、1.0% 増えて62.9% (2013シーズン:61.9%)

サッカー未経験者の割合が多いクラブは、J1では新潟(75.9%)・徳島(70.4%)、J2では長崎(72.9%)・熊本(71.9%)・大分(71.2%)である。

サッカー経験

■ している ■ 過去にしていた ■ したことはない

集計対象：全回答者 (n=16,690) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,627)

(単位：%)

リーグ全体	9.9	27.2	62.9
-------	-----	------	------

J1

仙台	9.4	27.2	63.5
鹿島	9.6	26.7	63.7
浦和	11.9	31.2	56.9
大宮	5.5	29.0	65.5
柏	9.9	27.0	63.1
F東京	8.9	34.7	56.4
川崎F	10.9	29.4	59.7
横浜FM	11.6	33.0	55.4
甲府	10.3	22.9	66.9
新潟	3.8	20.3	75.9
清水	7.8	30.7	61.5
名古屋	15.4	30.5	54.0
G大阪	13.4	24.9	61.7
C大阪	9.5	25.4	65.1
神戸	12.4	34.5	53.2
広島	8.2	28.0	63.8
徳島	6.9	22.7	70.4
鳥栖	11.4	21.7	66.8

J2

札幌	11.5	22.8	65.6
山形	7.0	23.4	69.6
水戸	7.6	28.1	64.2
栃木	7.2	36.2	56.6
群馬	5.1	25.3	69.6
千葉	9.5	35.4	55.2
東京V	8.3	35.3	56.4
横浜FC	13.2	33.3	53.5
湘南	13.8	30.5	55.8
松本	7.0	26.0	66.9
富山	5.6	26.5	67.9
磐田	10.7	29.5	59.8
岐阜	8.7	29.2	62.1
京都	8.0	24.7	67.3
岡山	7.6	23.2	69.3
讃岐	7.9	25.7	66.4
愛媛	10.0	22.3	67.6
福岡	14.8	25.1	60.1
北九州	8.6	21.4	69.9
長崎	8.5	18.6	72.9
熊本	4.8	23.4	71.9
大分	4.4	24.4	71.2



フットサル未経験者は、0.2% 増えて72.5% (2013シーズン:72.3%)

フットサル経験者の割合が多いクラブは、J1では浦和(19.0% + 21.8%)・G大阪(18.4% + 16.9%)、J2では千葉(15.1% + 21.5%)・横浜FC(14.5% + 21.8%)である。



フットサル経験

■ している ■ 過去にしていた ■ したことはない

集計対象: 全回答者 (n=16,610) 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=14,554)

(単位: %)

リーグ全体 11.9 15.7 72.5

J1

仙台	13.5	17.0	69.6
鹿島	10.1	19.7	70.1
浦和	19.0	21.8	59.1
大宮	11.2	15.1	73.6
柏	14.9	16.8	68.3
F東京	12.8	22.0	65.2
川崎F	15.0	18.6	66.4
横浜FM	15.2	20.8	64.0
甲府	9.5	14.4	76.1
新潟	5.2	9.2	85.5
清水	11.8	14.2	74.0
名古屋	18.2	14.7	67.0
G大阪	18.4	16.9	64.6
C大阪	13.8	15.1	71.1
神戸	13.5	19.3	67.2
広島	9.5	12.3	78.2
徳島	5.9	12.8	81.3
鳥栖	7.9	10.1	82.1

J2

札幌	12.8	12.5	74.7
山形	8.0	16.8	75.3
水戸	9.5	18.7	71.9
栃木	9.8	17.5	72.8
群馬	6.8	15.3	77.9
千葉	15.1	21.5	63.4
東京V	16.3	18.1	65.6
横浜FC	14.5	21.8	63.7
湘南	13.9	18.4	67.8
松本	7.9	16.6	75.5
富山	9.0	10.9	80.1
磐田	12.4	17.4	70.2
岐阜	9.5	14.5	76.0
京都	11.1	16.2	72.8
岡山	10.3	9.2	80.5
讃岐	11.1	12.2	76.7
愛媛	9.8	11.1	79.0
福岡	16.5	15.5	68.0
北九州	6.6	11.1	82.3
長崎	6.4	9.3	84.3
熊本	3.0	9.3	87.7
大分	5.9	11.1	83.0

Fan Motivation

スタジアム観戦の動機



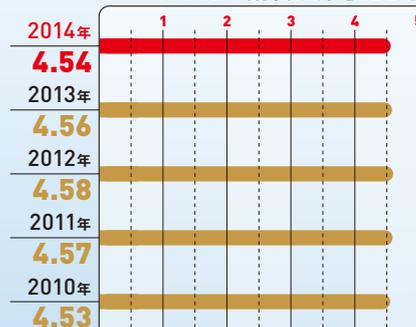
観戦の動機やきっかけ

集計対象：全回答者

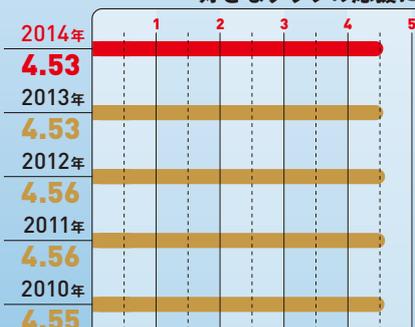
2014年 n=15,697
 2013年 n=15,697
 2012年 n=15,114
 2011年 n=15,002
 2010年 n=14,963

※平均値は、5段階評定尺度（あてはまる：5～あてはまらない：1）で求めたスコア

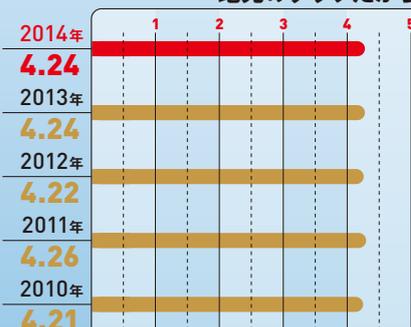
サッカー観戦が好きだから



好きなクラブの応援に



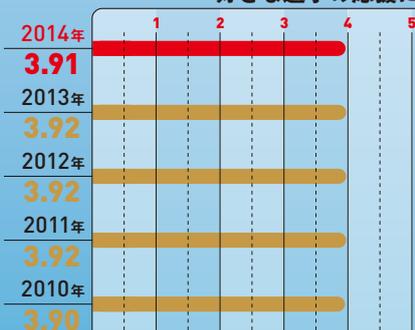
地元のクラブだから



レジャーとして



好きな選手の応援に



スケジュールの都合で



クラブが地域に貢献しているから



スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから



対戦相手が魅力的だったので



友人・家族に誘われたから



クラブの成績がいいので



周囲で話題になっているから

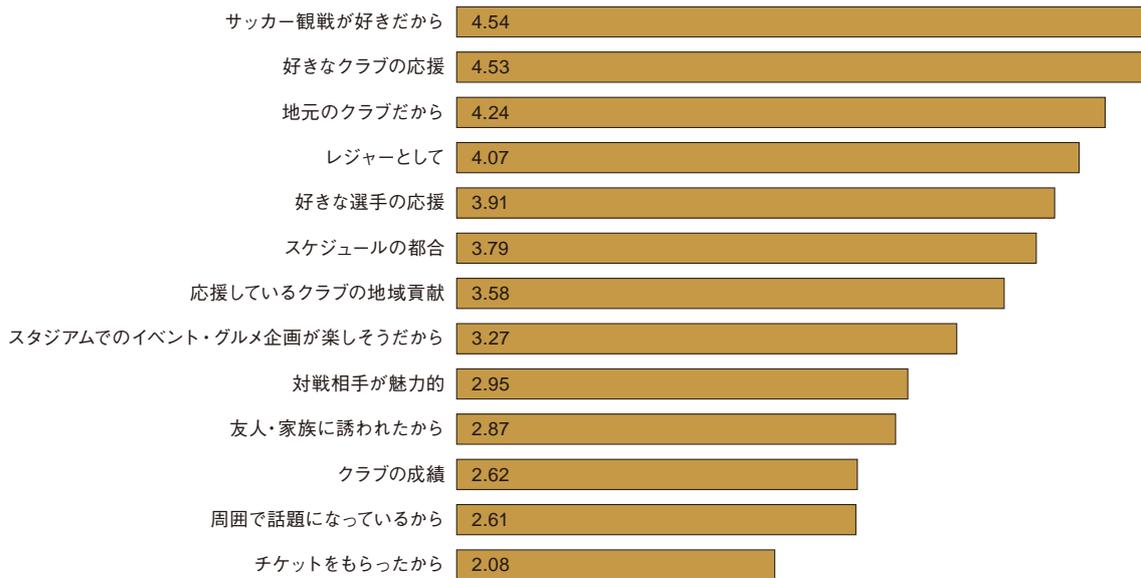


チケットをもらったから



観戦の動機やきっかけ

集計対象：全回答者 (n=15,697)



数値は、五段階評定尺度（あてはまる：5～あてはまらない：1）で求めたスコアの平均値

	サッカー観戦が好きだから	好きなクラブの応援	地元のクラブだから	レジャーとして	好きな選手の応援	スケジュールの都合
1	G大阪 52.1	浦和 54.3	岡山 53.2	川崎F 52.8	G大阪 53.3	長崎 52.0
2	広島 51.8	大分 52.4	熊本 53.2	松本 52.3	横浜FM 53.3	山形 51.8
3	磐田 51.6	川崎F 52.2	大分 53.1	広島 52.0	C大阪 52.6	広島 51.7
4	F東京 51.5	大宮 52.0	札幌 52.8	熊本 51.9	川崎F 52.5	讃岐 51.7
5	浦和 51.5	柏 52.0	松本 52.7	鳥栖 51.7	鳥栖 52.5	水戸 51.5
6	福岡 51.5	広島 52.0	新潟 52.6	岡山 51.6	鹿島 52.5	岐阜 51.5
7	横浜FM 51.4	G大阪 52.0	愛媛 52.6	山形 51.2	広島 52.4	北九州 51.5
8	鹿島 51.4	松本 51.9	山形 52.5	新潟 51.1	磐田 52.1	鳥栖 51.3
9	柏 51.2	湘南 51.9	長崎 52.5	湘南 50.9	F東京 51.5	松本 51.2
10	C大阪 51.0	磐田 51.8	岐阜 52.2	G大阪 50.8	札幌 51.5	名古屋 51.0
11	湘南 50.9	岡山 51.7	広島 52.2	横浜FM 50.8	浦和 51.4	清水 51.0
12	大分 50.9	鹿島 51.7	福岡 52.2	神戸 50.8	松本 51.3	仙台 50.9
13	清水 50.9	熊本 51.5	栃木 51.9	鹿島 50.8	福岡 51.0	栃木 50.9
14	新潟 50.9	F東京 51.4	湘南 51.9	水戸 50.7	仙台 50.6	徳島 50.9
15	千葉 50.8	清水 51.4	神戸 51.9	大分 50.7	岡山 50.5	富山 50.7
16	甲府 50.8	鳥栖 50.9	甲府 51.8	磐田 50.6	山形 50.4	岡山 50.6
17	岡山 50.8	横浜FM 50.9	讃岐 51.8	讃岐 50.6	柏 50.2	愛媛 50.5
18	川崎F 50.8	福岡 50.6	徳島 51.6	福岡 50.6	熊本 50.0	川崎F 50.4
19	熊本 50.7	新潟 50.5	群馬 51.4	C大阪 50.6	新潟 49.7	甲府 50.4
20	神戸 50.6	甲府 50.5	仙台 51.4	仙台 50.4	大分 49.7	湘南 50.3
21	札幌 50.6	札幌 50.3	北九州 51.2	徳島 50.4	湘南 49.7	新潟 50.3
22	鳥栖 50.2	C大阪 50.2	富山 51.2	大宮 50.4	清水 49.5	C大阪 49.8
23	栃木 50.2	千葉 50.0	鳥栖 50.9	柏 50.4	大宮 49.4	鹿島 49.8
24	大宮 50.2	仙台 49.9	水戸 50.1	長崎 50.1	長崎 49.4	京都 49.8
25	松本 50.1	栃木 49.7	大宮 49.8	F東京 50.1	横浜FC 49.3	熊本 49.7
26	仙台 49.6	神戸 49.5	清水 49.5	甲府 50.0	徳島 49.1	磐田 49.7
27	山形 49.6	山形 49.3	川崎F 49.0	北九州 50.0	神戸 49.0	柏 49.7
28	愛媛 49.2	徳島 49.0	千葉 49.0	札幌 49.9	栃木 48.9	千葉 49.4
29	京都 49.0	長崎 48.6	磐田 48.8	栃木 49.9	水戸 48.9	群馬 49.4
30	水戸 48.9	水戸 48.2	京都 48.7	清水 49.2	甲府 48.9	札幌 49.3
31	横浜FC 48.8	愛媛 47.9	名古屋 48.2	岐阜 49.1	京都 48.8	横浜FM 49.2
32	名古屋 48.8	群馬 47.8	柏 48.1	千葉 49.0	愛媛 48.6	福岡 49.2
33	東京V 48.7	富山 47.7	F東京 47.5	愛媛 48.5	千葉 48.4	神戸 49.1
34	徳島 48.5	京都 47.4	C大阪 47.0	京都 47.9	富山 48.3	大分 49.1
35	富山 48.1	東京V 47.3	浦和 46.5	名古屋 47.8	岐阜 48.2	横浜FC 48.5
36	群馬 48.1	讃岐 47.1	G大阪 46.4	横浜FC 47.7	北九州 47.8	F東京 47.8
37	長崎 48.0	北九州 47.0	横浜FM 45.4	群馬 46.9	群馬 47.7	G大阪 47.5
38	讃岐 46.9	岐阜 46.9	鹿島 44.7	東京V 46.8	名古屋 47.6	浦和 47.4
39	北九州 46.9	名古屋 46.5	横浜FC 42.8	富山 46.8	讃岐 47.2	大宮 47.3
40	岐阜 46.6	横浜FC 46.3	東京V 40.7	浦和 46.4	東京V 46.2	東京V 46.8

2014シーズンも項目の順位や数値に大きな変動なし。

観戦者の動機やきっかけとしては、観戦者全体では「サッカー観戦が好きだから」(4.54)、「好きなクラブの応援に」(4.53)、「地元のクラブだから」(4.24)が上位3項目であったが、「地元のクラブだから」は、各クラブによって数字のバラツキがみられた。



順位	応援しているクラブの地域貢献		スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから		対戦相手が魅力的		友人・家族に誘われたから		クラブの成績		周囲で話題になっているから		チケットをもらったから	
	クラブ名	スコア	クラブ名	スコア	対戦相手	スコア	理由	スコア	クラブ名	スコア	理由	スコア	クラブ名	スコア
1	松本	54.6	熊本	54.5	G大阪	57.4	松本	53.0	松本	58.7	松本	56.8	北九州	56.0
2	甲府	54.1	岡山	54.2	徳島	57.1	鳥栖	52.6	湘南	57.1	鳥栖	55.0	新潟	54.0
3	岡山	53.9	鹿島	54.1	山形	56.4	長崎	52.5	鳥栖	56.6	岐阜	54.1	愛媛	54.0
4	広島	53.8	水戸	53.6	讃岐	56.1	鹿島	52.1	川崎F	55.7	長崎	53.5	岐阜	53.5
5	大分	53.5	岐阜	53.6	長崎	55.5	岐阜	52.0	岡山	55.7	山形	53.1	神戸	52.4
6	川崎F	53.1	山形	53.3	磐田	55.2	山形	51.9	新潟	55.3	岡山	52.6	名古屋	52.3
7	仙台	53.0	川崎F	53.0	京都	53.8	愛媛	51.8	北九州	55.2	讃岐	52.6	水戸	52.2
8	熊本	53.0	松本	53.0	甲府	53.0	北九州	51.8	鹿島	54.5	新潟	52.1	山形	51.9
9	山形	52.6	長崎	52.0	福岡	52.7	讃岐	51.7	浦和	54.0	湘南	51.9	長崎	51.5
10	新潟	52.5	湘南	51.6	広島	52.6	広島	51.2	G大阪	53.6	仙台	51.7	仙台	51.2
11	長崎	52.4	大分	51.4	仙台	52.4	岡山	51.0	広島	53.1	甲府	51.7	栃木	51.2
12	湘南	52.2	愛媛	51.3	横浜FC	51.8	甲府	50.9	磐田	52.7	大分	51.3	川崎F	50.9
13	鳥栖	52.2	栃木	51.2	鹿島	51.0	水戸	50.8	岐阜	52.1	北九州	51.2	広島	50.7
14	岐阜	51.2	鳥栖	51.0	C大阪	50.9	清水	50.8	大分	52.1	G大阪	51.1	清水	50.3
15	北九州	51.1	富山	51.0	北九州	50.8	磐田	50.6	札幌	51.2	川崎F	51.0	讃岐	50.3
16	札幌	51.0	讃岐	50.8	清水	50.8	仙台	50.6	F東京	51.2	広島	50.8	鳥栖	50.2
17	徳島	50.8	G大阪	50.8	名古屋	49.9	C大阪	50.5	山形	51.1	鹿島	50.7	鹿島	49.9
18	愛媛	50.7	G大阪	50.3	熊本	49.9	徳島	50.4	神戸	50.7	徳島	50.6	福岡	49.8
19	大宮	50.4	大宮	49.9	岐阜	49.8	神戸	50.2	栃木	50.1	磐田	50.4	京都	49.8
20	水戸	50.4	福岡	49.9	松本	49.7	川崎F	50.2	愛媛	50.0	熊本	50.1	磐田	49.5
21	讃岐	50.2	北九州	49.9	水戸	49.5	新潟	50.1	柏	49.9	札幌	49.7	横浜FM	49.4
22	G大阪	50.1	新潟	49.6	大分	49.0	G大阪	50.1	長崎	49.8	水戸	49.7	富山	49.4
23	神戸	49.9	甲府	49.4	岡山	48.7	大分	50.0	仙台	49.5	栃木	49.5	松本	49.3
24	福岡	49.7	仙台	49.4	鳥栖	48.6	名古屋	49.9	横浜FM	48.6	愛媛	49.4	甲府	49.3
25	栃木	49.7	F東京	49.2	横浜FM	48.6	栃木	49.8	水戸	48.5	清水	49.1	G大阪	49.2
26	清水	49.3	千葉	49.2	大宮	48.5	京都	49.3	清水	48.0	浦和	49.1	千葉	49.0
27	磐田	49.0	清水	49.2	新潟	48.4	札幌	49.2	甲府	48.0	C大阪	49.0	大分	48.9
28	鹿島	49.0	徳島	49.1	愛媛	48.0	湘南	49.2	千葉	47.7	横浜FM	49.0	徳島	48.9
29	柏	48.5	神戸	48.3	札幌	47.9	熊本	49.1	C大阪	47.6	柏	48.8	東京V	48.7
30	富山	47.4	磐田	48.1	千葉	47.6	浦和	49.0	京都	47.3	大宮	48.4	岡山	48.6
31	F東京	47.3	柏	48.0	川崎F	47.5	福岡	48.9	福岡	47.2	神戸	48.3	群馬	48.5
32	京都	47.3	群馬	48.0	柏	47.1	横浜FM	48.8	熊本	47.1	京都	47.9	湘南	48.5
33	横浜FM	47.3	横浜FM	47.7	F東京	47.0	柏	48.5	讃岐	45.8	F東京	47.7	札幌	48.2
34	C大阪	46.8	C大阪	47.6	神戸	46.5	富山	48.3	名古屋	44.9	名古屋	47.6	柏	48.2
35	群馬	46.7	札幌	46.9	栃木	46.1	千葉	48.1	群馬	44.6	富山	47.2	C大阪	48.1
36	千葉	46.5	名古屋	46.9	湘南	45.8	群馬	47.7	徳島	44.1	千葉	46.5	大宮	48.0
37	浦和	46.2	横浜FC	46.3	富山	45.5	F東京	47.3	大宮	44.0	群馬	46.0	熊本	47.8
38	名古屋	45.5	京都	46.1	群馬	44.6	大宮	47.3	横浜FC	43.6	福岡	46.0	F東京	47.8
39	横浜FC	44.1	東京V	45.9	浦和	44.4	東京V	46.9	富山	42.3	横浜FC	45.8	横浜FC	47.0
40	東京V	44.0	浦和	45.5	東京V	42.9	横浜FC	46.7	東京V	41.4	東京V	43.5	浦和	46.0

数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したもの



観戦の動機やきっかけ(2013/2014比較・クラブ別)

	好きなクラブの応援に		好きな選手の応援に		サッカー観戦が好きだから		クラブが地域貢献しているから									
	2014	2013	2014	2013	2014	2013	2014	2013								
1	浦和	54.3	柏	52.8	G大阪	53.3	C大阪	53.4	G大阪	52.1	柏	52.4	松本	54.6	岡山	54.6
2	大分	52.4	浦和	52.2	横浜FM	53.3	横浜FM	53.2	広島	51.8	鹿島	52.0	甲府	54.1	松本	54.5
3	川崎F	52.2	横浜FM	52.0	C大阪	52.6	G大阪	52.9	磐田	51.6	福岡	52.0	岡山	53.9	仙台	54.2
4	大宮	52.0	福岡	51.9	川崎F	52.5	広島	52.9	F東京	51.5	F東京	51.9	広島	53.8	甲府	54.1
5	柏	52.0	F東京	51.9	鳥栖	52.5	磐田	52.5	浦和	51.5	C大阪	51.8	大分	53.5	広島	53.0
6	広島	52.0	湘南	51.7	鹿島	52.5	鳥栖	52.2	福岡	51.5	G大阪	51.8	川崎F	53.1	長崎	52.9
7	G大阪	52.0	鹿島	51.5	広島	52.4	柏	52.1	横浜FM	51.4	磐田	51.7	仙台	53.0	熊本	52.4
8	松本	51.9	G大阪	51.5	磐田	52.1	鹿島	51.9	鹿島	51.4	広島	51.4	熊本	53.0	札幌	52.3
9	湘南	51.9	横浜FC	51.5	F東京	51.5	川崎F	51.9	柏	51.2	神戸	51.4	山形	52.6	川崎F	52.1
10	磐田	51.8	広島	51.4	札幌	51.5	F東京	51.4	C大阪	51.0	横浜FM	51.2	新潟	52.5	新潟	52.1
11	岡山	51.7	C大阪	51.3	浦和	51.4	岡山	51.0	湘南	50.9	清水	51.1	長崎	52.4	大分	52.0
12	鹿島	51.7	磐田	51.3	松本	51.3	東京V	50.9	大分	50.9	仙台	51.1	湘南	52.2	湘南	52.0
13	熊本	51.5	仙台	50.9	福岡	51.0	千葉	50.8	清水	50.9	湘南	50.9	鳥栖	52.2	鳥栖	51.5
14	F東京	51.4	新潟	50.9	仙台	50.6	福岡	50.7	新潟	50.9	新潟	50.9	岐阜	51.2	栃木	51.0
15	清水	51.4	川崎F	50.9	岡山	50.5	仙台	50.6	千葉	50.8	名古屋	50.8	北九州	51.1	水戸	50.8
16	鳥栖	50.9	札幌	50.8	山形	50.4	横浜FC	50.3	甲府	50.8	甲府	50.6	札幌	51.0	神戸	50.8
17	横浜FM	50.9	清水	50.7	柏	50.2	湘南	50.3	岡山	50.8	川崎F	50.5	徳島	50.8	鳥取	50.1
18	福岡	50.6	岡山	50.5	熊本	50.0	大分	50.1	川崎F	50.8	千葉	50.4	愛媛	50.7	徳島	50.1
19	新潟	50.5	松本	50.5	新潟	49.7	名古屋	49.8	熊本	50.7	東京V	50.3	大宮	50.4	福岡	50.0
20	甲府	50.5	鳥栖	50.3	大分	49.7	神戸	49.8	神戸	50.6	熊本	50.2	水戸	50.4	岐阜	49.8
21	札幌	50.3	千葉	50.2	湘南	49.7	鳥取	49.6	札幌	50.6	横浜FC	50.2	讃岐	50.2	北九州	49.8
22	C大阪	50.2	熊本	50.0	清水	49.5	甲府	49.5	鳥栖	50.2	浦和	50.0	G大阪	50.1	富山	49.6
23	千葉	50.0	甲府	49.8	大宮	49.4	浦和	49.5	栃木	50.2	大分	50.0	神戸	49.9	山形	49.6
24	仙台	49.9	名古屋	49.8	長崎	49.4	水戸	49.3	大宮	50.2	札幌	49.9	福岡	49.7	C大阪	49.3
25	栃木	49.7	大宮	49.6	横浜FC	49.3	新潟	49.0	松本	50.1	鳥栖	49.5	栃木	49.7	F東京	49.2
26	神戸	49.5	神戸	49.5	徳島	49.1	熊本	49.0	仙台	49.6	岡山	49.5	清水	49.3	柏	49.1
27	山形	49.3	東京V	49.3	神戸	49.0	松本	48.9	山形	49.6	大宮	49.4	磐田	49.0	大宮	48.6
28	徳島	49.0	群馬	49.0	栃木	48.9	長崎	48.8	愛媛	49.2	松本	49.1	鹿島	49.0	愛媛	48.6
29	長崎	48.6	京都	48.8	水戸	48.9	山形	48.6	京都	49.0	群馬	48.9	柏	48.5	清水	48.4
30	水戸	48.2	山形	48.8	甲府	48.9	京都	48.6	水戸	48.9	山形	48.7	富山	47.4	G大阪	48.1
31	愛媛	47.9	大分	48.8	京都	48.8	大宮	48.6	横濱FC	48.8	栃木	48.7	F東京	47.3	京都	48.0
32	群馬	47.8	北九州	48.2	愛媛	48.6	札幌	48.5	名古屋	48.8	水戸	48.4	京都	47.3	千葉	47.9
33	富山	47.7	徳島	48.2	千葉	48.4	栃木	48.4	東京V	48.7	鳥取	48.1	横浜FM	47.3	鹿島	47.7
34	京都	47.4	長崎	48.0	富山	48.3	清水	48.3	徳島	48.5	愛媛	48.0	C大阪	46.8	群馬	47.3
35	東京V	47.3	水戸	47.6	岐阜	48.2	富山	48.0	富山	48.1	北九州	47.8	群馬	46.7	浦和	46.1
36	讃岐	47.1	愛媛	47.3	北九州	47.8	群馬	47.8	群馬	48.1	長崎	47.6	千葉	46.5	名古屋	46.1
37	北九州	47.0	栃木	47.2	群馬	47.7	愛媛	47.6	長崎	48.0	京都	47.6	浦和	46.2	横浜FM	46.1
38	岐阜	46.9	岐阜	46.8	名古屋	47.6	徳島	47.5	讃岐	46.9	岐阜	47.3	名古屋	45.5	磐田	46.0
39	名古屋	46.5	富山	46.7	讃岐	47.2	北九州	47.4	北九州	46.9	徳島	47.3	横浜FC	44.1	横浜FC	45.9
40	横浜FC	46.3	鳥取	46.2	東京V	46.2	岐阜	46.2	岐阜	46.6	富山	47.0	東京V	44.0	東京V	44.4



■ 周りで話題になっているから

	2014		2013	
1	松本	56.8	松本	56.0
2	鳥栖	55.0	鳥栖	55.6
3	岐阜	54.1	長崎	54.5
4	長崎	53.5	岡山	53.6
5	山形	53.1	広島	53.5
6	岡山	52.6	鳥取	52.8
7	讃岐	52.6	甲府	52.7
8	新潟	52.1	仙台	52.5
9	湘南	51.9	大分	51.4
10	仙台	51.7	栃木	51.2
11	甲府	51.7	熊本	50.8
12	大分	51.3	新潟	50.8
13	北九州	51.2	徳島	50.6
14	G大阪	51.1	川崎F	50.4
15	川崎F	51.0	山形	50.3
16	広島	50.8	水戸	50.1
17	鹿島	50.7	C大阪	50.0
18	徳島	50.6	G大阪	49.8
19	磐田	50.4	名古屋	49.8
20	熊本	50.1	柏	49.7
21	札幌	49.7	磐田	49.5
22	水戸	49.7	清水	49.0
23	栃木	49.5	京都	48.9
24	愛媛	49.4	神戸	48.8
25	清水	49.1	鹿島	48.7
26	浦和	49.1	富山	48.6
27	C大阪	49.0	横浜FM	48.6
28	横浜FM	49.0	岐阜	48.5
29	柏	48.8	湘南	48.5
30	大宮	48.4	北九州	48.5
31	神戸	48.3	愛媛	48.4
32	京都	47.9	F東京	48.3
33	F東京	47.7	東京V	48.2
34	名古屋	47.6	千葉	48.1
35	富山	47.2	札幌	48.1
36	千葉	46.5	浦和	48.0
37	群馬	46.0	大宮	47.4
38	福岡	46.0	群馬	47.0
39	横浜FC	45.8	福岡	46.0
40	東京V	43.5	横浜FC	44.8

■ レジャーとして

	2014		2013	
1	川崎F	52.8	松本	51.8
2	松本	52.3	岡山	51.8
3	広島	52.0	広島	51.7
4	熊本	51.9	神戸	51.7
5	鳥栖	51.7	C大阪	51.7
6	岡山	51.6	熊本	51.6
7	山形	51.2	仙台	51.6
8	新潟	51.1	新潟	51.4
9	湘南	50.9	F東京	51.4
10	G大阪	50.8	長崎	51.3
11	横浜FM	50.8	川崎F	50.9
12	神戸	50.8	鳥栖	50.7
13	鹿島	50.8	鹿島	50.7
14	水戸	50.7	湘南	50.6
15	大分	50.7	福岡	50.6
16	磐田	50.6	水戸	50.5
17	讃岐	50.6	柏	50.5
18	福岡	50.6	栃木	50.5
19	C大阪	50.6	甲府	50.4
20	仙台	50.4	北九州	50.3
21	徳島	50.4	G大阪	49.9
22	大宮	50.4	徳島	49.8
23	柏	50.4	大宮	49.8
24	長崎	50.1	千葉	49.7
25	F東京	50.1	大分	49.7
26	甲府	50.0	札幌	49.7
27	北九州	50.0	横浜FM	49.6
28	札幌	49.9	名古屋	49.4
29	栃木	49.9	岐阜	49.2
30	清水	49.2	清水	49.0
31	岐阜	49.1	京都	48.9
32	千葉	49.0	東京V	48.6
33	愛媛	48.5	山形	48.6
34	京都	47.9	富山	48.5
35	名古屋	47.8	鳥取	48.5
36	横浜FC	47.7	愛媛	48.4
37	群馬	46.9	横浜FC	48.1
38	東京V	46.8	磐田	47.8
39	富山	46.8	群馬	46.4
40	浦和	46.4	浦和	46.0

■ 友人・家族に誘われたから

	2014		2013	
1	松本	53.0	長崎	53.3
2	鳥栖	52.6	鳥栖	52.7
3	長崎	52.5	広島	52.6
4	鹿島	52.1	松本	51.6
5	岐阜	52.0	仙台	51.5
6	山形	51.9	鳥取	51.5
7	愛媛	51.8	岡山	51.3
8	北九州	51.8	川崎F	51.3
9	讃岐	51.7	名古屋	51.2
10	広島	51.2	徳島	51.2
11	岡山	51.0	神戸	51.1
12	甲府	50.9	愛媛	51.1
13	水戸	50.8	甲府	50.8
14	清水	50.8	水戸	50.8
15	磐田	50.6	栃木	50.7
16	仙台	50.6	京都	50.7
17	C大阪	50.5	清水	50.5
18	徳島	50.4	大分	50.5
19	神戸	50.2	山形	50.5
20	川崎F	50.2	C大阪	50.5
21	新潟	50.1	G大阪	50.3
22	G大阪	50.1	鹿島	50.2
23	大分	50.0	北九州	50.2
24	名古屋	49.9	岐阜	50.2
25	栃木	49.8	富山	49.7
26	京都	49.3	磐田	49.7
27	札幌	49.2	新潟	49.5
28	湘南	49.2	札幌	49.2
29	熊本	49.1	熊本	49.0
30	浦和	49.0	柏	49.0
31	福岡	48.9	横浜FM	48.9
32	横浜FM	48.8	福岡	48.5
33	柏	48.5	千葉	48.4
34	富山	48.3	大宮	48.1
35	千葉	48.1	F東京	47.9
36	群馬	47.7	浦和	47.9
37	F東京	47.3	群馬	47.0
38	大宮	47.3	東京V	46.9
39	東京V	46.9	湘南	46.9
40	横浜FC	46.7	横浜FC	46.6

■ チケットをもらったから

	2014		2013	
1	北九州	56.0	北九州	54.3
2	新潟	54.0	岐阜	54.1
3	愛媛	54.0	川崎F	53.4
4	岐阜	53.5	水戸	52.6
5	神戸	52.4	新潟	52.1
6	名古屋	52.3	清水	51.9
7	水戸	52.2	愛媛	51.8
8	山形	51.9	神戸	51.8
9	長崎	51.5	大分	51.7
10	仙台	51.2	栃木	51.5
11	栃木	51.2	富山	51.2
12	川崎F	50.9	徳島	51.1
13	広島	50.7	京都	51.0
14	清水	50.3	鳥取	51.0
15	讃岐	50.3	広島	50.6
16	鳥栖	50.2	松本	50.6
17	鹿島	49.9	熊本	50.5
18	福岡	49.8	長崎	50.4
19	京都	49.8	鳥栖	50.2
20	磐田	49.5	名古屋	50.1
21	横浜FM	49.4	甲府	50.0
22	富山	49.4	鹿島	49.5
23	松本	49.3	千葉	49.2
24	甲府	49.3	札幌	49.1
25	G大阪	49.2	山形	49.0
26	千葉	49.0	仙台	49.0
27	大分	48.9	G大阪	49.0
28	徳島	48.9	C大阪	48.9
29	東京V	48.7	福岡	48.8
30	岡山	48.6	大宮	48.7
31	群馬	48.5	F東京	48.6
32	湘南	48.5	横浜FM	48.6
33	札幌	48.2	磐田	48.5
34	柏	48.2	横浜FC	48.1
35	C大阪	48.1	東京V	48.1
36	大宮	48.0	湘南	48.0
37	熊本	47.8	岡山	48.0
38	F東京	47.8	群馬	48.0
39	横浜FC	47.0	柏	47.2
40	浦和	46.0	浦和	46.0

数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアを偏差値換算したもの

浦和(4.51)・大分(4.49)・G大阪(4.44)が特に高い傾向。

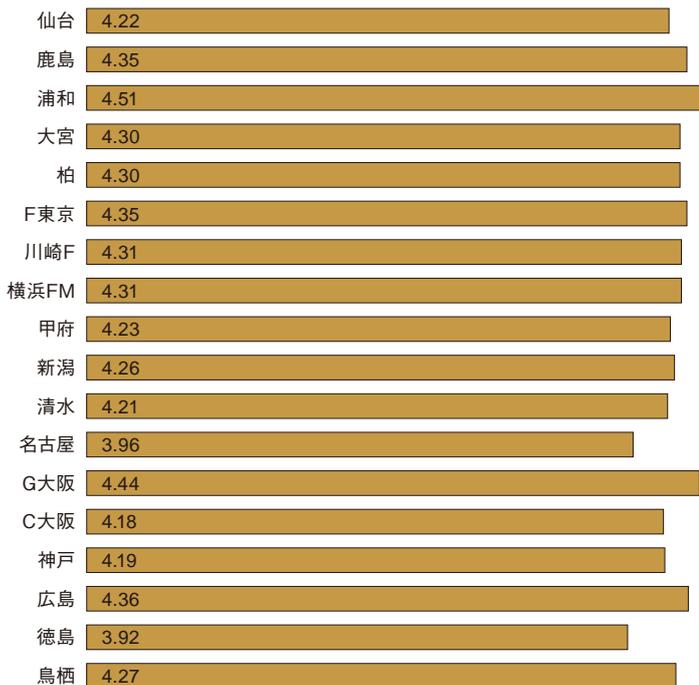
観戦者のチームアイデンティフィケーションはとて強く、リーグ全体の平均で4.20(5点満点)と高い結果となった。J1では浦和(4.51)・G大阪(4.44)に特に高い傾向が、名古屋(3.96)・徳島(3.92)に低い傾向がみられた。J2では大分(4.49)に特に高い傾向が、富山(3.77)・岐阜(3.91)・京都(3.95)・讃岐(3.84)・長崎(3.98)に低い傾向がみられた。

チームアイデンティフィケーション

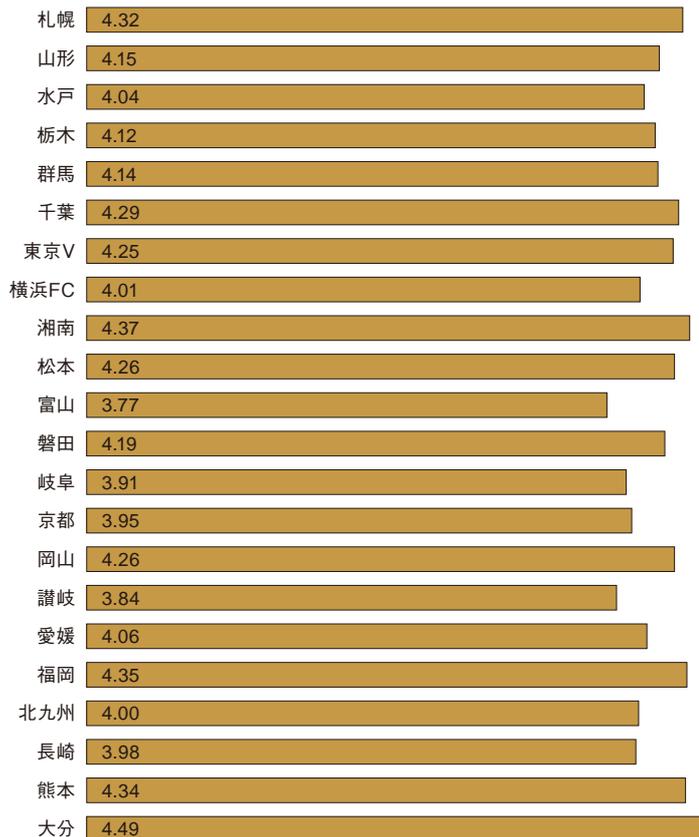
集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,278)

リーグ全体 4.20

J1



J2



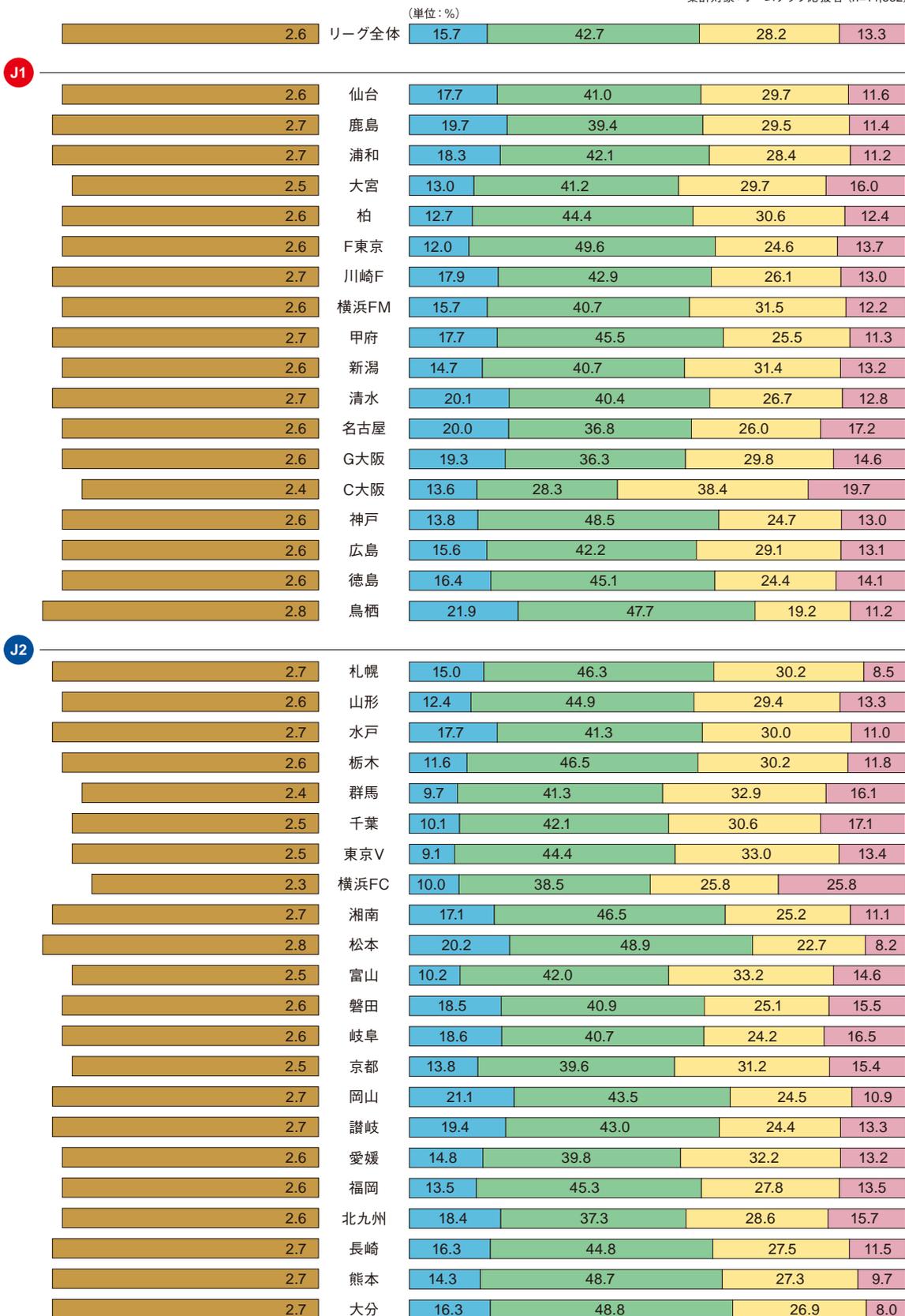
58.4%(よく誘う+時々誘う)の人がJリーグ観戦に誘っている。

周囲の人をJリーグ観戦に誘うか、という「勧誘行動」については、「よく誘う」(15.7%)と「時々誘う」(42.7%)を合わせ、58.4%の観戦者が勧誘行動をしていた。特に鳥栖、松本(いずれも2.8)の観戦者に、勧誘行動が活発である傾向がみられた。

スタジアム観戦についての勧誘行動

■ よく誘う ■ 時々誘う ■ あまり誘わない ■ まったく誘わない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,532)



*平均値は、四段階評定尺度(よく誘う：4～まったく誘わない：1)で求めたスコアである

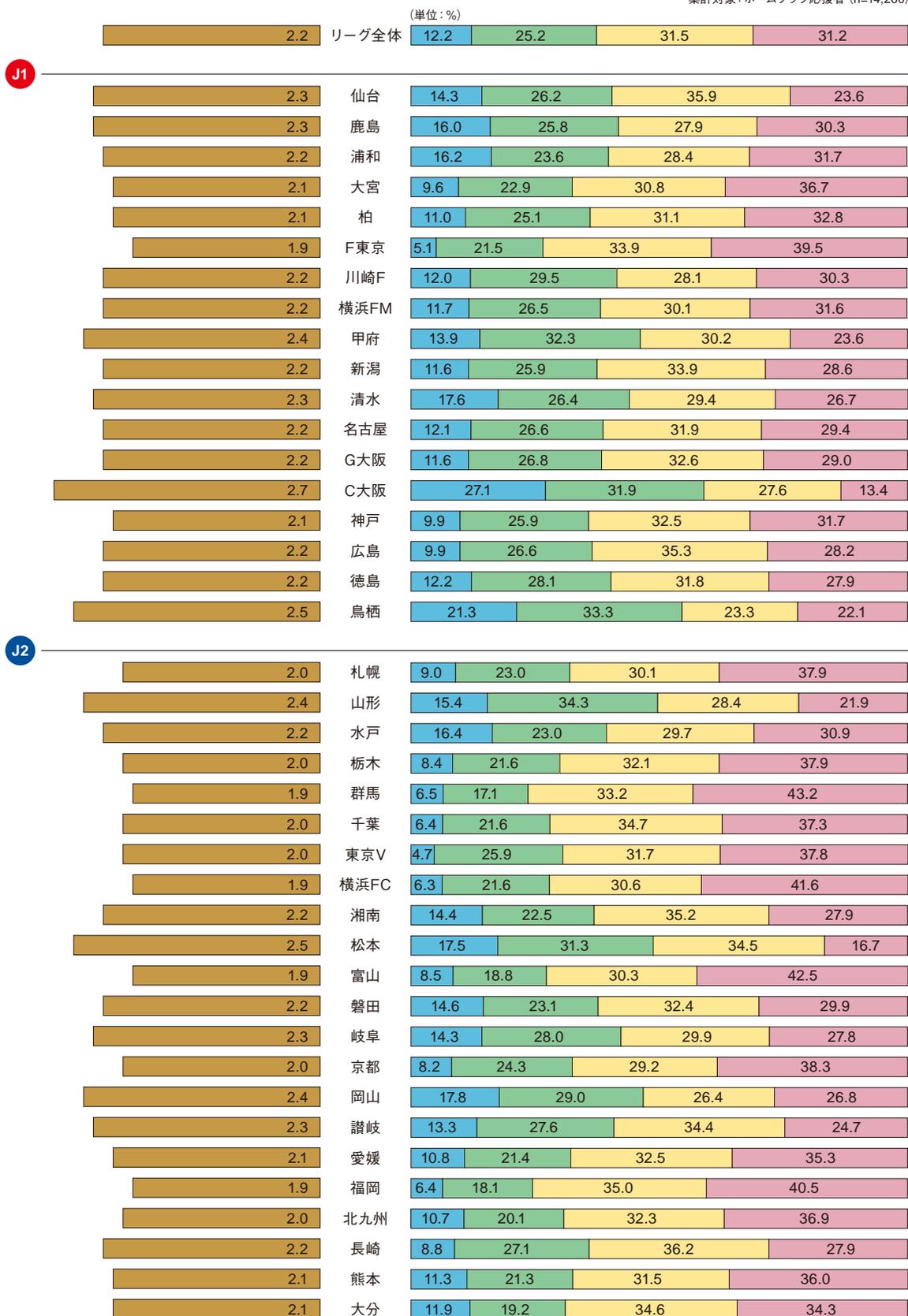
37.4% (よく誘われる+時々誘われる)の人が Jリーグ観戦に誘われている。

周囲の人からJリーグ観戦に誘われますか、という「被勧誘行動」については、「よく誘われる」(12.2%)と「時々誘われる」(25.2%)を合わせ、37.4%の観戦者が周囲の人から勧誘されていた。なかでは、C大阪(2.7)、鳥栖、松本(いずれも2.5)で、勧誘されるとするスコアが高くなっていった。一方、F東京、群馬、横浜FC、富山、福岡(いずれも1.9)では、そのスコアが低くなっていった。

スタジアム観戦についての被勧誘行動

よく誘われる 時々誘われる あまり誘われない まったく誘われない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,260)

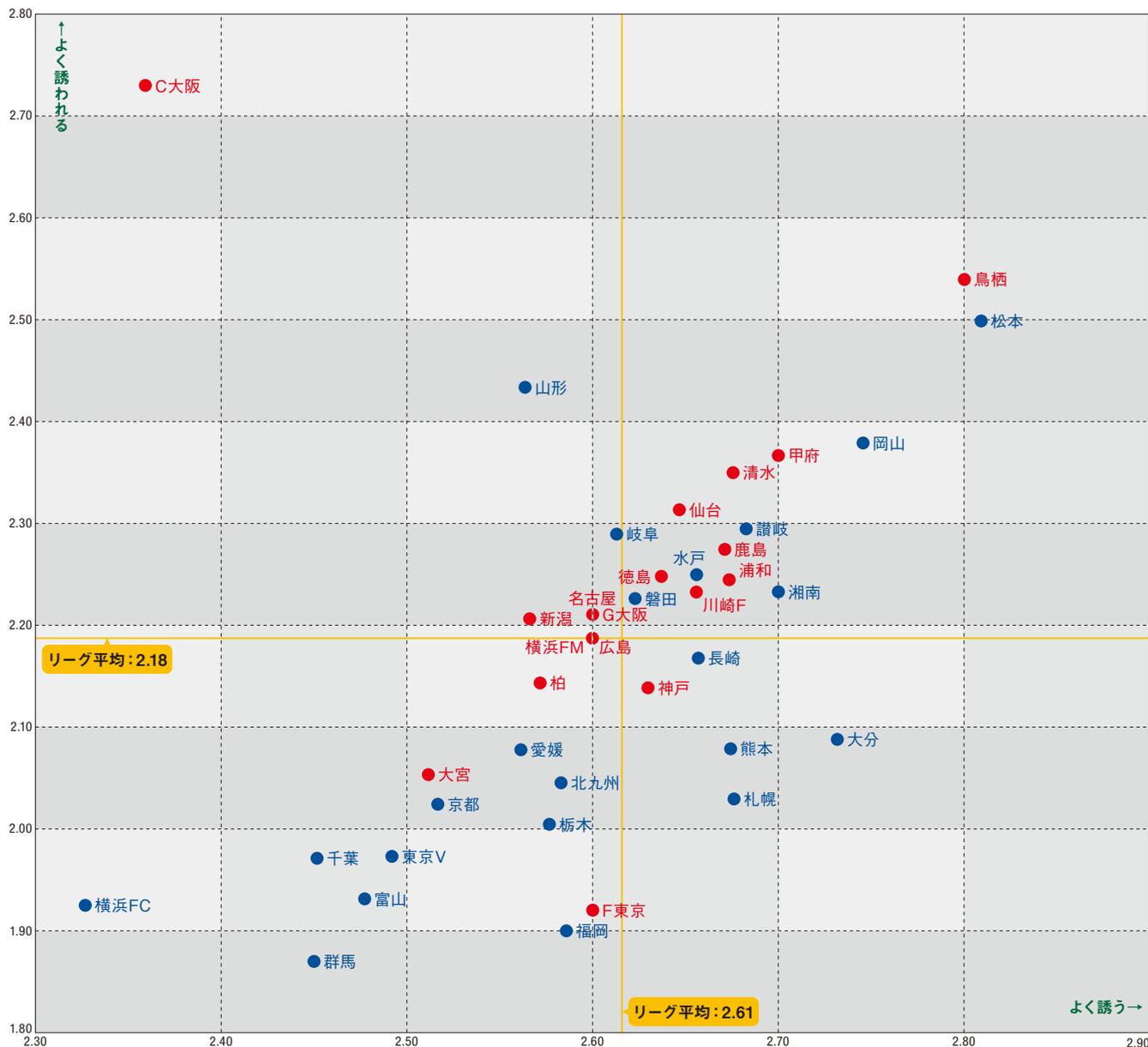


*平均値は、四段階評定尺度 (よく誘われる：4～まったく誘われない：1) で求めたスコアである

よく誘い合うのは鳥栖、松本。

勧誘行動 (P33) と被勧誘行動 (P34) の関係から、各クラブをプロットした結果、鳥栖、松本の観戦者が観戦によく誘い合っていることがみてとれる。

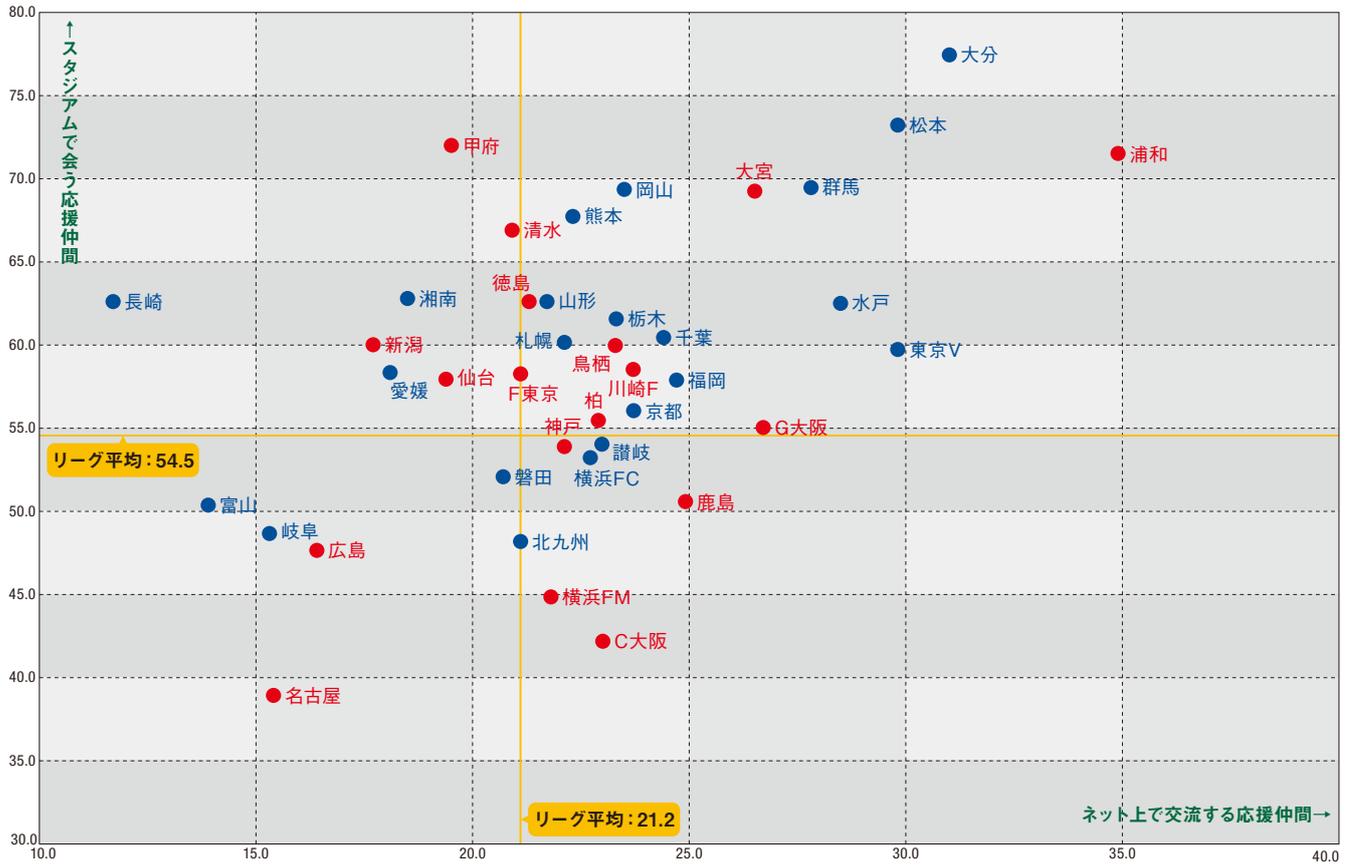
スタジアム観戦についての勧誘行動・被勧誘行動プロット



54.5%に「スタジアムで会う応援仲間」がいる。 21.2%に「ネット上で交流する応援仲間」がいる。

「スタジアムで会う応援仲間」がいるとする割合は、リーグ平均で54.5%だった。大分(77.0%)・松本(72.8%)・甲府(72.1%)・浦和(71.6%)でその割合に高い傾向がみられた。また、ソーシャルメディアなどの「ネット上で交流する応援仲間」がいるとする割合はリーグ平均で21.2%だった。浦和(34.9%)・大分(31.0%)でその割合に高い傾向がみられた。

ファンコミュニティ



Fan Behavior

観戦行動の特徴



J1・J2観戦頻度

※各調査年における前シーズンの観戦実績についての設問

J1の増加傾向、J2の低下傾向。

低下傾向が続いていたJ1の観戦頻度が増加し、増加傾向が続いていたJ2の観戦頻度が低下した。
J2の試合数の変化は以下の通り。

J2 試合数	2013:42 試合	2012:42 試合	2011:38 試合	2010:36 試合	2009:51 試合
--------	------------	------------	------------	------------	------------



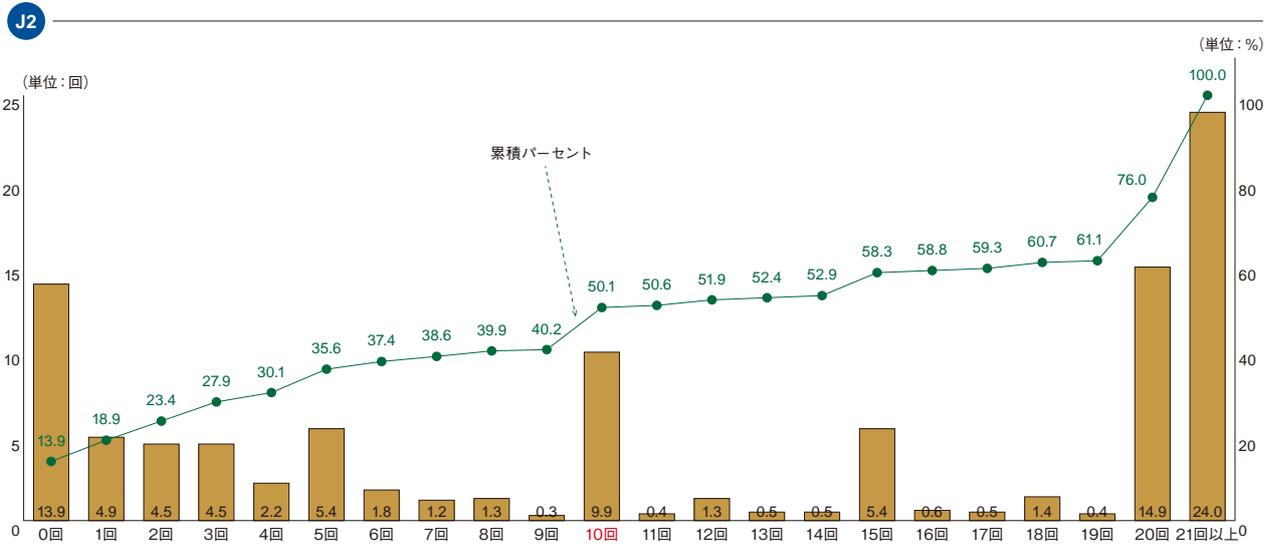
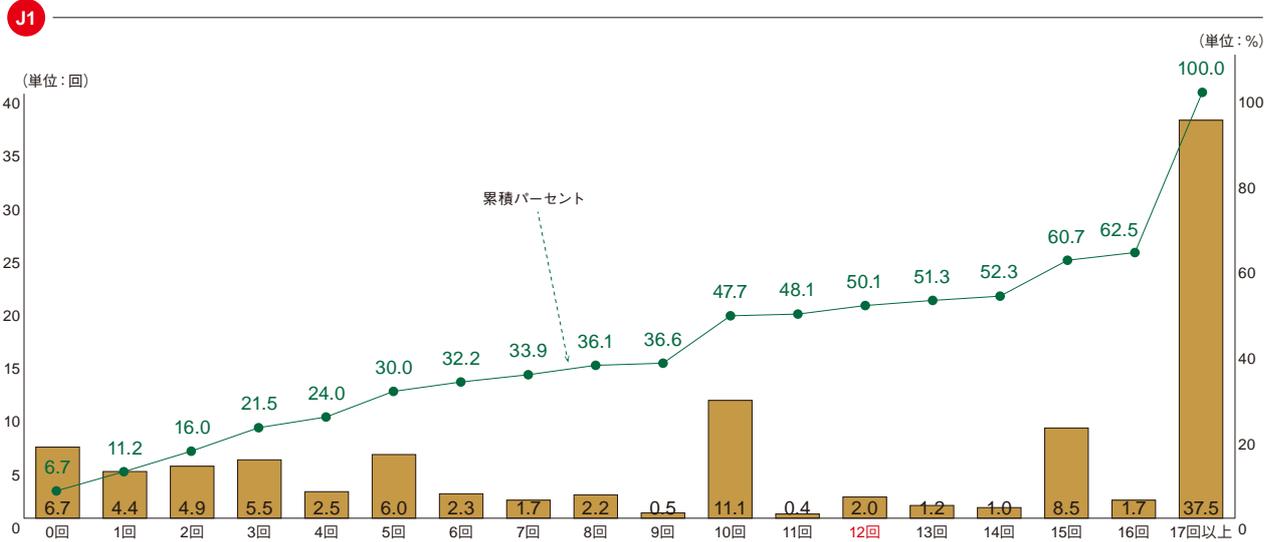
集計対象：J1全回答者 [2013 n=7,207 2012 n=7,329 2011 n=6,965 2010 n=7,768 2009 n=7,785]
集計対象：J2全回答者 [2013 n=8,480 2012 n=8,407 2011 n=7,417 2010 n=7,417 2009 n=6,981]

J1は「12回」、J2は「10回」がスタジアム観戦の中央値。

J1の観戦者の37.5%が「17回以上/シーズン」、J2の観戦者の24.0%が「21回以上/シーズン」スタジアム観戦すると回答。
J1は「12回」、J2は「10回」がスタジアム観戦の中央値となった。

観戦頻度 (2013シーズン実績) ※2013シーズン観戦実績についての設問

集計対象：J1全回答者 (n=7,207) 集計対象：J2全回答者 (n=8,480)



観戦頻度 (2012/2013比較)

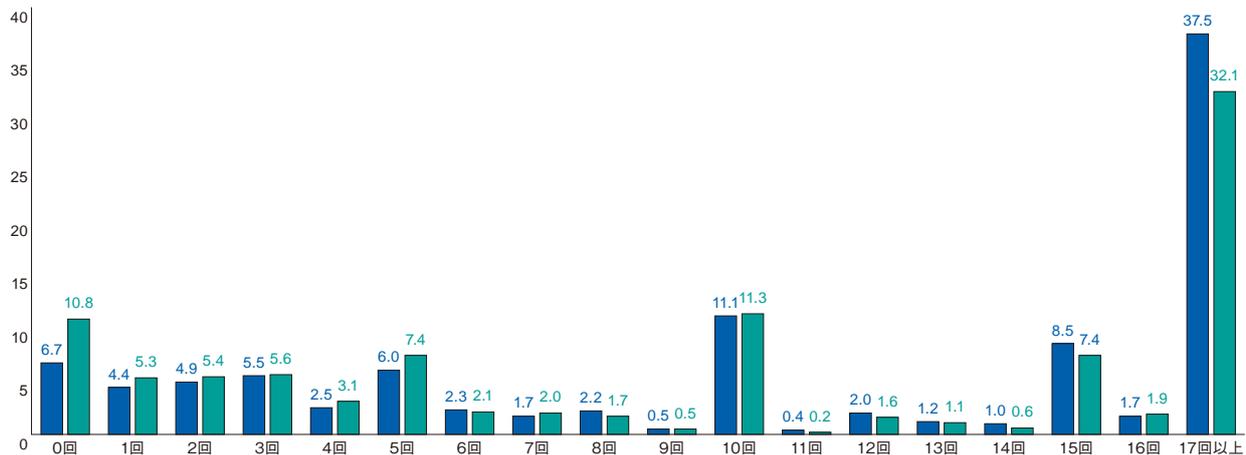
※2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績と、
2013シーズン調査対象による2012シーズンの観戦実績を比較

■ 2013年実績 ■ 2012年実績

集計対象: J1全回答者 (2013 n=7,207 / 2012 n=7,329) 集計対象: J2全回答者 (2013 n=8,480 / 2012 n=8,407)

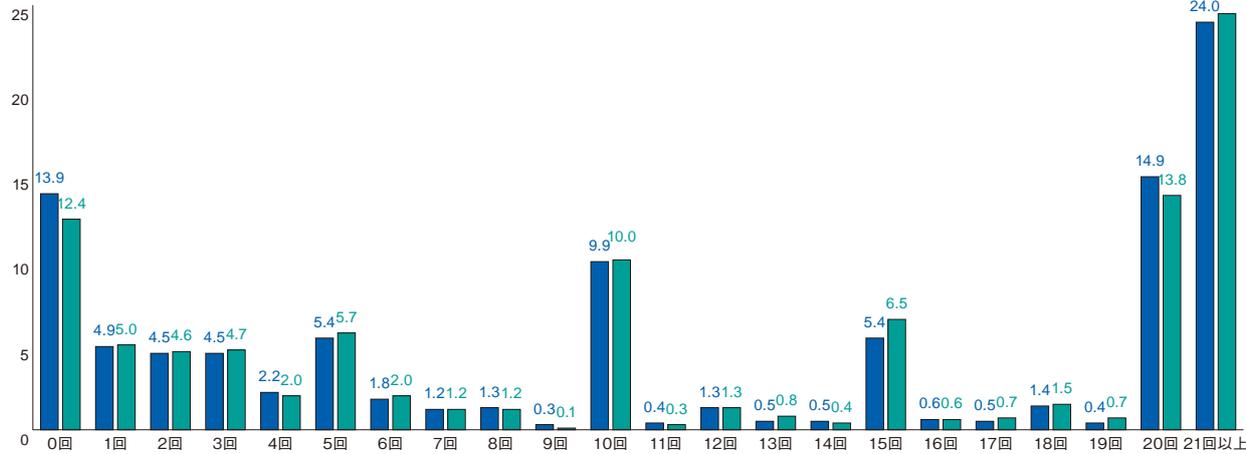
J1

(単位: %)



J2

(単位: %)



J1平均は「12.2回/年」、J2平均は「12.4回/年」。

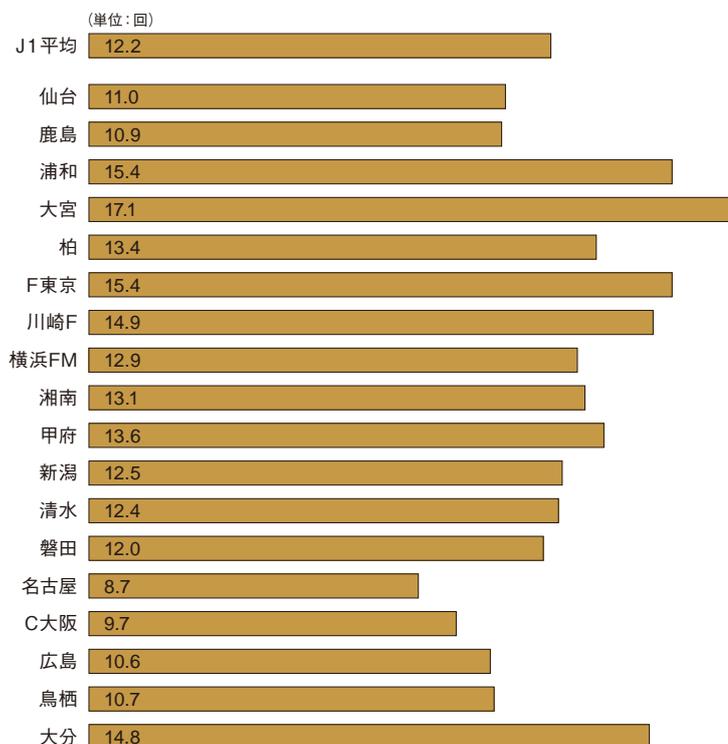
年間の平均観戦頻度については、J1リーグの観戦者が12.2回、J2リーグの観戦者が12.4回となっていた。J1では、大宮(17.1%)、浦和・F東京(15.4回)などの平均観戦頻度が、J2では、千葉(17.3回)、岡山(16.8回)などの平均観戦頻度が高い傾向がみられた。

平均観戦頻度 (2013シーズン実績※・クラブ別)

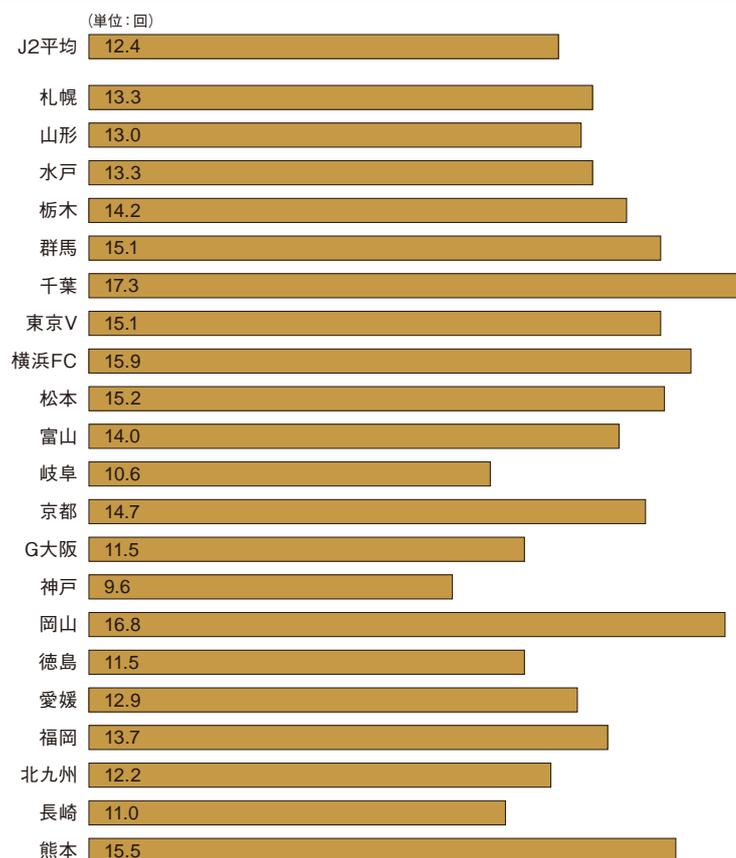
※2013シーズン観戦実績についての設問

集計対象：J1全回答者 (n=7,207) 集計対象：J1ホームクラブ応援者 (n=6,610)
集計対象：J2全回答者 (n=8,480) 集計対象：J2ホームクラブ応援者 (n=7,428)

J1



J2



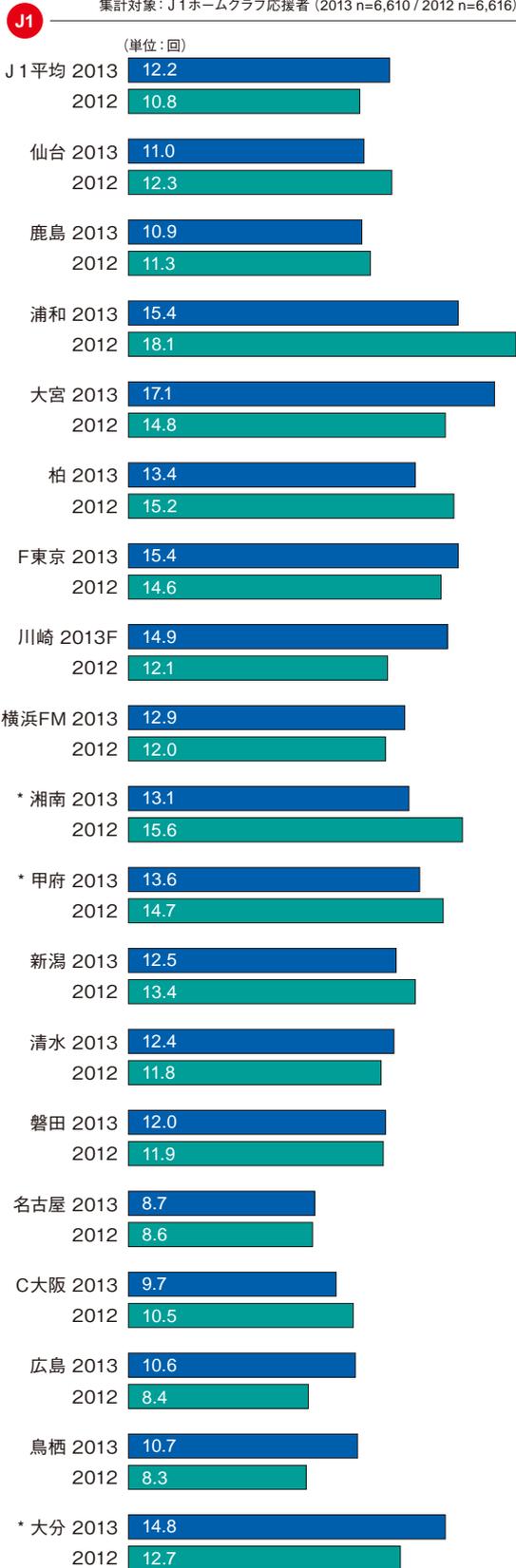


平均観戦頻度 (2012/2013比較)

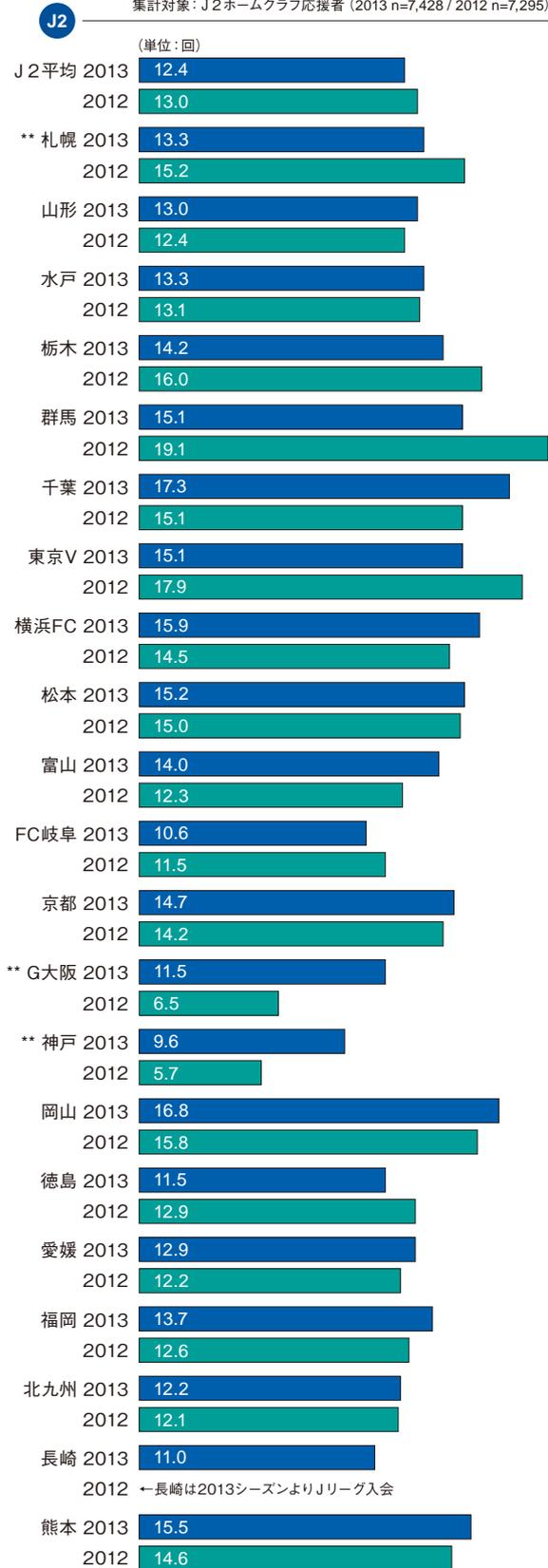
※2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績と、
2013シーズン調査対象による2012シーズンの観戦実績を比較

■ 2013実績 ■ 2012実績

集計対象：J1全回答者 (2013 n=7,207 / 2012 n=7,329)
集計対象：J1ホームクラブ応援者 (2013 n=6,610 / 2012 n=6,616)



集計対象：J2全回答者 (2013 n=8,480 / 2012 n=8,047)
集計対象：J2ホームクラブ応援者 (2013 n=7,428 / 2012 n=7,295)

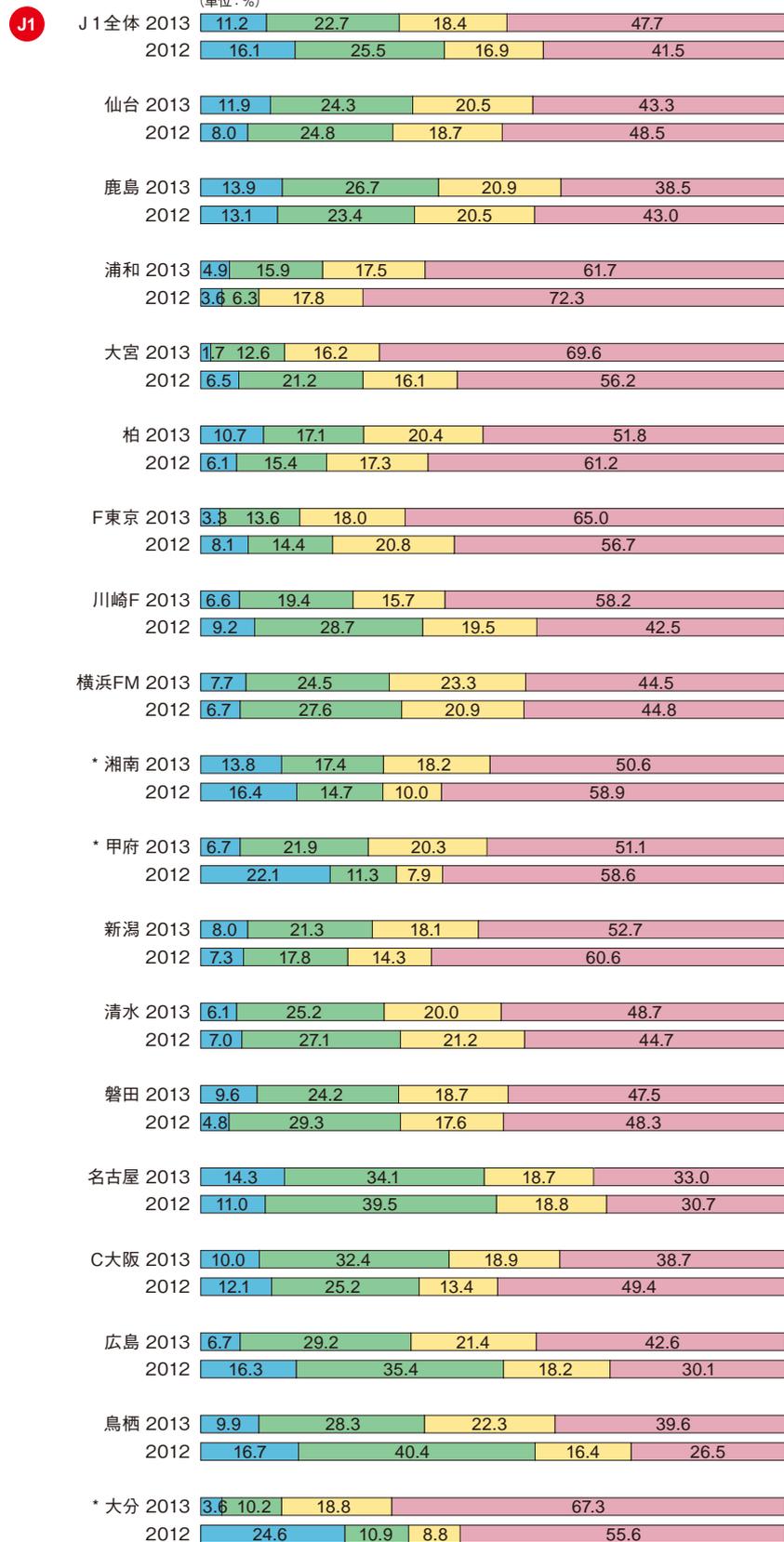


*湘南、甲府、大分は2012シーズンJ2に所属 **札幌、G大阪、神戸は2012シーズンJ1に所属

J1 観戦頻度分布 (2012/2013比較)

※2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績と、
2013シーズン調査対象による2012シーズンの観戦実績を比較

集計対象：J1 全回答者 (2013 n=7,207 / 2012 n=7,329) 集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (2013 n=6,610 / 2012 n=6,616)
(単位：%)



*湘南、甲府、大分は2012シーズンJ2に所属



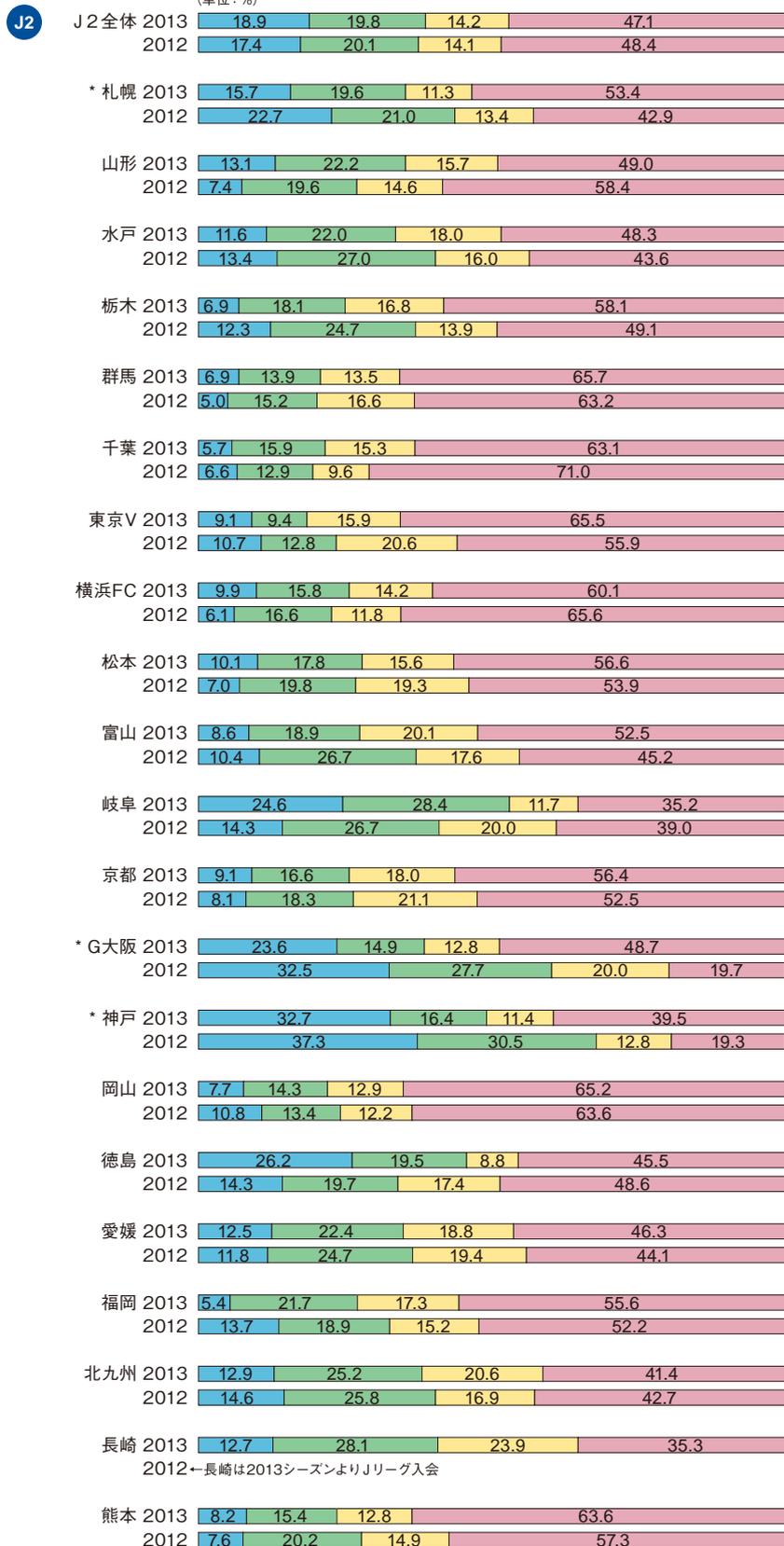


J2 観戦頻度分布 (2012/2013比較)

※2014シーズン調査対象による2013シーズンの観戦実績と、
2013シーズン調査対象による2012シーズンの観戦実績を比較

0-1回 2-7回
8-14回 15回以上

集計対象：J2全回答者 (2013 n=8,480 / 2012 n=8,047) 集計対象：J2ホームクラブ応援者 (2013 n=7,428 / 2012 n=7,295)
(単位：%)



*札幌、G大阪、神戸は2012シーズンJ1に所属

シーズンチケット所有者は観戦頻度が高い。

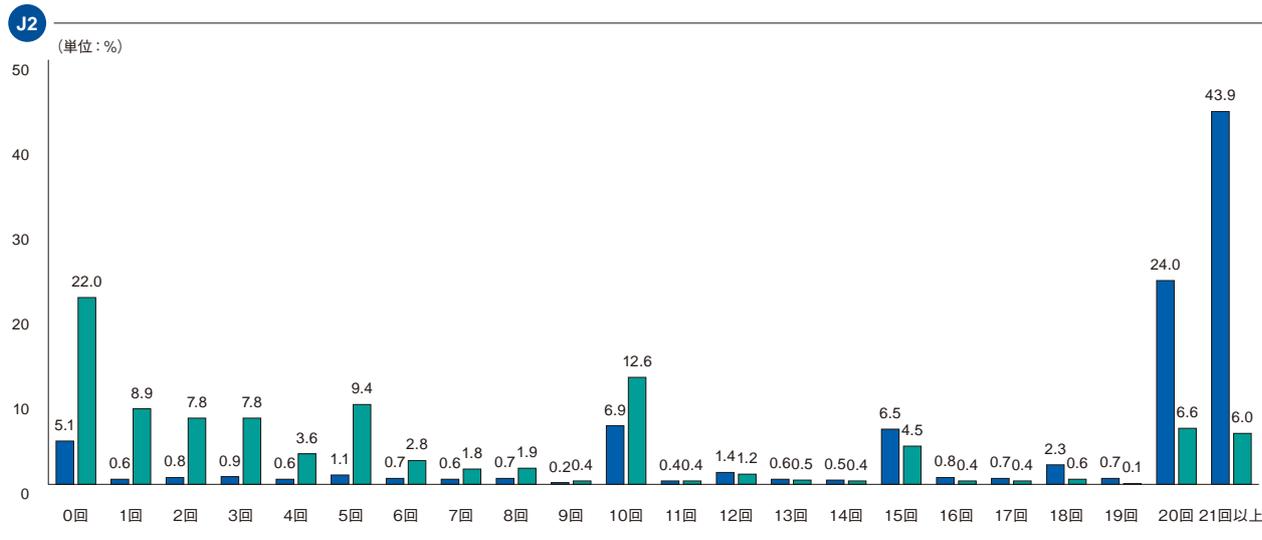
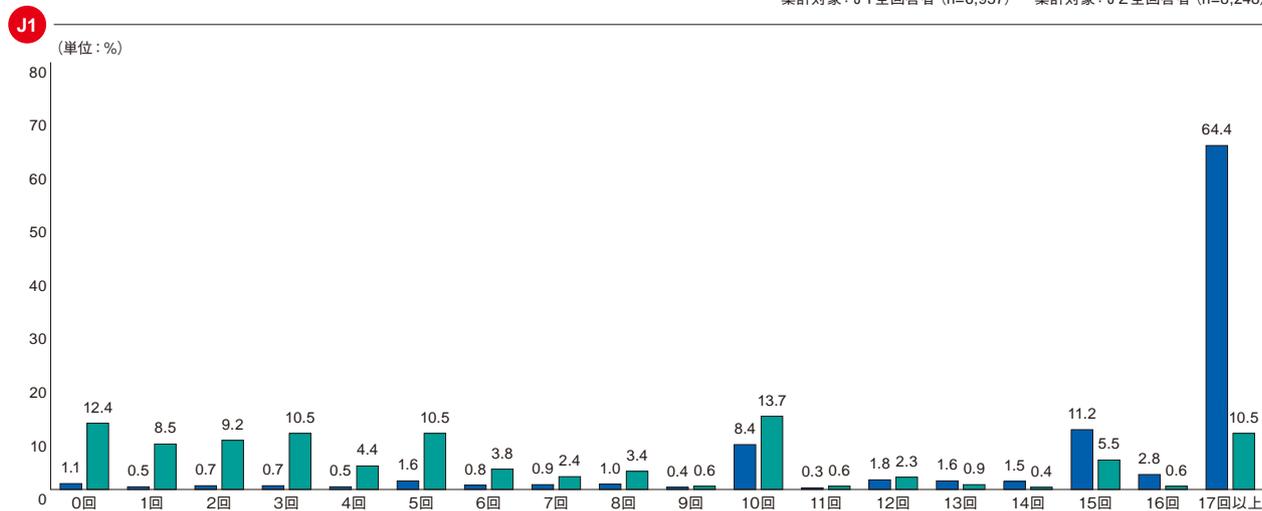
シーズンチケット所有者とシーズンチケットをもたない観戦者を比べると、J1ではホームゲーム全試合と想定される「17回以上」とする割合(64.4%/10.5%)が、またJ2では同様に「21回以上」とする割合(43.9%/6.0%)が顕著に高くなっている。

観戦頻度 (チケット種別)

※2013シーズン観戦実績についての設問

■ シーズンチケット ■ シーズンチケット以外

集計対象: J1全回答者 (n=6,937) 集計対象: J2全回答者 (n=8,248)

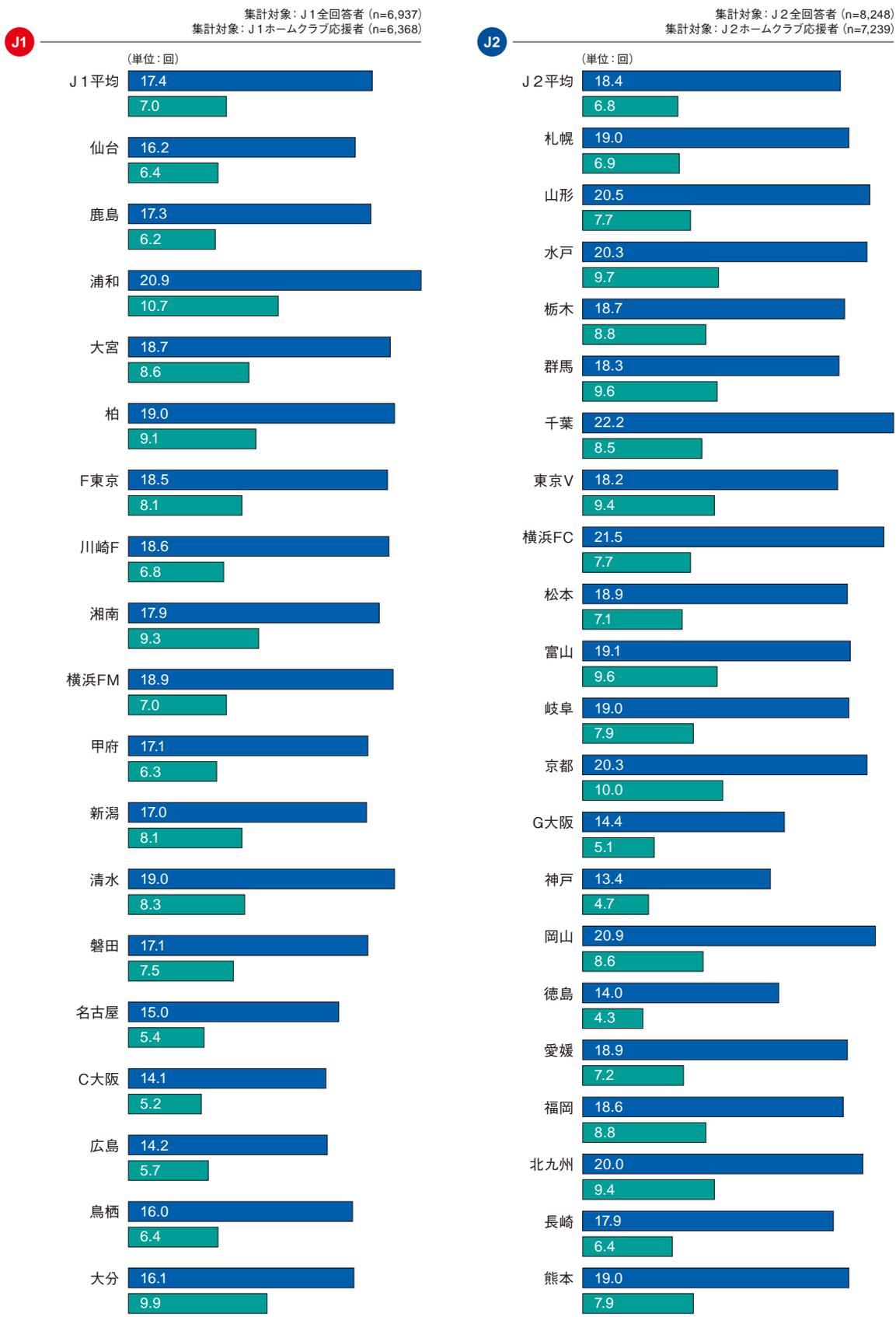


シーズンチケット所有者の平均観戦回数は、 J1が「17.4回」、J2が「18.4回」。

シーズンチケット所有者とそれ以外の観戦者として比較すると、シーズンチケット保持者の平均観戦回数がかかなり高くなっていた (J1:17.4回 vs 7.0回, J2:18.4回 vs 6.8回)。

平均観戦頻度 (チケット種別) ※2013シーズン観戦実績についての設問

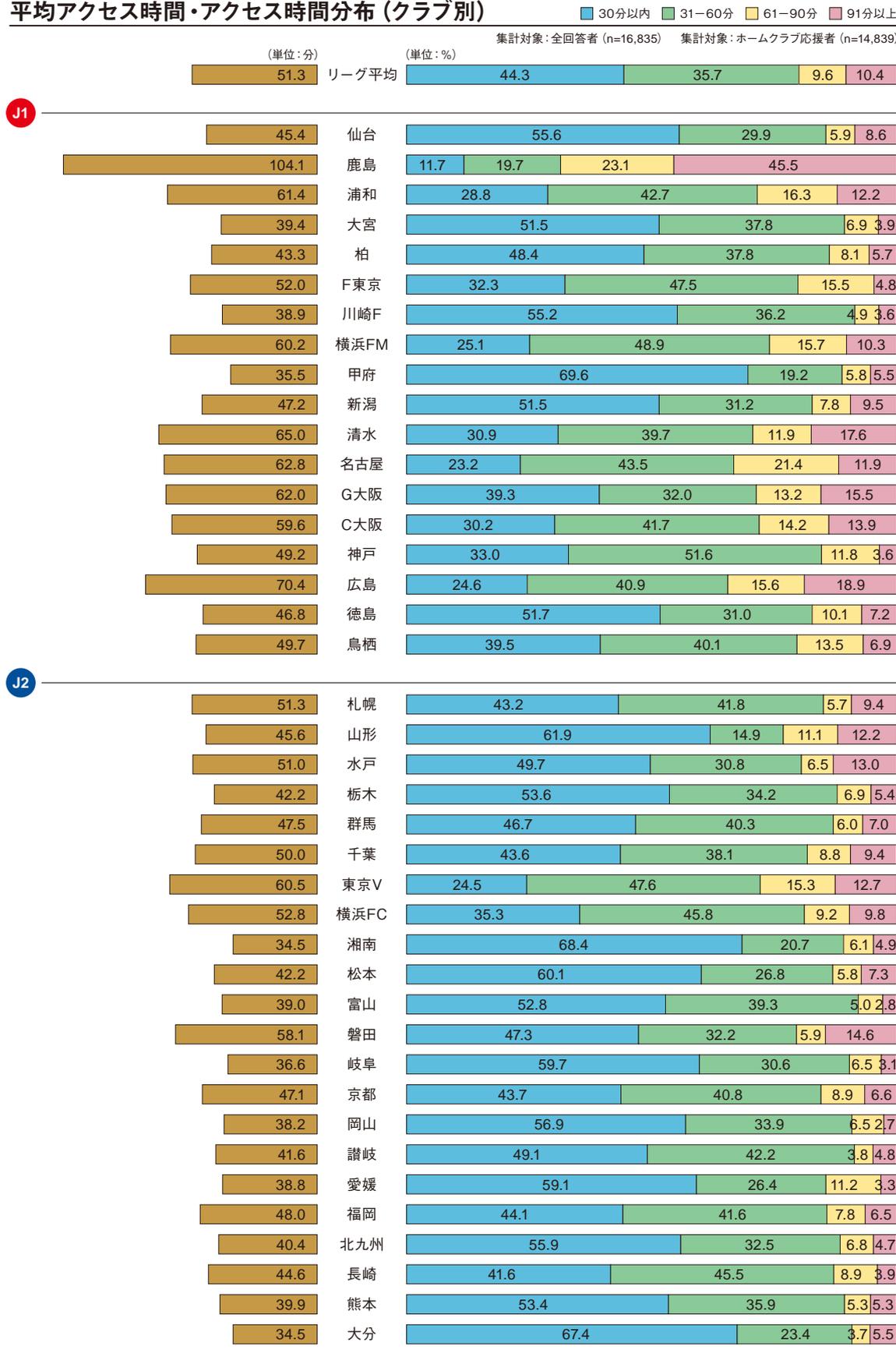
■ シーズンチケット ■ シーズンチケット以外



スタジアムまでかかる時間は、平均51.3分。

観戦者全体のスタジアムへの平均のアクセス時間は、51.3分であった。その内訳となるアクセス時間分布では、60分以内は80.0%で、うち30分以内の割合が44.3%であった。クラブ別にみると、鹿島(104.1分)のアクセス時間が大きい傾向にあり、湘南、大分(いずれも34.5分)、甲府(35.5分)などはそれが小さい傾向にあった。

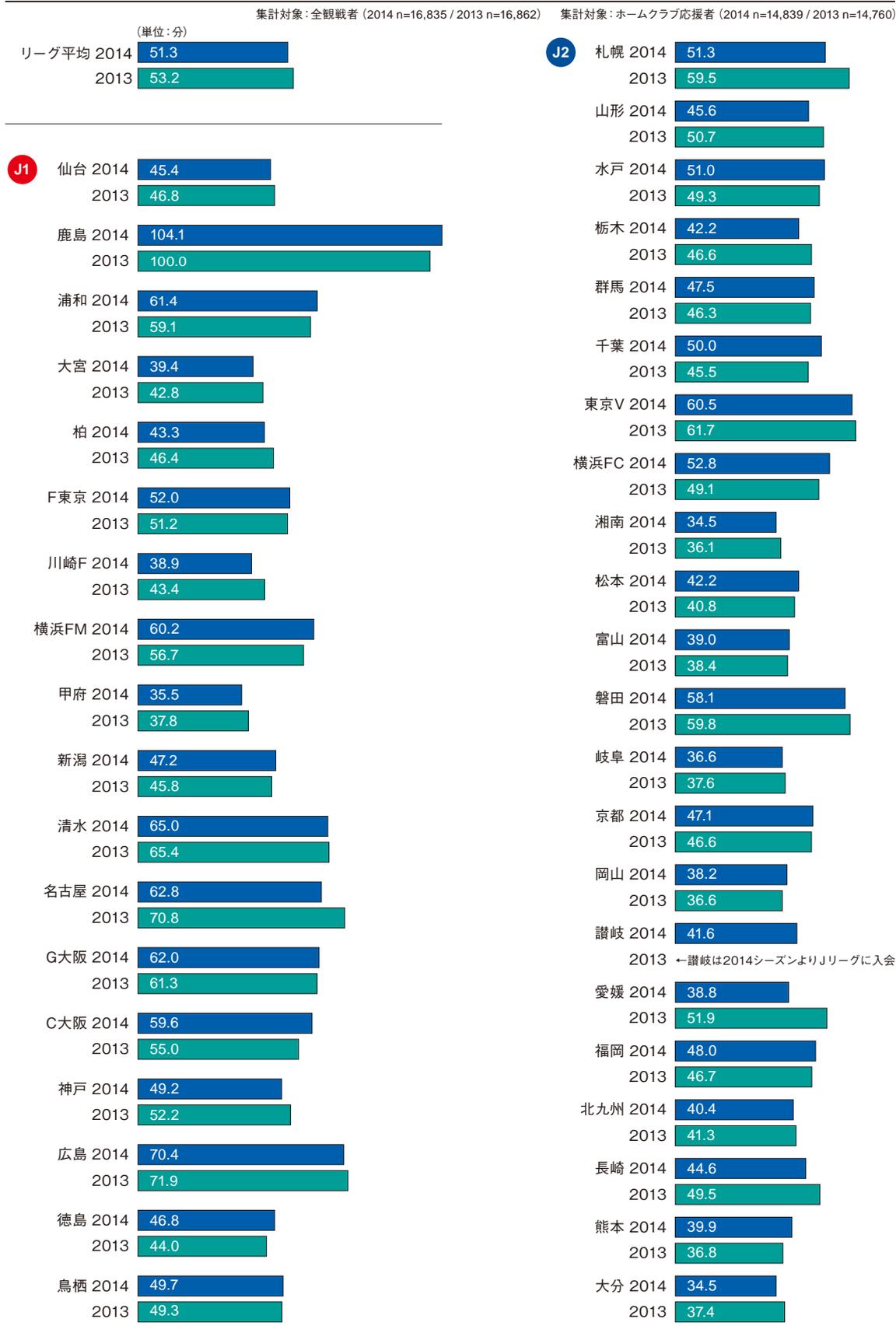
平均アクセス時間・アクセス時間分布 (クラブ別)





平均アクセス時間 (2013/2014比較)

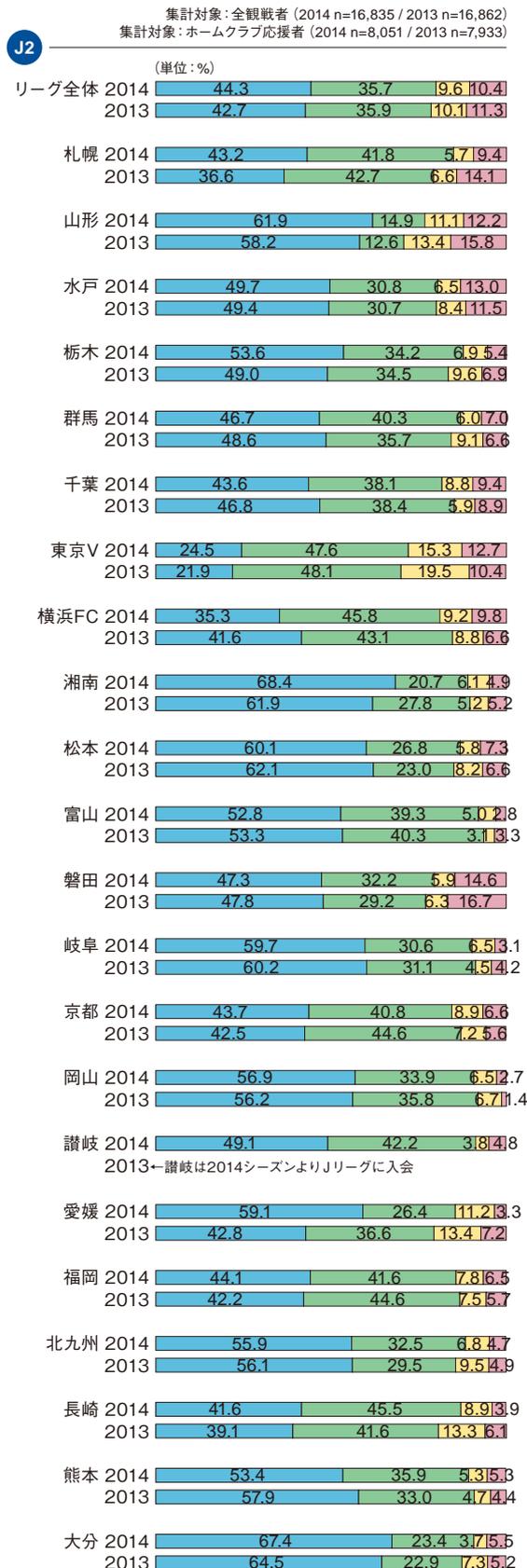
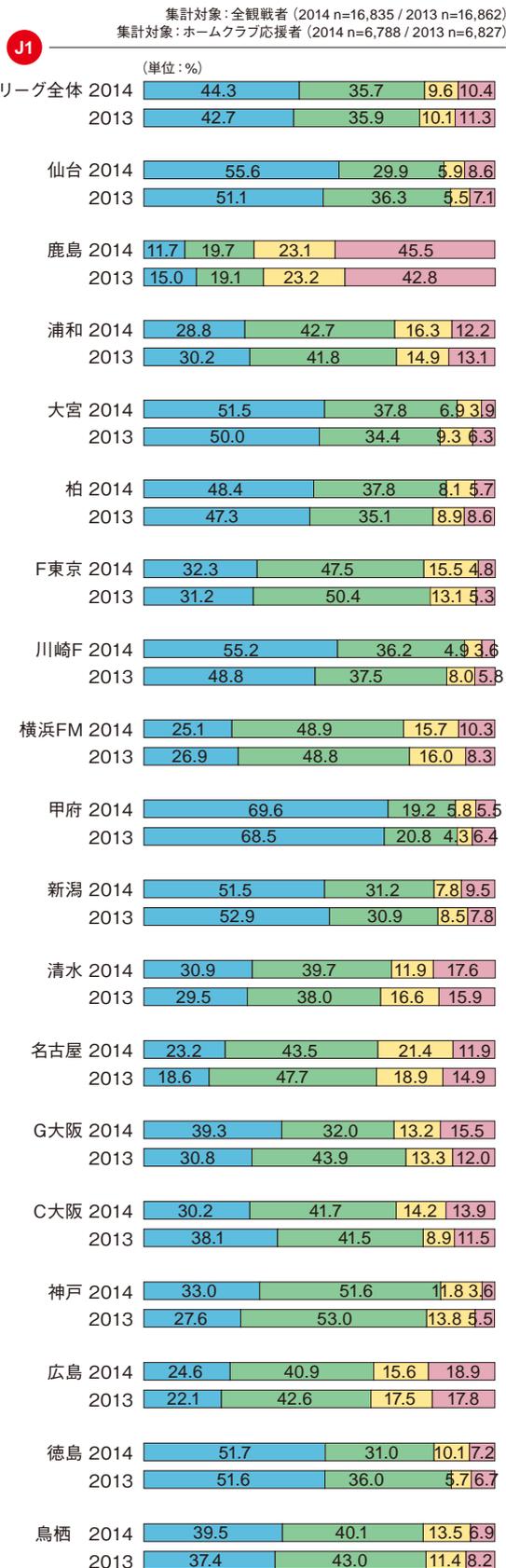
■ 2014 ■ 2013





アクセス時間分布 (2013/2014比較)

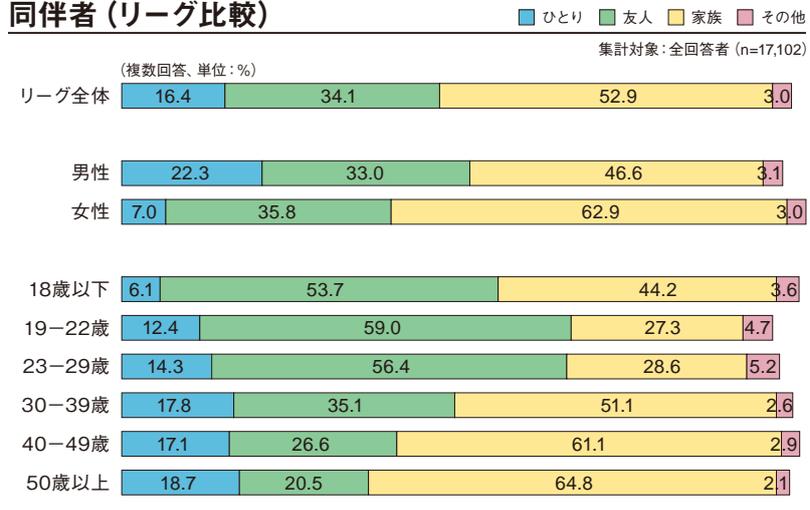
■ 30分以内 ■ 31-60分 ■ 61-90分 ■ 91分以上



52.9%が「家族」とスタジアム観戦。

「家族」と一緒に観戦する観戦者が52.9%で最も多かった。次いで、「友人」とが34.1%だった。「ひとり」で来場する割合は全体の16.4%であった。男性に「ひとり」で来場する割合が高い傾向（男性：22.3%、女性：7.0%）、女性に「家族」と来場する割合が高い傾向（男性：46.6%、女性：62.9%）がみられた。また、30代以上に「家族」と来場する割合が高い傾向、20代以下に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられた。クラブ別でみると、東京V(35.5%)、横浜FC(29.7%)などに「ひとり」で来場する割合が高い傾向、長崎(70.0%)、讃岐(65.1%)、山形(63.8%)、徳島、愛媛(いずれも63.4%)などに「家族」と来場する割合が高い傾向、浦和(59.2%)、G大阪(46.3%)、C大阪(44.9%)、松本(42.6%)に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられた。

同伴者（リーグ比較）



「ひとり」観戦が多かったのは東京V、「友人」との観戦が多かったのは浦和。

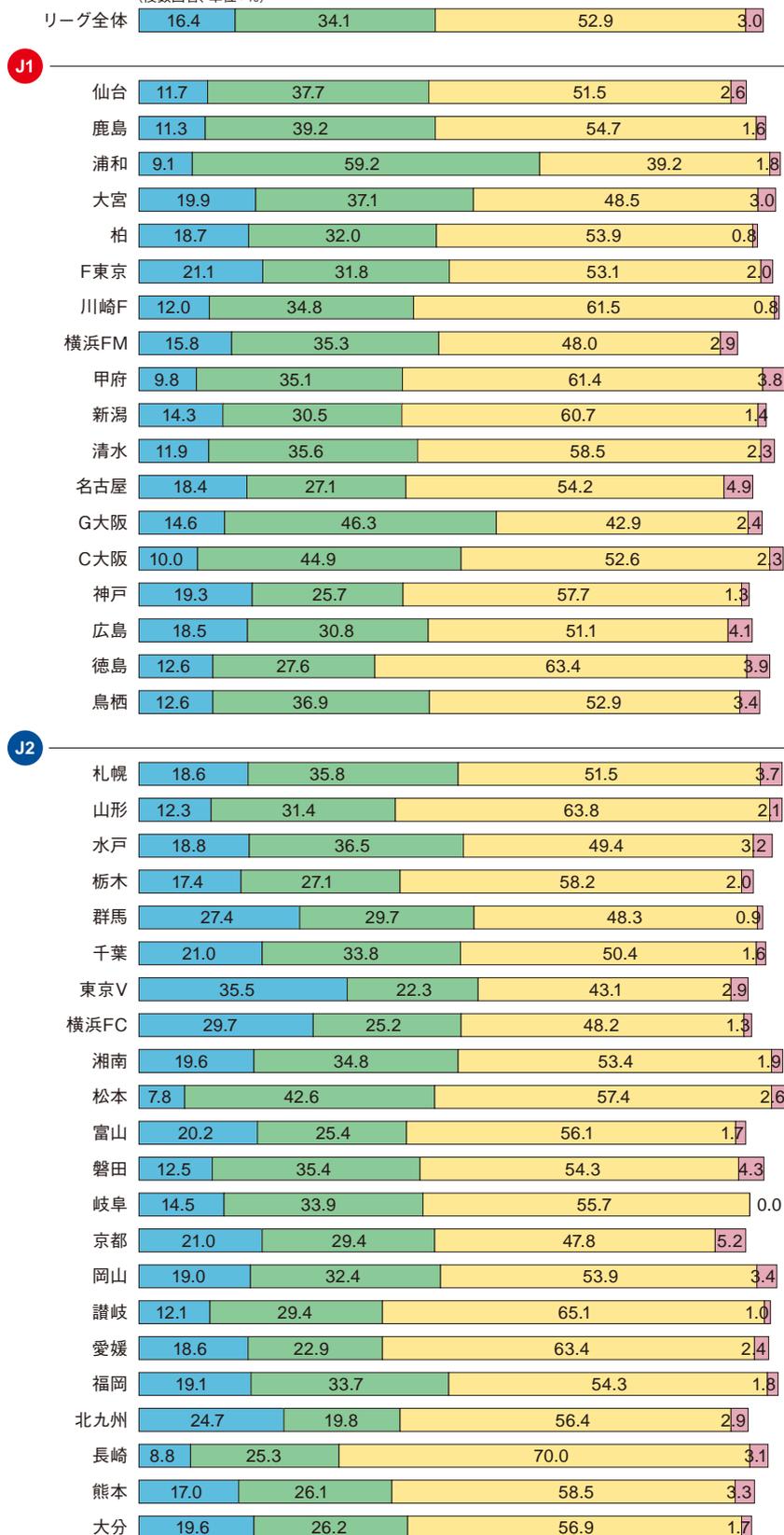
東京V(35.5%)・横浜FC(29.7%)が「ひとり」で観戦する割合が高く、浦和(59.2%)・G大阪(46.3%)・C大阪(44.9%)が「友人」と観戦する割合が高くなっている。全体的には「家族」とスタジアム観戦する割合が高くなっている。

同伴者(クラブ別)

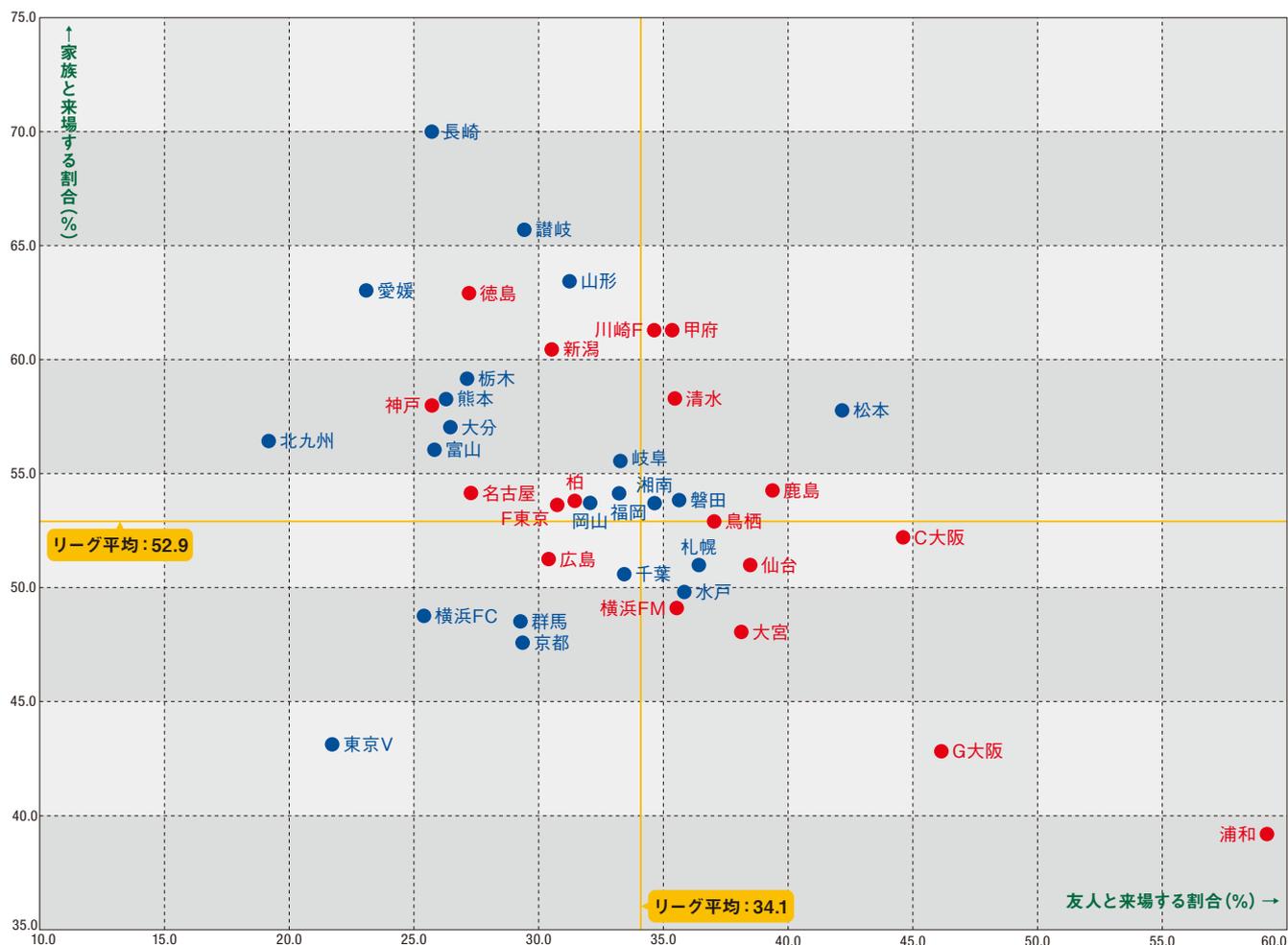
■ ひとり ■ 友人 ■ 家族 ■ その他

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,987)

(複数回答、単位：%)

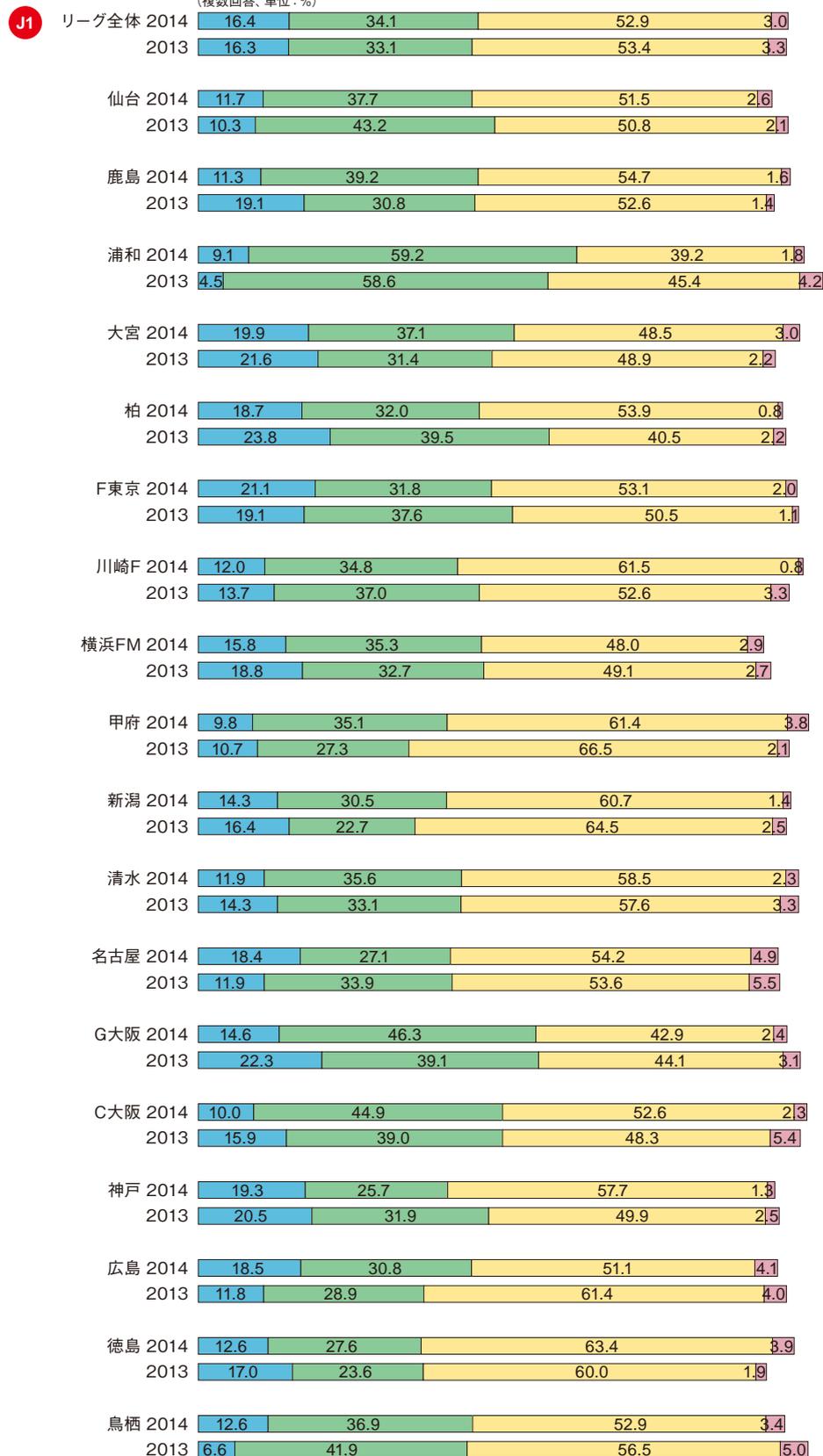


同伴者クラブ別プロット



J1 同伴者 (2013/2014比較)

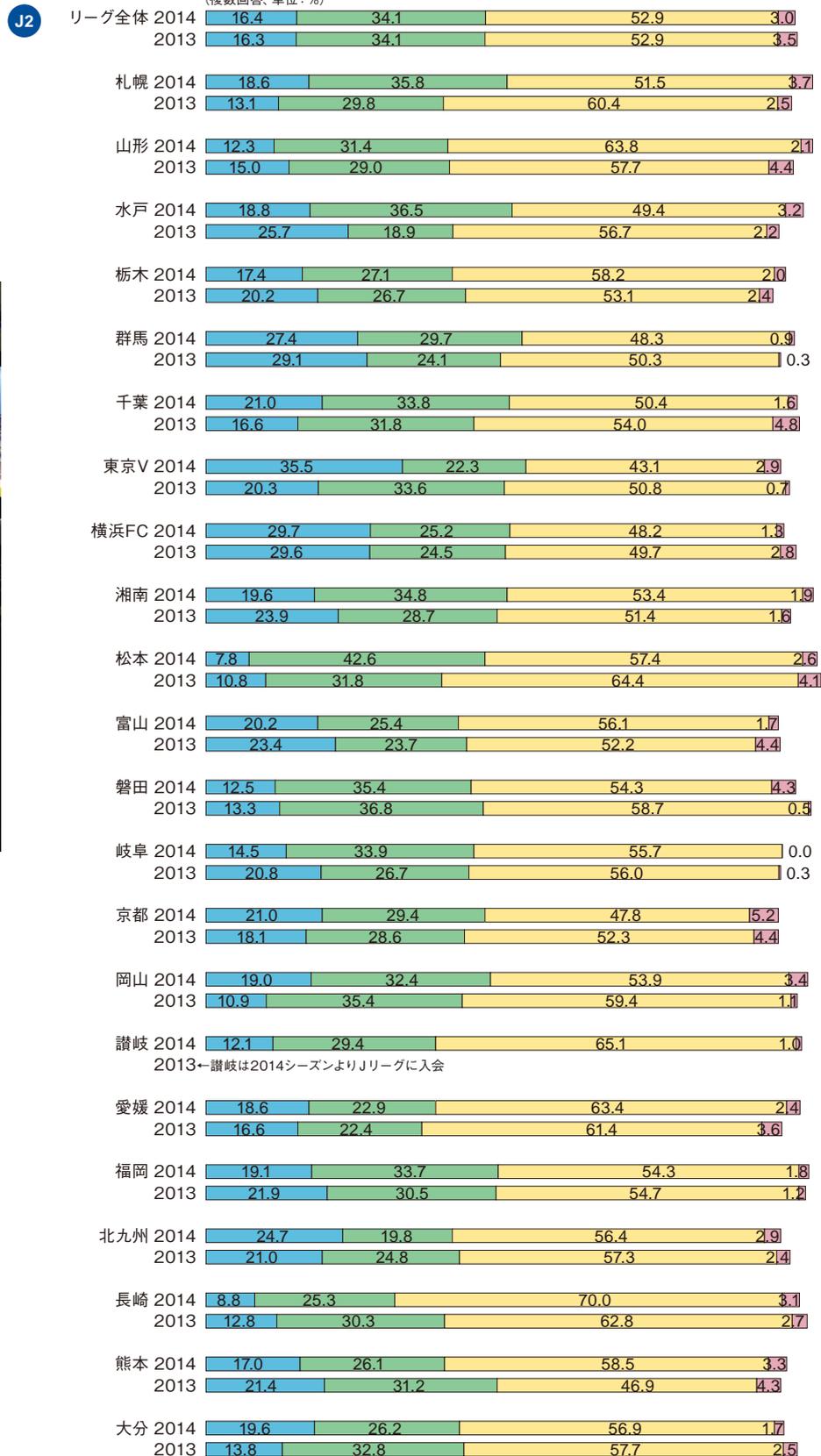
■ ひとり ■ 友人 ■ 家族 ■ その他

集計対象: 全回答者 (2014 n=17,102 / 2013 n=17,078) 集計対象: ホームクラブ応援者 (2014 n=6,884 / 2013 n=6,869)
(複数回答、単位: %)

J2 同伴者 (2013/2014比較)

■ ひとり ■ 友人 ■ 家族 ■ その他

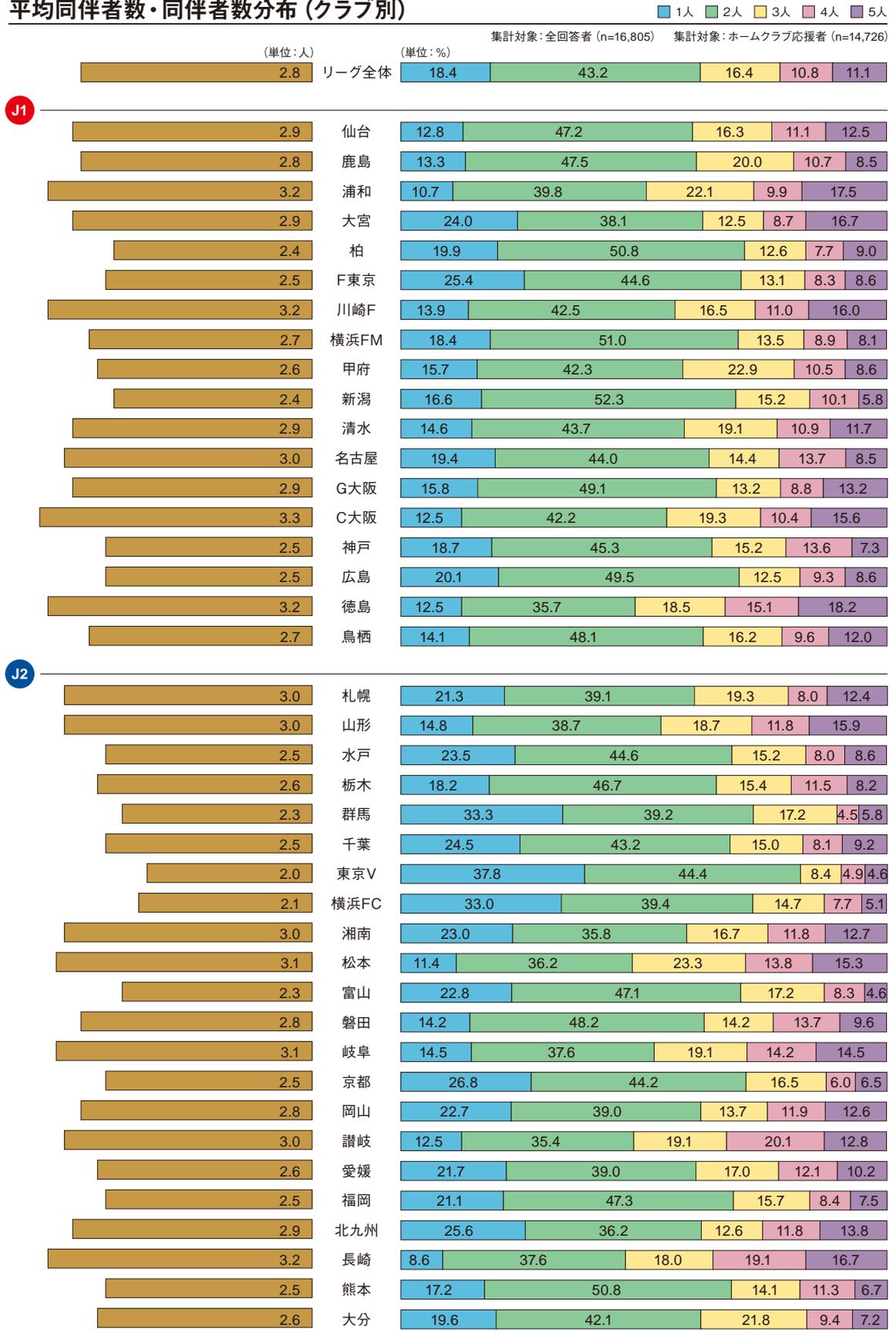
集計対象：全回答者 (2014 n=17,102 / 2013 n=17,078) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2014 n=8,103 / 2013 n=8,023)
(複数回答、単位：%)



浦和(17.5%)・徳島(18.2%)は「5人以上」で観戦する人が多い。

リーグ平均の同伴者数は2.8人。「2人」で観戦する人(43.2%)が最も多く、ついで「1人」で観戦する人(18.4%)、「3人」で観戦する人(16.4%)となっている。浦和(17.5%)・徳島(18.2%)は「5人以上」で観戦する人が多いが、反対に東京V(2.0人)・横浜FC(2.1人)では平均同伴者数が少ない傾向がみられた。

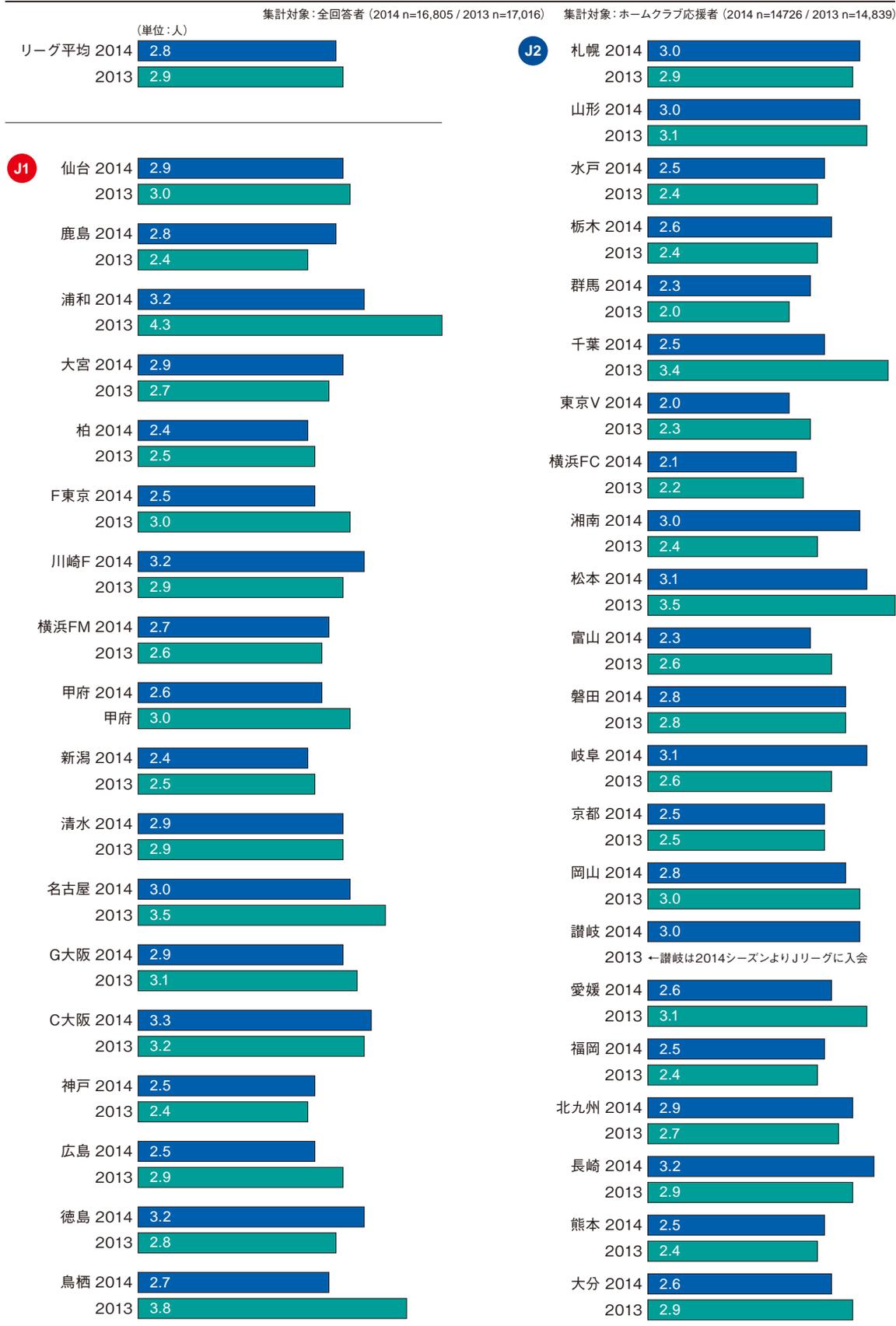
平均同伴者数・同伴者数分布 (クラブ別)





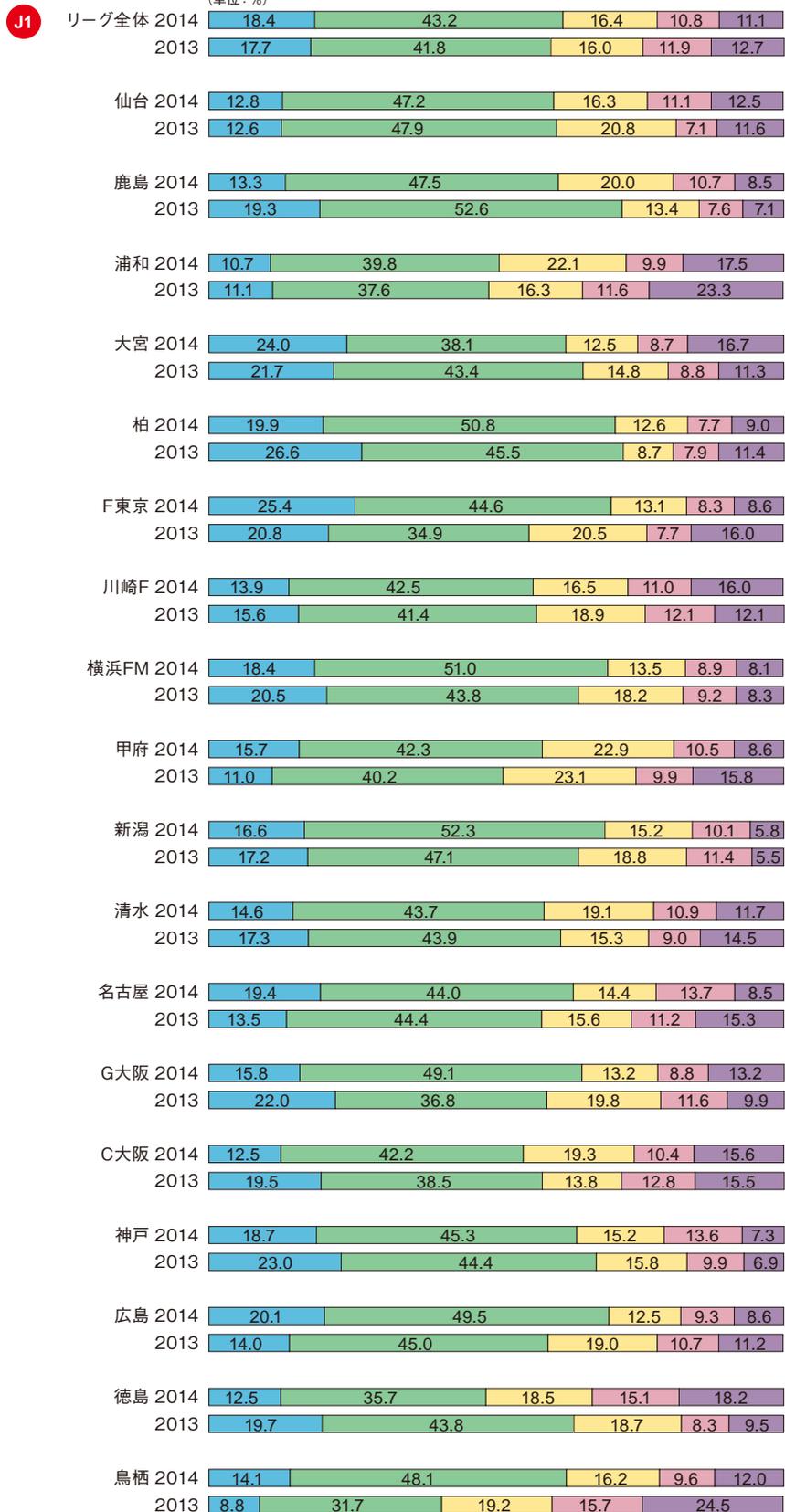
平均同伴者数 (2013/2014比較)

■ 2014 ■ 2013



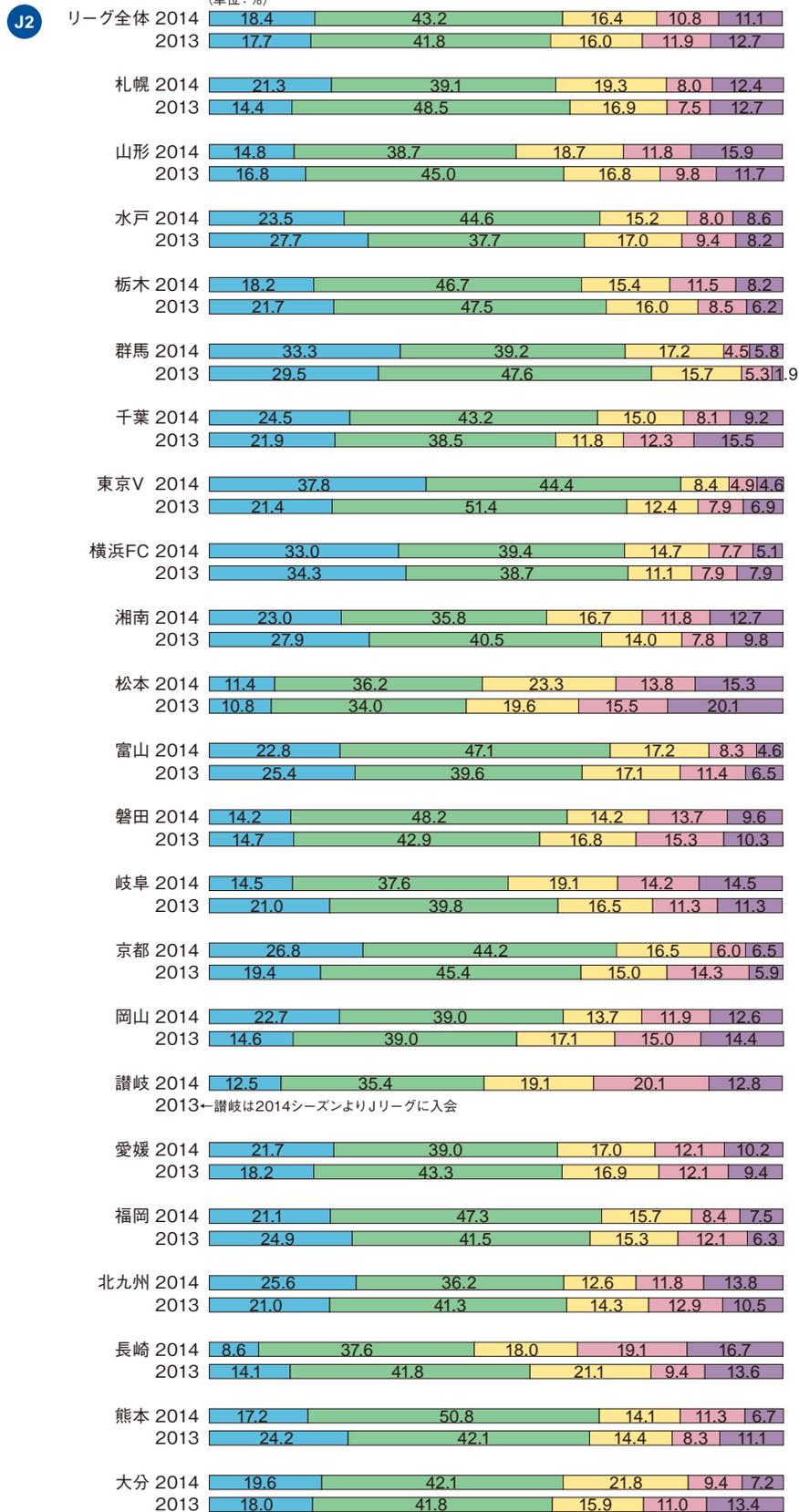
J1 同伴者数分布 (2013/2014比較)

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人以上

集計対象: 全回答者 (2014 n=17,257 / 2013 n=17,016) 集計対象: ホームクラブ応援者 (2014 n=6,884 / 2013 n=6,856)
(単位: %)

J2 同伴者数分布 (2013/2014比較)

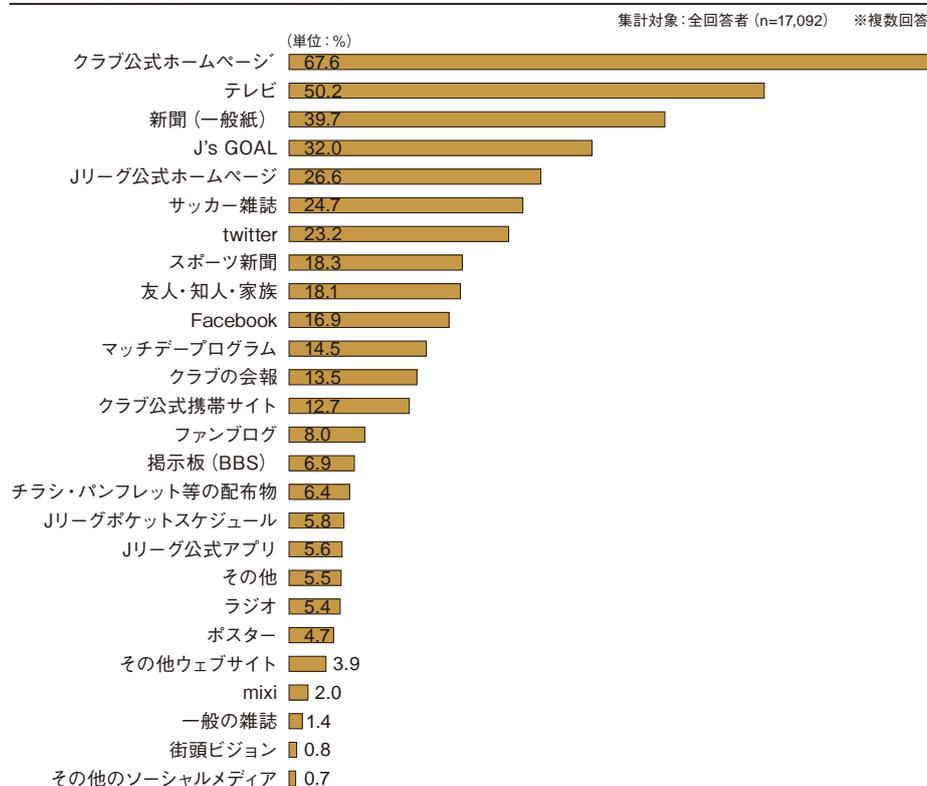
集計対象：全回答者 (2014 n=17,257 / 2013 n=17,016) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2014 n=8,103 / 2013 n=7,983)
(単位：%)



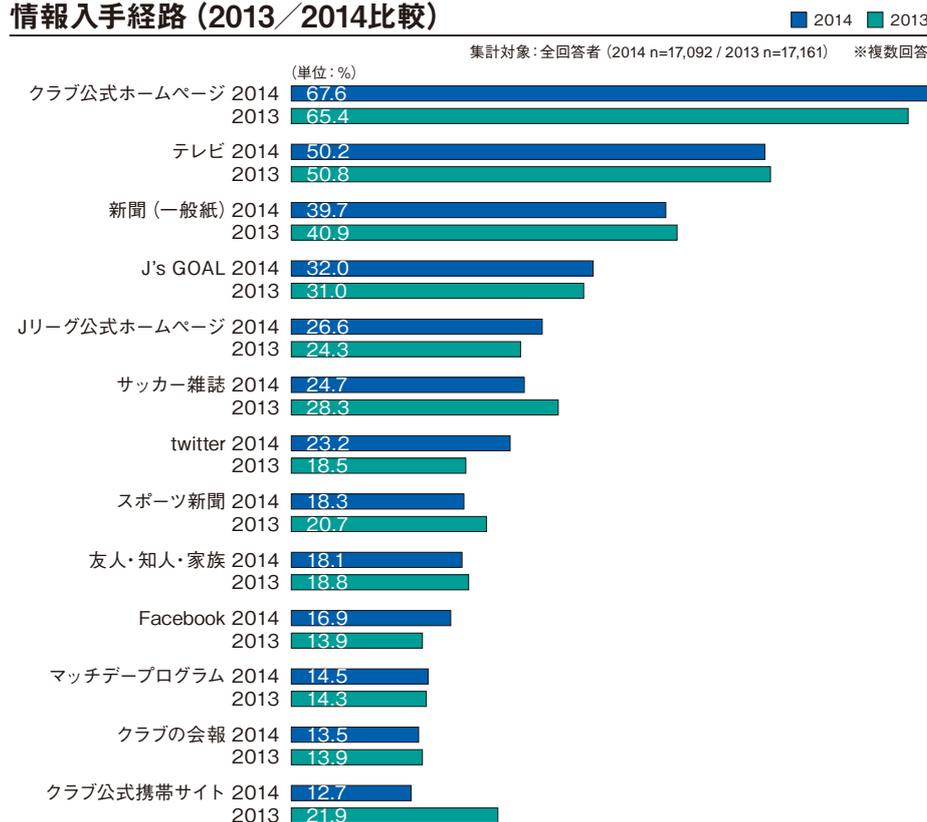
クラブ公式ホームページが主な情報ソースである。

Jリーグの情報入手経路は、クラブの公式ホームページが例年通り主たるものであり、40クラブ中39クラブでトップメディアとなっている。2014シーズンも新潟のみ「新聞（一般紙）」が最も重要なメディアとなっている。クラブ別にみると、C大阪・横浜FC・京都ではtwitter、Facebookのソーシャルメディアが上位にランクインしている。

情報入手経路（リーグ平均）



情報入手経路（2013／2014比較）



情報入手経路(クラブ別)

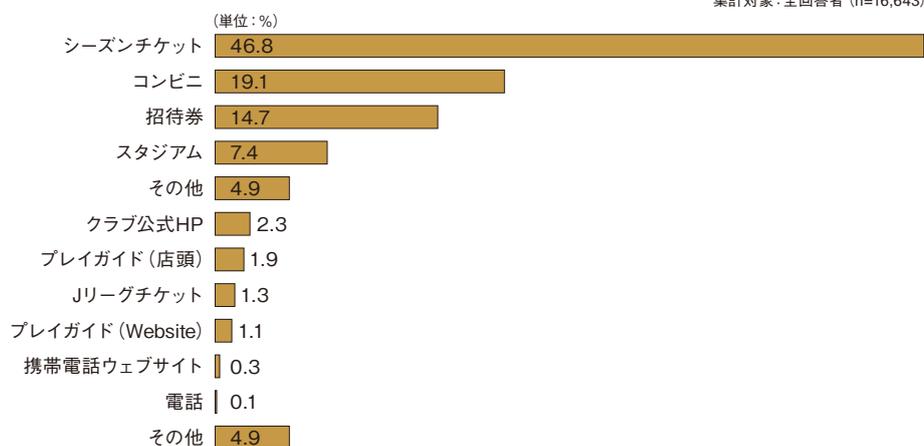
上位5つのみ記載 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=14,021) ※複数回答

仙台	クラブ公式ホームページ 68.0 テレビ 64.5 新聞(一般紙) 57.3 J's GOAL 30.2 Jリーグ公式ホームページ 29.1	鹿島	クラブ公式ホームページ 72.8 テレビ 56.2 クラブの会報 33.2 新聞(一般紙) 32.7 サッカー雑誌 31.4	浦和	クラブ公式ホームページ 89.9 テレビ 58.3 twitter 42.7 Jリーグ公式ホームページ 40.2 サッカー雑誌 33.8	大宮	クラブ公式ホームページ 84.1 テレビ 51.1 J's GOAL 45.2 新聞(一般紙) 35.8 Jリーグ公式ホームページ 33.4	柏	クラブ公式ホームページ 84.8 テレビ 52.8 J's GOAL 39.6 Jリーグ公式ホームページ 35.5 twitter 33.1
F東京	クラブ公式ホームページ 80.7 テレビ 50.1 J's GOAL 35.3 サッカー雑誌 33.8 twitter 30.8	川崎F	クラブ公式ホームページ 80.5 テレビ 57.4 J's GOAL 38.4 twitter 35.3 クラブの会報 32.5	横浜FM	クラブ公式ホームページ 81.5 テレビ 61.1 Jリーグ公式ホームページ 30.1 twitter 29.0 新聞(一般紙) 28.7	甲府	クラブ公式ホームページ 65.2 新聞(一般紙) 61.7 テレビ 57.6 J's GOAL 37.8 Jリーグ公式ホームページ 30.7	新潟	新聞(一般紙) 69.4 テレビ 66.5 クラブ公式ホームページ 61.3 J's GOAL 35.9 Jリーグ公式ホームページ 27.8
清水	クラブ公式ホームページ 69.9 テレビ 49.9 新聞(一般紙) 44.2 クラブの会報 29.9 スポーツ新聞 27.6	名古屋	クラブ公式ホームページ 77.5 テレビ 50.0 新聞(一般紙) 47.5 スポーツ新聞 33.8 サッカー雑誌 22.9	G大阪	クラブ公式ホームページ 76.6 テレビ 56.8 J's GOAL 39.4 twitter 39.1 サッカー雑誌 35.8	C大阪	クラブ公式ホームページ 75.7 テレビ 52.1 twitter 33.8 Facebook 32.8 サッカー雑誌 32.3	神戸	クラブ公式ホームページ 72.3 テレビ 50.7 新聞(一般紙) 37.3 サッカー雑誌 30.5 Jリーグ公式ホームページ 28.7
広島	クラブ公式ホームページ 69.6 テレビ 61.5 新聞(一般紙) 55.6 J's GOAL 33.3 サッカー雑誌 26.5	徳島	クラブ公式ホームページ 69.0 新聞(一般紙) 51.1 テレビ 48.9 J's GOAL 36.6 クラブの会報 26.2	鳥栖	クラブ公式ホームページ 66.8 テレビ 58.3 新聞(一般紙) 45.4 J's GOAL 30.3 Jリーグ公式ホームページ 27.4	札幌	クラブ公式ホームページ 71.5 テレビ 63.4 新聞(一般紙) 62.0 スポーツ新聞 34.6 J's GOAL 34.4	山形	クラブ公式ホームページ 61.6 テレビ 54.3 新聞(一般紙) 52.4 J's GOAL 30.3 Jリーグ公式ホームページ 24.3
水戸	クラブ公式ホームページ 70.6 テレビ 41.8 twitter 34.7 J's GOAL 34.4 新聞(一般紙) 33.5	栃木	クラブ公式ホームページ 76.9 テレビ 49.4 新聞(一般紙) 45.0 J's GOAL 37.8 Jリーグ公式ホームページ 31.2	群馬	クラブ公式ホームページ 72.8 J's GOAL 55.1 新聞(一般紙) 45.0 テレビ 37.7 Jリーグ公式ホームページ 30.1	千葉	クラブ公式ホームページ 77.8 J's GOAL 41.6 テレビ 37.3 Jリーグ公式ホームページ 27.7 サッカー雑誌 24.7	東京V	クラブ公式ホームページ 74.7 J's GOAL 48.9 twitter 40.2 テレビ 36.6 サッカー雑誌 31.5
横浜FC	クラブ公式ホームページ 76.4 J's GOAL 54.1 テレビ 37.9 Facebook 30.3 twitter 28.7	湘南	クラブ公式ホームページ 72.8 テレビ 45.1 J's GOAL 36.1 新聞(一般紙) 34.2 Jリーグ公式ホームページ 30.4	松本	クラブ公式ホームページ 74.5 新聞(一般紙) 51.9 テレビ 47.3 J's GOAL 40.0 twitter 35.3	富山	クラブ公式ホームページ 67.5 新聞(一般紙) 50.1 J's GOAL 37.3 テレビ 34.3 Facebook 33.6	磐田	クラブ公式ホームページ 68.9 テレビ 58.0 新聞(一般紙) 43.1 サッカー雑誌 29.3 J's GOAL 26.1
岐阜	クラブ公式ホームページ 62.0 新聞(一般紙) 45.3 テレビ 33.6 J's GOAL 21.9 友人・知人・家族 19.3	京都	クラブ公式ホームページ 73.8 twitter 67.3 Facebook 59.7 新聞(一般紙) 44.8 テレビ 44.1	岡山	クラブ公式ホームページ 71.1 新聞(一般紙) 51.9 テレビ 48.8 J's GOAL 35.1 Jリーグ公式ホームページ 32.0	讃岐	クラブ公式ホームページ 65.7 テレビ 45.3 新聞(一般紙) 38.8 Jリーグ公式ホームページ 30.4 友人・知人・家族 23.5	愛媛	クラブ公式ホームページ 63.1 新聞(一般紙) 49.4 テレビ 42.7 J's GOAL 28.4 サッカー雑誌 18.6
福岡	クラブ公式ホームページ 70.7 テレビ 55.0 J's GOAL 46.4 新聞(一般紙) 34.9 サッカー雑誌 27.2	北九州	クラブ公式ホームページ 58.9 テレビ 38.3 新聞(一般紙) 32.5 サッカー雑誌 21.9 twitter 21.9	長崎	クラブ公式ホームページ 67.7 テレビ 56.3 新聞(一般紙) 37.5 Jリーグ公式ホームページ 30.2 J's GOAL 25.1	熊本	クラブ公式ホームページ 70.6 新聞(一般紙) 58.8 テレビ 58.3 J's GOAL 38.9 twitter 28.9	大分	クラブ公式ホームページ 64.7 新聞(一般紙) 53.7 テレビ 47.0 J's GOAL 40.5 Jリーグ公式ホームページ 26.1

シーズンチケット購入が最多。その割合が高いクラブは、大宮、大分。

観戦者のうち、シーズンチケットを購入した割合(46.8%)が最も高く、次いでコンビニで購入(19.1%)となっていた。シーズンチケットの購入率が高いクラブとして、大分(83.9%)、大宮(84.5%)などがあげられた。コンビニでの購入率が高いクラブは、仙台(33.7%)、柏(31.0%)などであった。招待券で観戦する割合が高いクラブとして、北九州(43.4%)、新潟(31.8%)などが、低いクラブとして、横浜FC(2.1%)、浦和(3.3%)、大分(3.8%)などがあげられた。水戸(23.5%)、富山(29.4%)などはスタジアムで購入する割合が高かった。

チケット入手方法 (リーグ平均)



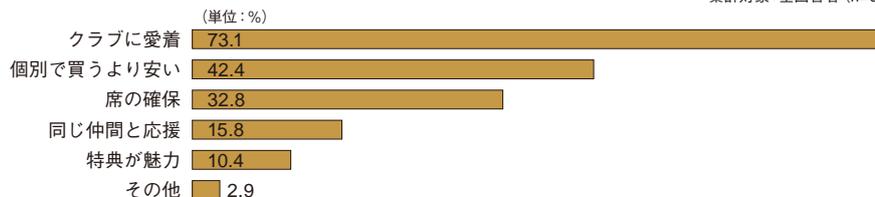
チケット入手方法(クラブ別)

集計対象: ホームクラブ応援者 (n=14,603) (単位:%)

	シーズン チケット	コンビニ	招待券	スタジアム	クラブ公式HP	プレイガイド (店頭)	Jリーグ チケット	プレイガイド (Website)	携帯電話 ウェブサイト	電話	その他
J1 仙台	45.9	33.7	8.4	4.4	0.9	1.2	0.9	2.0	0.6	0.0	2.0
鹿島	42.2	20.4	14.3	2.4	11.7	2.9	1.1	1.6	1.3	0.3	1.9
浦和	47.2	30.7	3.3	6.6	6.9	1.5	0.8	1.5	0.3	0.0	1.3
大宮	84.5	2.1	7.8	0.5	1.4	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0	2.3
柏	44.0	31.0	7.1	1.4	10.4	0.3	0.0	0.3	1.9	0.0	3.6
F東京	72.5	12.5	4.5	2.5	2.0	0.8	0.3	0.8	0.0	0.0	4.0
川崎F	69.5	7.8	14.6	0.5	0.8	0.0	0.3	0.8	0.0	0.0	5.7
横浜FM	50.0	18.3	9.8	3.0	7.3	1.8	2.7	0.0	0.0	0.0	7.0
甲府	64.7	14.2	9.0	6.6	0.6	0.9	0.9	0.6	0.3	0.0	2.3
新潟	49.2	11.9	31.8	0.7	1.2	1.2	1.0	0.7	0.0	0.2	2.1
清水	38.4	19.9	13.3	6.4	1.4	4.9	4.3	0.6	0.0	0.0	10.7
名古屋	36.3	22.4	14.6	1.8	6.4	1.1	2.1	1.8	0.7	1.1	11.7
G大阪	64.9	16.7	7.2	0.2	1.9	0.5	2.4	2.1	0.5	0.0	3.6
C大阪	45.7	20.5	5.3	6.3	14.4	0.8	0.3	2.0	1.5	0.0	3.3
神戸	52.0	9.8	8.7	5.0	4.0	0.0	0.8	0.3	0.3	0.0	16.6
広島	54.3	13.6	14.3	4.1	0.9	1.6	3.0	0.0	0.5	0.0	7.8
徳島	73.1	14.5	5.2	1.0	0.8	0.8	0.3	1.0	0.3	0.0	3.1
鳥栖	43.3	30.6	9.4	6.2	3.0	1.3	2.2	1.3	0.0	0.0	2.7
J2 札幌	51.0	13.5	4.8	16.9	0.0	3.7	0.6	2.3	0.0	0.6	6.8
山形	40.9	29.5	14.5	6.0	0.9	2.0	1.4	0.9	0.0	0.0	4.0
水戸	32.9	11.9	17.7	23.5	0.0	2.1	1.8	0.3	0.3	0.0	9.5
栃木	52.3	13.6	20.4	6.3	0.0	2.5	0.8	0.0	0.3	0.0	2.3
群馬	63.8	13.7	7.0	10.2	0.3	1.9	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6
千葉	63.5	13.6	10.0	3.9	0.6	1.4	1.1	1.4	0.0	0.0	4.5
東京V	63.5	11.7	13.1	8.8	0.6	0.9	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9
横浜FC	60.1	17.5	2.1	10.7	2.7	0.0	0.7	1.7	0.3	0.0	4.1
湘南	45.1	24.4	8.5	7.7	0.5	6.0	0.5	0.7	0.0	0.0	6.5
松本	65.3	18.8	9.1	2.2	0.5	0.3	0.5	0.5	0.0	0.0	2.7
富山	45.9	4.9	11.4	29.4	0.5	2.4	1.0	0.0	0.0	0.2	4.4
磐田	48.5	22.0	10.9	4.2	0.3	7.0	2.5	0.3	0.0	0.3	4.2
岐阜	21.2	22.0	26.3	18.5	0.8	4.8	1.6	2.1	0.0	0.0	2.7
京都	45.3	19.8	10.6	15.2	0.8	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0	6.5
岡山	65.0	10.3	5.3	9.4	0.7	3.0	2.3	0.5	0.7	0.0	3.0
讃岐	34.5	27.5	18.0	9.9	0.0	4.9	0.7	0.4	0.0	0.0	4.2
愛媛	48.1	7.1	26.9	5.8	0.6	6.1	1.0	0.6	0.6	0.0	3.2
福岡	49.0	22.7	11.9	6.0	0.9	0.3	0.6	1.5	0.0	0.0	7.2
北九州	27.8	7.5	43.4	9.3	1.2	1.5	1.2	0.9	0.0	0.0	7.2
長崎	39.0	28.1	17.0	5.3	4.8	0.8	2.1	0.8	0.5	0.0	1.6
熊本	68.9	13.4	4.8	7.3	0.0	1.5	0.3	0.0	0.0	0.0	3.8
大分	83.9	2.9	3.8	6.4	1.2	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.9

シーズンチケットの購入理由

集計対象：全回答者 (n=6,504)



シーズンチケットの購入理由(クラブ別)

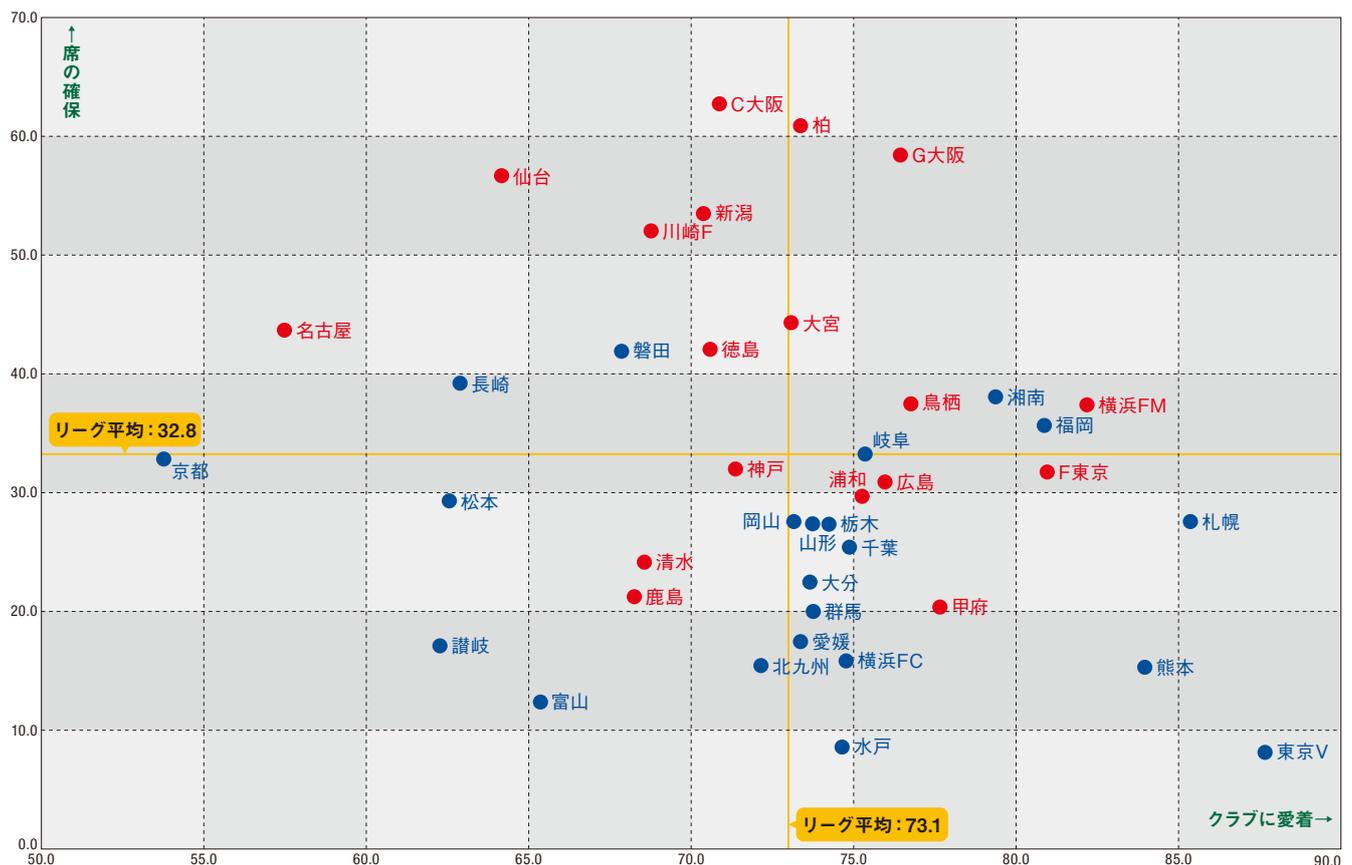
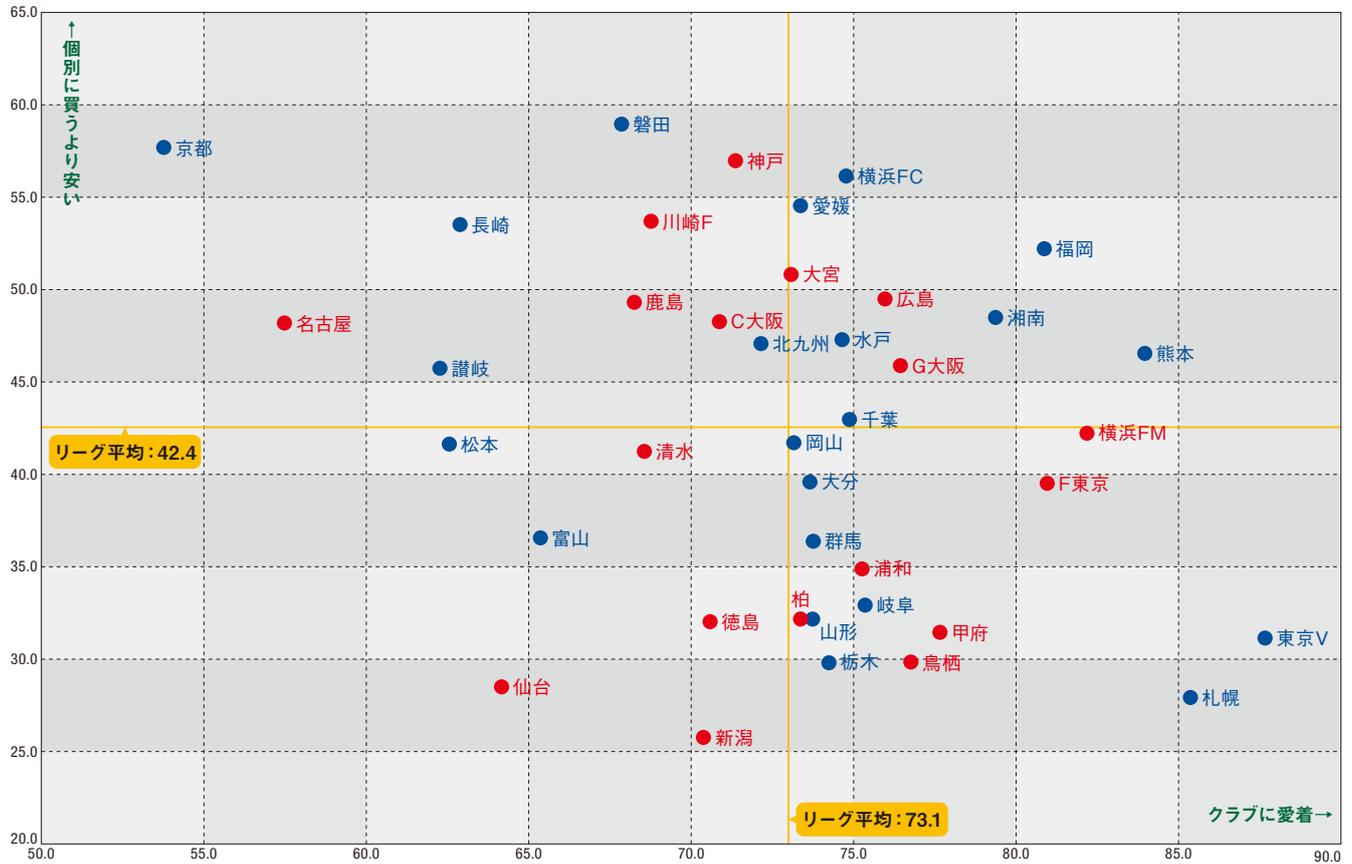
集計対象：ホームクラブ応援者 (n=6,436) ※シーズンチケットを購入した方への下位設問 ※複数回答 (単位：%)

クラブ	クラブに愛着	個別で買うより安い	席の確保	同じ仲間と応援	特典が魅力	その他
仙台	64.2	28.4	56.7	26.9	7.5	2.2
鹿島	68.3	25.2	49.6	20.9	9.4	0.0
浦和	75.3	34.7	29.3	10.7	4.0	1.3
大宮	73.1	50.5	43.8	17.3	1.4	1.4
柏	73.4	32.0	60.2	21.1	8.6	1.6
F 東京	81.0	39.3	31.3	10.9	9.0	3.8
川崎 F	68.8	53.4	51.4	18.3	17.8	2.4
横浜 FM	82.2	42.0	36.9	17.2	14.6	5.1
甲府	77.7	31.3	20.1	14.0	2.2	2.2
新潟	70.4	25.7	52.9	23.8	6.8	4.4
清水	68.6	41.0	26.7	23.8	7.6	2.9
名古屋	57.5	47.9	43.8	13.7	8.2	1.4
G 大阪	76.5	45.6	57.7	18.4	16.9	3.7
C 大阪	70.9	48.0	62.0	16.2	5.6	6.7
神戸	71.4	56.6	31.6	19.9	11.7	3.1
広島	76.0	49.8	30.5	9.9	23.2	3.9
徳島	70.6	31.9	41.6	10.9	6.3	5.0
鳥栖	76.8	29.7	37.0	17.4	10.1	5.1
札幌	85.4	27.2	27.8	15.9	8.6	3.3
山形	73.8	27.0	32.0	19.7	2.5	0.8
水戸	74.7	47.0	8.4	7.2	6.0	6.0
栃木	74.3	29.7	27.0	20.3	3.4	2.0
群馬	73.8	36.2	20.0	14.6	4.6	1.5
千葉	74.9	42.7	25.1	19.3	3.5	2.3
東京 V	87.7	31.0	16.6	9.1	8.0	4.8
横浜 FC	74.8	55.8	15.6	6.1	7.5	3.4
湘南	79.4	48.2	37.6	15.6	11.3	1.4
松本	62.6	41.4	29.8	16.2	13.1	2.5
富山	65.4	36.4	12.3	4.3	9.9	3.1
磐田	67.9	58.6	41.4	12.1	10.7	2.1
岐阜	75.4	32.8	32.8	11.5	11.5	0.0
京都	57.3	53.8	32.4	18.9	16.8	3.5
岡山	73.2	41.5	27.2	15.2	6.7	1.3
讃岐	62.3	45.5	16.9	11.7	1.3	5.2
愛媛	73.4	54.7	17.2	10.2	8.6	1.6
福岡	80.9	51.9	35.2	18.5	4.9	5.6
北九州	72.2	46.8	19.0	15.2	6.3	1.3
長崎	62.9	53.2	38.7	23.4	15.3	0.8
熊本	84.0	46.3	15.1	14.3	7.4	3.0
大分	73.7	39.4	22.2	18.7	9.1	0.0

クラブへの愛着をシーズンチケットの購入理由とする人が多いクラブは、東京V、札幌。

シーズンチケットの購入理由は、「クラブに愛着」(73.1%)が主たるものであり、40クラブ中39クラブがトップの理由となっていた。京都のみが「個別で買うより安い」がトップの理由であった。「クラブに愛着」が購入理由のトップであるクラブの中でも東京Vが87.7%と高い割合となっている。

シーズンチケットの購入理由 [上] クラブへの愛着×経済性 [下] クラブへの愛着×席の確保



付録 Appendix

スタジアム観戦者調査2014 調査票 (リーグ共通項目抜粋)

① あなたはお持ちのチケットをどのように購入(入手)しましたか
 1. シーズンチケットを購入した 2. コンコで購入した 3. クラブ公式ホームページで購入した
 4. リーグチケットで購入した 5. プレイガイドウェブサイトで購入した 6. プレイガイド(店舗)で購入した
 7. 携帯電話WEBサイトで購入した 8. 電話で購入した 9. チケットをもらった
 10. スタジアムで購入した 11. その他(具体的に: _____)
 ② 上の①で「1. シーズンチケットを購入した」とお答えの方に
 シーズンチケット(シーズンパス、年間パスなど、クラブにより名称は異なります)を購入した理由は何でしょうか(いくつでも)
 1. 席を確保しておきたいから 2. クラブに愛着があるから 3. いつも同じ仲間と応援したいから
 4. 個別で買うよりまとめて購入したほうが安いから 5. 特典が魅力だから
 6. その他(_____)

③ 上記①で「1. シーズンチケットを購入した」とお答えの方に
 シーズンチケット(シーズンパス、年間パスなど、クラブにより名称は異なります)を購入した理由は何でしょうか(いくつでも)
 1. 席を確保しておきたいから 2. クラブに愛着があるから 3. いつも同じ仲間と応援したいから
 4. 個別で買うよりまとめて購入したほうが安いから 5. 特典が魅力だから
 6. その他(_____)

④ スカパー1で観戦できない理由は何でしょうか(いくつでも)
 ・スカパー1をご契約されない理由は何でしょうか(いくつでも)
 1. アンテナ設置不可 2. 視聴料金が高い 3. スタジアム観戦で満足
 4. その他(理由: _____)
 ・パソコンやモバイル端末等でリーグ観戦をLIVEで観られる「スカパー1オンデマンド」を知っていますか
 1. 知っている 2. 知らない

⑤ よく見るサッカー(ニュース)番組(いくつでも)
 1. リーグマチンピオンズ(スカパー1) 2. リーグライブ(スカパー1) 3. リーグタイム 4. スーパーサッカー
 5. すぽると 6. やべうらFC 7. サッカーアース 8. FOOT×BRANI 9. その他(_____)

⑥ リーグ観戦者(ニュース)の企業名を知っていますか
 1. 知っている(企業名(主なもの): _____)
 2. 知らない

⑦ 1ヶ月の自由献金所得(おこづかい)
 およそ _____ 円
 ※差し戻しがなければ、あなた及びご家族がレジャー活動や趣味等に、1ヶ月間で自由に使える金額をご記入下さい。

⑧ リーグの試合をスタジアムで直接観戦するようになって、どのくらいがたちますか
 1. 1992年以前(から(リーグ開幕前の日本サッカーリーグ時代から)
 2. 1993~1995年頃(から(1993年リーグ開幕と後の3シーズンくらいから)
 3. 1996~1998年頃(から(アトランティックリーグ・フランスワールドカップ頃から)
 4. 1999~2002年頃(から(フランス大会以降~日韓ワールドカップの頃から)
 5. 2003~2006年頃(から(日韓大会以降~ドイツワールドカップの頃から)
 6. 2007~2010年頃(から(ドイツ大会以降~南アフリカワールドカップの頃から)
 7. 2010~2013年頃(から(南アフリカ大会以降~昨シーズンから)
 8. 昨シーズン(から(2014年~)

⑨ サッカーをしたことがありますか (部活動やクラブ・サークルなどで) 1. している 2. 過去にしていた 3. したことはない

⑩ フットサルをしたことがありますか (部活動やクラブ・サークルなどで) 1. している 2. 過去にしていた 3. したことはない

⑪ 現在、「日本サッカー協会(JFA)」に登録していますか
 1. 登録している → そのカテゴリ(いくつでも) A. サッカー B. フットサル C. 指導者 D. 審判員
 2. 登録していない 3. わからない

⑫ リーグ観戦に周囲の人を誘いますか
 1. よく誘う 2. 時々誘う 3. あまり誘わない 4. まったく誘わない

⑬ 周囲の人からリーグ観戦を誘われますか
 1. よく誘われる 2. 時々誘われる 3. あまり誘われない 4. まったく誘われない

⑭ スタジアムで会う応援仲間
 1. いない 2. いる → a. いつも会う b. よく会う c. たまに会う

⑮ ネット上で交流する応援仲間
 1. いない 2. いる → a. いつも交流している b. よく交流している c. たまに交流している

アンケート調査へのご協力をお願い
 このアンケートは、今後のリーグの試合およびクラブの運営を検討するための情報を収集することを目的に、本日、リーグをご観戦の皆様を対象として実施しております。ご回答は匿名でいただき、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることはありません。
 以上の主旨をご理解いただき、貴重なご回答とご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。
 (公社)日本プロサッカーリーグ クラブ名○○○○○○○

以下に回答をご記入ください

1) 性別 1. 男性 2. 女性

2) 年齢 ()歳

3) お住まい ()都・道・府・県 ()市・郡・区・町・村

4) ご家族 1. 独身 2. 既婚 → お子さんは 1. いない 2. いる → ()歳 ※一番下のお子さんの年齢をご記入ください

5) 昨年のスタジアム観戦回数
 ※J1はリーグ戦+ナビスコカップ ※J2はリーグ戦のみ
 ① J1: リーグ戦 およそ()試合 ナビスコカップ およそ()試合
 ② J2: リーグ戦 およそ()試合

6) あなたはホームクラブのファンですか。もし、そうであれば、応援して何年目ですか
 1. はい(応援して _____ 年目) ※今年シーズンから応援するようになった方は「1年目」として下さい
 2. いいえ → A. アウェイクラブのファン B. その他のクラブ()のファン
 3. 応援しているクラブは特にない

7) スタジアムまでの所要時間(片道)および交通手段
 片道およそ()分
 利用した主な交通手段(1つだけ) 1. 公共交通機関 2. シトルバス 3. 団体ツアー(バス) 4. 自転車・オートバイ 5. 車 6. 徒歩 7. その他(タクシー等)

8) 今日日は合計何人でお来ましたか
 あなたご自身を含めて()人
 1. ひびひ 2. 友人 3. 家族 4. その他() (いくつでも)

9) あなたは今日、誰と観戦に来ましたか(いくつでも)
 SO1. 上で「3. 家族」とご回答の方にお答え下さい。
 お子さんと一緒に来場された場合は、そのお子さんの人数、年齢と性別を以下にご記入下さい。
 (3人以上のお子さんと来場された場合は、年齢の低い順に各名の子さんについて回答して下さい。)
 ()名 → 1人目()歳 1. 男性 2. 女性 2人目()歳 1. 男性 2. 女性

10) 「リーグ」の情報は、主にどこから入手していますか(いくつでも)
 1. 新聞(一般紙) 2. スポーツ新聞 3. テレビ 4. ラジオ 5. サッカー雑誌 6. 一般の雑誌
 7. 友人・知人・家族 8. YouTube/ブログ 9. リーグ公式ウェブサイト 10. ネット
 11. ブログ/ポータルサイトの配布物 12. クラブの会報 13. 街探検マガジン 14. その他(具体的に: _____)
 【ウェブサイト/スマートフォンサイト/携帯電話サイト】
 15. クラブ公式ホームページ 16. リーグ公式ホームページ 17. J's GOAL 18. リーグ公式アプリ
 19. ファンブログ 20. ブログ/公式携帯サイト 21. その他(サイト名: _____)
 【ソーシャルメディア】 ※以下は各クラブに対しては必ずお答え下さい。(FC東京を例にしました)
 22. twitter ※該当する方は以下の<アカウント>のうち1~2個目をつけてください
 → a. FC東京公式twitter (FC東京広報部 @fc_tokyo_express b. J's GOAL公式twitter
 c. その他のtwitterアカウント
 23. Facebook ※該当する方は以下の<アカウント>のうち1~2個目をつけてください
 → a. FC東京公式facebookファンページ(FC東京 / F.C.TOKYO) b. リーグ公式Facebook
 c. その他のfacebookファンページ
 24. mixi ※該当する方は以下の<アカウント>のうち1~2個目をつけてください
 → a. FC東京公式mixiページ(FC東京 / F.C.TOKYO) b. その他のmixiページ

11) 情報入手に使用しているモバイル端末(機種)はなんですか(いくつでも)
 1. 携帯電話 2. スマートフォン(iphoneなど) 3. タブレット(padなど) 4. メールパソコン
 5. その他(_____)

Q1. この試合を観戦された理由として、以下のものは、どの程度あてはまりますか。
 ※右のように、あてはまる番号を1つだけ選択してください

	大いにあてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あてはまらない
① 応援しているクラブの成績が良いから	5	4	3	2
② 友人や家族に誘われたから	5	4	3	2
③ 地元のクラブだから	5	4	3	2
④ スケジュールの都合がよかったから	5	4	3	2
⑤ 好きなクラブを応援したいから	5	4	3	2
⑥ サッカー観戦が好きだから	5	4	3	2
⑦ 好きな選手を応援したいから	5	4	3	2
⑧ 周囲で盛んに話になっているから	5	4	3	2
⑨ チケットをもらったから	5	4	3	2
⑩ 今日の日対戦相手の試合が魅力的だから	5	4	3	2
⑪ 応援しているクラブが地域に貢献しているから	5	4	3	2
⑫ レジャーとして楽しいから	5	4	3	2
⑬ スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから	5	4	3	2

Q2. あなたは、以下の意見をどのように思いますか。
 ※右のように、あてはまる番号を1つだけ選択してください

	大いにあてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あてはまらない
① サッカー選手は、社会の規範として重要な役割を果たしている	5	4	3	2
② クラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている	5	4	3	2
③ サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる	5	4	3	2
④ 「ホームクラブ」は、ホームタウンで大きな貢献をしている	5	4	3	2

Q3. あなたは、以下について、どの程度あてはまりますか。
 ※右のように、あてはまる番号を1つだけ選択してください

	大いにあてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あてはまらない
① あなたは自分のことを真の(クラブ名)ファンだと思う	5	4	3	2
② もし(クラブ名)ファンを止めなければならぬとしたら、あなたは最も後悔するだろう	5	4	3	2
③ (クラブ名)のファンであることは、あなたにとってとても重要である	5	4	3	2



Jリーグ スタジアム観戦者調査2014サマリーレポート

J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2014 SUMMARY REPORT

- 発行日 2015年2月19日
発行人 村井 満
発行所 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階
TEL:03-3830-2006(代表)
FAX:03-3830-2007
<http://www.j-league.or.jp>
監修 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
青山 優香
筑波大学体育系准教授
仲澤 眞
協力 Jリーグ40クラブ
写真 Jリーグフォト株式会社
制作・編集 株式会社電通
(編集協力:株式会社スケール)



スポーツで、もっと、幸せな国へ。

百年構想

